

私立獣医科大学における獣医学教育の 相互評価報告書

(平成18年度～平成28年度)

平成30年 6 月

一般社団法人 日本私立獣医科大学協会

はじめに

一般社団法人・日本私立獣医科大学協会が 2015 年（平成 27 年）に発足しました。法人の定款第 4 条には、「この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

（１）私立獣医科大学における教育及び研究に関する調査、研究（２）私立獣医科大学における管理、運営に関する調査、研究（３）私立獣医科大学における経営特に財政基盤に関する調査、研究」が明記され、これを含めた 9 つの事業の実施が定められております。本相互評価は、一般社団法人を立ち上げてからは初めてとなる記念すべき事業となりました。

さて、本協会は、平成 12 年 6 月に「相互評価委員会」を設置し、それぞれの大学における獣医学教育の現状把握、問題点の洗い出しおよび短期・中期改善目標の設定など自己点検・相互評価を平成 6～12 年度の 7 年間に遡って実施し、平成 14 年 6 月に「私立獣医科大学における獣医学教育の相互評価報告書」を初めて公表いたしました。

丁度同じ頃、2002 年（平成 14 年）に改正学校教育法は、大学等の高等教育機関は文部科学大臣の認証を受けた評価機関（認証評価機関）により 7 年以内の周期で評価を受けることを義務づけ、所謂、「教育の質保証」の時代が始まりました。2017 年度の時点では、5 大学いずれも、大学基準協会或いは日本高等教育評価機構による機関別認証評価を最低 2 回は受審しております。平成 14 年以降、私獣協は機関別認証評価と同時に、獣医学教育に関する専門教育に関する評価を、「5 大学の相互評価」という形態を取って学部教育・大学院教育・教職員組織・教育施設設備・財務・学生生活・就職・附属動物病院などの幅広い項目について継続して実施し、今日に至りました。これは、私立大学における正に自助努力の積み重ね（自己研鑽）であり、その結果、それぞれの大学の教育内容・教育組織並びに教育研究環境は格段に向上していると思われます。

平成 20 年 12 月からは文科省「獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議」が発足し、平成 23 年には「今後の獣医学教育の改善・充実方策について」の報告書が答申されました。これには、国際水準の獣医学教育の実施に向けた改革工程が提示され、提言には、教育研究体制の整備、モデルコアカリキュラムの策定・実施、分野別第三者評価の導入・実施、共用試験の導入・実施、臨床教育の改善・参加型臨床実習の実施ロードマップが示されました。それに沿って全国 16 大学では平成 28 年度共用試験が本格運用となり、平成 29 年 2 月から年度を跨いで 9 月に掛けて、全国 15 大学で CBT と OSCE が実施されました。更に、平成 29 年度からは、5 本柱の一つである分野別第三者評価の実施年となります。このため、平成 28 年 6 月に大学基準協会は「獣医学教育に関する基準」を改訂し、これに準拠した評価の準備が整いました。

このような外部評価・自己点検評価、そして相互評価と、「獣医学教育の質保証の取組」は、他の領域と比べても遜色が無いものであります。今回、10 年振りに「学部教

育」の相互評価を実施し、私立 5 大学の情報を一覧としました。それぞれの大学が教育・研究・教員組織・教育環境・施設設備について常にレベルアップを心掛け、自助努力によって日本の獣医学教育の質の向上と国際水準化、同時に実践的獣医師養成に向けた取り組みを継続したいと思います。

最後に、ご多忙にも拘わらず、相互評価作業に取り組まれた私立 5 大学教職員各位にお礼を申し上げますとともに、本報告書が各大学における獣医学教育の充実・発展のために役立つことを願って止まない。

平成 30 年 6 月

第 9 次相互評価 担当
北里大学獣医学部
学部長 高井 伸二

目 次

I これまでの調査報告書と今回の調査項目

- 1. 私立獣医大学における獣医学教育に関する相互評価報告書 1
- 2. 調査項目 2

II 委員会構成

- 1. 委員会構成 3

III 各調査項目における相互評価

〔獣医学教育の横断的評価のための調査 2016〕

- 1. 教育の理念・目標・3ポリシー 5
- 2. 教育・研究・事務組織 11
- 3. 財政 25
- 4. 教職員組織 31
 - 1) 教員構成 32
 - 2) 分野別の教員割合 33
 - 3) 教員の年齢構成 34
 - 4) 教員数と支援者数 35
 - 5) 教員の活動時間の比率 36
 - 6) 教員の研究業績 36
 - 7) 教員の海外での活動 41
 - 8) 教員の採用基準 42
 - 9) 教員の昇格基準 47
- 5. 志願者・合格者・入学者・学納金・入試科目 52
 - 1) 平成 19・24・29 年度 入試別入学志願者・合格者・入学者調査表（学部） 52
 - 2) 平成 19・24・29 年度 都道府県別志願者・合格者・手続者 54
 - 3) 平成 19・24・29 年度 入学志願者・合格者・入学者（大学院） 60
 - 4) 平成 29 年度 入学者学納金（学部・大学院） 61
 - 5) 平成 30 年度 入学試験科目（学部・大学院） 62
- 6. 教育課程 65
 - 1) 開講科目数と総時間数 65
 - 2) 専門科目別授業時間数 66

3) 実習時間数	67
4) 実習用動物の使用頭数	72
5) 実習用動物の代替応用の有無	75
6) 実験動物・実習倫理委員会等の活動状況と組織図	76
7) 卒業論文（課題研究）の有無	82
8) カリキュラムマップ（授業科目の年次配当）とシラバス	83
9) 単位互換制度の有無	90
10) 他大学および他施設との教育協力体制の有無	91
11) 卒後教育および生涯教育制度の有無	92
12) 学生の海外研修制度の有無	93
13) 共用試験の実施時期とその準備状況	95
14) 国家試験への対応	97
7. 学生数・奨学金・就職・国家試験	99
1) 学生数並びに学生生活支援など	99
(1) 在籍者数など	99
(2) 留学生の受け入れと日本人学生の外国留学の状況	104
(3) 授業料減免の状況	105
(4) 進路相談の状況	106
(5) 障害のある学生の修学支援	107
2) 奨学金等の受給学生人数	109
3) 職種別就職状況	112
4) 都道府県別就職状況	113
5) 獣医師国家試験の合格率	119
8. 施設・設備	120
1) 各大学が共通に設置している施設・設備－1	120
2) 各大学が共通に設置している施設・設備－2	121
3) 各大学が選択して設置した施設・設備	124
4) 学生の自習を補助する施設・設備	125
9. 自己点検・評価体制と機関別認証評価の受審状況	126
1) 自己点検評価委員会の活動	126
2) 過去 10 年間の外部評価システムの受審状況	127
3) 学生による授業評価システム導入の有無	128
4) 授業方法の改善の状況	129
10. 外部資金（科研費）	131
1) 平成 19・24・29 年度 文部科学省科学研究費補助金申請・交付状況	131

I これまでの調査報告書と 今回の調査項目

1. 私立獣医大学における獣医学教育に関する相互評価報告書

昭和 58 年（1983）に学校教育法が一部改正され、獣医学修業年限が 4 年から 6 年一貫教育となり、その後、修業年限 4 年制の大学院博士課程が設置された。6 年制獣医師を世に送り出して以来 30 年、修士積み上げを加えると 36 年が経過した。この間、獣医学教育の改善・充実の運動は紆余曲折を経て、国立大学では共同獣医学部、共同課程など名称は異なるが、2 大学共同の教育課程・教育組織が構築され、国際水準の獣医学教育を目指している。一方で、獣医学モデルコアカリキュラムの策定、共用試験、参加型臨床実習の実施によって実践的獣医師養成の仕組みが平成 28 年度から本格的に運用開始され、平成 29 年度からは獣医学専門分野の第三者評価となった大学基準協会「獣医学教育に関する基準（平成 28 年 6 月改正）」に沿っての受審も始まった。

今日、食の安全の確保、越境家畜伝染病の侵入防止、ヒトと動物の共通感染症対策、動物医療の多様化と高度化、動物愛護・福祉、害獣となった野生動物の駆除、希少動物保護をはじめとする自然環境保全対策など、獣医師および動物医療が果たすべき役割に対する社会の要請は絶大である。これに応え得る獣医師の養成が獣医学教育を担当する大学に課された責務である。

毎年、獣医師として社会にでる約 1000 名の約 7 割の教育を担っている私立大学 5 校は、この間、第一次から八次までの相互評価を通じて、自助努力によって教育研究組織・施設設備の整備を行ってきたが、まだまだ不十分であると言わざるを得ない。

今回、第九次の相互評価を実施し、平成 18～28 年の評価を冊子体として取り纏めた。

私立獣医科大学相互評価報告書（詳細は私獣協 HP でご覧頂けます）

- 平成 14 年 6 月 私立獣医科大学における獣医学教育の相互評価報告書（第一次／平成 6 年度～平成 12 年度）
- 平成 16 年 8 月 私立獣医科大学における大学院における獣医学教育・研究の相互評価報告書（第二次）
- 平成 17 年 6 月 私立獣医科大学における獣医学教育充実に関する短期改善目標の達成度調査報告書（第三次／平成 14・15 年度）
- 平成 19 年 6 月 私立獣医科大学における獣医学教育の相互評価報告書（第四次／平成 13 年度～平成 17 年度）
- 平成 21 年 8 月 私立獣医科大学における臨床教育および動物病院の相互評価報告書（第五次）
- 平成 23 年 6 月 私立獣医科大学における臨床ならびに衛生学実習に関する相互評価報告書（第六次）
- 平成 25 年 9 月 私立獣医科大学における大学院教育・研究の相互評価報告書（第七次）
- 平成 28 年 1 月 私立獣医科大学における参加型臨床実習の導入に関する相互評価報告書（第八次）
- 平成 30 年 6 月 私立獣医科大学における獣医学教育の相互評価報告書（第九次／平成 18 年度～平成 28 年度）

2. 調査項目

調査項目は以下の通りである。

- 1) 教育の理念・目標・3ポリシー
- 2) 教育・研究・事務組織
- 3) 財政
- 4) 教職員組織
- 5) 志願者・合格者・入学者・学納金・入試科目
- 6) 教育課程
- 7) 学生数・奨学金・就職・国家試験
- 8) 施設・設備
- 9) 自己点検・評価体制と機関別認証評価の受審状況
- 10) 外部資金

日本私立獣医科大学協会・第9次相互評価の実施（平成29年1月20日付 依頼文）

昨年6月の総会において決定致しました第9次相互評価を実施致します。評価内容は大学基準協会等の機関別認証評価の評価項目と、大学基準協会が改訂した「獣医学教育の基準」による専門教育の第三者評価の項目などを網羅した形となりました。

質問事項は、毎年開催される私獣協総会における照合事項も多数含まれており、分かる範囲で本学部が記入しました。ご確認と追加修正を御願います。

獣医学教育の教育研究基盤（組織・施設・財務）に関する自己点検評価を10年ぶりに実施することは、今、正に始まった獣医学教育改革における外部評価にも堪えうる大学を作る為の体力測定であろうと思われます。各大学の担当部署には、多大な負荷を掛けることとなりますが、わが国の獣医学教育の発展の一翼は私学が大いに担っているという自負と責任を持ち、第9次相互評価の実施を宜しくお願い申し上げます。

1. 調査報告書のタイトル 私立獣医科大学における獣医学教育の相互評価報告書（平成18年度～平成28年度）

－『獣医学教育の相互評価2016』5年（H18、H23、H28）毎の比較－

2. 調査項目「別紙①」のとおり

3. 調査方法

- (1) 調査票（電子ファイル）に直接入力してください 平成28年5月1日の数値でお願いします
- (2) 調査票の提出方法 Eメールに添付して送信
- (3) 調査票提出・問い合わせ先北里大学 獣医学部 学生課（担当：沼田・大藤）
- (4) 提出期限 平成29年4月28日（金）

Ⅱ 委員会構成

1. 委員会構成

委員長	高井 伸二	(北里大学)
委員	及川 伸	(酪農学園大学)
	河上 栄一	(日本獣医生命科学大学)
	山下 匡	(麻布大学)
	大矢 祐治	(日本大学)

Ⅲ 各調査項目における相互評価

〔獣医学教育の横断的評価のための調査 2016〕

獣医学教育の横断的評価のための調査 2016

1. 教育の理念・目標・3 ポリシー

私立5大学は、明治14年に私立獣医学校（日本獣医生命科学大学の前身）、明治23年に東京獣医講習所（麻布大学の前身）、明治40年に東京獣医畜産大学（昭和26年に吸収：日本大学の前身）、昭和39年に酪農学園大学、昭和41年に北里大学が設立された。設立に至るそれぞれの背景と長い歴史は、建学の精神と教育の理念と目標に掲げられている。

この章では、各大学の教育理念とそれを具現するための教育目標、育成する人材像等の3ポリシーを比較した。そこには社会の要請に応えられる高等専門職業人である「獣医師」を養成する強い決意が込められている。

酪農学園大学

〔教育の理念と目標〕

獣医学群は建学の精神（三愛精神・健土健民・実学教育）に基づき、獣医学と獣医保健看護学およびその関連科学分野の教育を通して生命を尊ぶ豊かな人間性を育み、人類と動物の福祉及び自然環境との調和とその共存に貢献する人材を育てる。すなわち、専門知識・技術及び総合的な判断力を習得し、国際的視野に立って人と動物の健康保持、環境保全ならびに食料の安定供給に寄与してワンヘルスに貢献できる人材を養成することである。また、高等教育機関として、地域社会における知識・文化の中核、さらに将来に向けた地域活性化の拠点として、上記の人材を教育することを目的とする。獣医学群教育はライフサイエンスに根ざし実践を目指した応用科学であり、医学、農学、生物学などの他、動物の愛護・福祉など広範囲な学問分野を含む。獣医学群の教育は獣医学類と獣医保健看護学類が相互に協力して、様々な分野で求められている広範囲な専門知識と技術を取得し、様々な決まりを遵守しチーム獣医療を実践できる人材の育成を教育の基本方針とする。

〔三つのポリシー〕

＜ディプロマ・ポリシー＞

以下の能力を身につけ、豊かな知性と人間性を持ち、「人と動物そしてそれらを取り巻く環境との相互的関連の重要性」を獣医師として社会に発信できる人材に対し学位を授与する。

- ・獣医師の社会的責務を果たすための使命感、倫理観、責任感、コミュニケーション力を修得する能力
- ・学際的な視点を持ち、物事の本質を見通す洞察力、先見力、創造力、応用力を修得する能力
- ・科学的な根拠を基礎とし、世界的な視野で人間社会の健全な発展に寄与でき、さまざまな情報を統合して、的確な判断を行い、必要な行動ができる能力

＜カリキュラム・ポリシー＞

新たな知の創造につながる獣医学専門教育を積み上げ、問題を解決する能力を養い、指導的な役割を果たしうる人材を育成する。研究や討論を実践的に積み上げる学生参加型の授業および実習を充実し、教養と豊かな人間性、国際的感覚、強固な責任感と高い倫理性を取得する専修教育を実施する。

＜アドミッション・ポリシー＞

獣医学類は、国際通用性を基本とした獣医学及びその関連分野における高度な知識と技術を修得し、国内外の迫り来る諸問題を解決できる能力を具備する獣医師の育成を目的とする。また、本学類は、社会に対する幅広い視野を有し、地域や地球レベルでの人と動物との調和すなわちワンヘルスに深い関心を持ち、日々進歩する最新知識を吸収できる基礎学力を有し、生涯にわたり自己学習意欲を持ち、人間社会に貢献する高い志を持つ人材を求める。

北里大学

〔教育の理念と目標〕

学祖北里柴三郎の旺盛なフロンティアスピリットと、真理探求への飽くなき姿勢を精神的な基盤とする北里大学は、7大学院と7学部、一般教育部、2付置研究所、4大学病院を有し、生命科学に特化した個性的な大学として、社会的に評価されている。

大学の理念は、学術の中心を担う本学が、独自の知的価値の創出と人材育成を通じて社会的使命を達成するため、いかなる教育、研究、医療活動を展開するかの基をなすものである。

本学では、建学の精神を21世紀の現代に投影させた次の各項目をもって大学の理念となし、大学組織の到達目標及び行動規範としている。

1. 生命科学の最先端に位置する教育学術研究機関となる。《生命科学のフロンティア》
2. 社会の要請に応じた教育と基礎研究・応用研究に最善を尽くし、絶えず改善改革を進める。
3. 新研究分野の開拓や新規技術の創出ができる独創性と開発能力の涵養を通じ、生命科学をリードする研究者、教育者を養成する一方、専門職業人として必要な高度専門知識・技術を教授し、社会に有為な人材を養成する。
4. 生命科学の最新の知見を学生、教育者、研究者のすべてに望みどおりに提供する。
5. 教育・研究・医療の諸活動を通じて社会貢献を目指す。

〔三つのポリシー〕

＜ディプロマ・ポリシー＞

基礎獣医学、応用獣医学、臨床獣医学の幅広い知識を修得し、高い倫理観を備え、探求心・研究心を持った専門職業人として、これを活用できる能力を身に付けさせるために、以下のカリキュラムを設定します。

①1年次は豊かな人間性を育み、高い教養と倫理観を身につけるための人間形成の基礎科目及び生命科学と獣医学への導入としての獣医学入門の開講、②2～3年次に生体機構系、病態系科目の講義と実習、③4～5年次に予防衛生系と臨床系科目の講義と実習、④5年次後期から6年次に少人数単位の病院実習並びに卒論研究によるきめ細かな教育の実施。

＜カリキュラム・ポリシー＞

豊かな人間性を有し、獣医学・獣医療の専門職業人として高度の知識・技能と社会の要請に対応可能な問題解決能力を身に付けていることを重視します。そのための学位授与の方針は、生命科学を理解し、高い教養と倫理観を身に付け、動物の病気の診断・治療・予防、食品の安全性の確保と供給、医薬品の開発、野生動物の保全、人獣共通感染症の制圧など獣医学に対する社会の多様な要請に応えられる能力と意欲を持つこととします。

＜アドミッション・ポリシー＞

【学科・専攻の理念・目的等】

獣医学科は、獣医学に関する高度な知識と技術及び豊かな人間性を備え、人類の健康と福祉の向上及び持続可能な創生に向け、多様な課題を解決できる人材の養成を目的とします。

【求める学生像】

- ・獣医学科で学ぶための基本となる論理的思考力・理解力・表現力・問題発見能力を備えた学生。
- ・将来、農林水産・公衆衛生・小動物臨床・バイオメディカル・野生動物・動物愛護などの分野で、獣医学に関する高度な知識と技術を身につけた職業人として社会に貢献することを目指す学生。
- ・獣医学・動物生命科学を専攻することに強い意欲を持ち、将来、博士の学位を取得し、研究者として世界的に活躍する意欲のある学生。

【入学者選抜方針】

○指定校推薦入学試験

獣医学分野に対して強い関心を抱き、意欲的に勉学する意志を持つ優れた学生の入学を希望します。

○公募制推薦入学試験

本学科への入学を強く希望し、基礎的学力とともにコミュニケーション能力に優れた学生の入学を希望します。

○一般入学試験（前期・後期）

高い学習能力を有し、高度な専門教育によってさらに伸びる素質を有する学生の獲得を目指して選抜します。卒業後、国際的にも社会の先導的役割を担える人材に育つことを期待しています。

英語・数学・理科について十分な基礎学力を有する学生の入学を希望します。

○大学入試センター試験利用入学試験

確かな基礎学力を有し、無理なく獣医学科目全てを学習できる発展的素地を有する学生を選抜します。様々な難しい社会的要請にも柔軟に対応できる人材に育つ可能性を有する学生の確保を目指します。

< 3 教科方式 >

英語・数学・理科について十分な基礎学力を有する学生の入学を希望します。

< 5 教科方式 >

英語・数学・理科・国語・社会について十分な基礎学力を有する学生の入学を希望します。

○帰国生徒特別選抜入学試験

外国での滞在経験を有し、しかも高校で優れた成績を修めた学生を選抜します。現在、獣医師に対して世界各国から様々な知的・技術的連携が要請されていますが、優れた語学能力と国外経験を生かし、国際的な規模で活躍できる人材の獲得を目指します。

○地域枠特別選抜入学試験

地域獣医療への深い関心と、地域産業への貢献に強い意欲を持った学生を選抜します。獣医学への学習意欲と獣医学を学ぶために必要な基礎学力、問題発見・解決能力を備えた学生の入学を希望します。

○学士入学試験

卒業大学や学部、学科、また現在の職業も問いません。本学科への入学の目的意識を強く持ち、かつ積極的な勉学意欲に溢れた学生を選抜します。豊富な知識と経験を生かし、学科の中心的な存在となることを期待します。卒業後の職業の広がりも計りしれないと考えます。2年次に編入となります。

日本獣医生命科学大学

[教育の理念と目標]

愛と科学の心を有する質の高い獣医師と専門職及び研究者の育成

獣医学科は、高度先端獣医療及び生命科学領域の進展等の新たな社会の変化に対応できる先導的な獣医学の教育・研究を行い、自ら学び、考え、問題を解決する能力を養うことによって、飼育動物診療、動物に関する保健衛生の向上、畜産業の発達、並びに公衆衛生の向上に寄与する獣医師を育成する。

[三つのポリシー]

<ディプロマ・ポリシー>

獣医学科は、飼育動物診療、動物に関する保健衛生の向上、畜産業の発達、ならびに公衆衛生の向上に寄与する獣医師を育成することを目標としており、以下の点を修得した者に学位を授与する。

- ・基礎獣医学および獣医学に関連する科学の基本的な知識を有している。
- ・飼育動物の診療に必要な知識を有し、基本的な臨床能力としての診療手技、科学的根拠に基づく臨床推論に裏付けされた診療を実践する力および基本的な臨床コミュニケーション技能を身につけている。
- ・畜産業の発展に貢献できる獣医学全般の基本的な知識を有している。
- ・獣医学に裏付けられた動物の健康管理、疾病予防および公衆衛生に関する基本的な知識ならびに実践能力を身につけている。
- ・自然環境の保全、保護に関する基本的な知識を有している。
- ・多様な立場の人々の中で自分の考えを適切に表現し、理解を得られることができる。また、道徳的思考力と倫理的・科学的判断能力をもち、社会人・国際人として様々な問題に対し多面的視点から対処し、解決できる能力が身につけている。
- ・生命倫理と慈愛の心をもった獣医師としての適切な態度と行動が身につけている。チーム獣医療・研究を円滑に進める能力と協調性があり、変化し続ける獣医学・獣医療に対応するために生涯にわたってアクティブに自学自習する態度・習慣を身につけている。

＜カリキュラム・ポリシー＞

獣医学科は、以下の方針で教育課程を編成し、実施する。初年次教育として、自然科学、語学および人文社会系の教養教育とともに、概論を通して獣医学の幅広い分野と社会が求める獣医師との関係を理解させ、基礎獣医学の一部科目を配置することで獣医学に対する知的好奇心をもって能動的学修に励むよう導入教育を実施する。専門教育として、2年次より基礎獣医学および病態獣医学に関連する科目、3年次からは疾病予防獣医学および臨床獣医学の科目を配置し、獣医師としての基本的な専門知識と技能を修得させる。さらに5年次以降の参加型臨床実習および公衆衛生関連実習においてはより実践的な思考能力や判断力および技能を身につけることを目的とする。加えて、3年次より研究室に配属し、卒業論文のための実験・研究を通して自分の学修課題を見出して解決する能力を養成する。

また、「獣医福祉学」、「獣医倫理学」、「獣医事法規」を学ぶことで生命倫理を踏まえた獣医師として、誠実・公正なる判断力と対応力を養う。

キャリア教育として社会での実践的な獣医師の役割を体感する「学外実習」を提供し、社会的・職業的自立を目指す。

（専門分野毎の到達目標）

- ・基礎獣医学：主要動物の身体の発生、正常な構造、機能を理解し説明できる。
- また、獣医師の社会的役割を理解し、獣医倫理を実践に応用できる資質を身につける。
- ・病態獣医学：獣医臨床および公衆衛生に関わる病因、病態を理解し説明できる。
- ・疾病予防獣医学：産業動物や伴侶動物の環境衛生、疾病予防を理解し説明できる。また、公衆衛生の基本的な考えを理解し、人の健康増進、野生動物を含めた地球環境保全に必要な知識を身につける。
- ・臨床獣医学：主要疾患の病態や病因、診断、治療の基本的な知識を修得し説明できる。また、獣医師として適切な態度と行動を身につける。

＜アドミッション・ポリシー＞

獣医学科は、飼育動物診療、動物に関する保健衛生の向上、畜産業の発達、ならびに公衆衛生の向上に寄与する獣医師を育成するために、次のような人材を求めている。

（入学者に期待する事項）

- ・国際社会において活躍するために必要な基礎的英語力と獣医学を学ぶにあたり必要な数理的知識を有する人

高等学校までに学ぶことを期待する教科・科目：英語・数学・理科（生物・化学・物理）

- ・論理的思考力を有し、自らの考えを簡潔に伝えることができる人
- ・飼育動物診療、動物に関する保健衛生向上、畜産業の発達および公衆衛生の向上への強い関心・興味を持ち、獣医師として社会貢献を志す人

また、それを実行するための協調性や積極性を有する人

- ・命あるものに深い愛情をもって接することができ、相手の立場に立つ思いやりをもつ高い倫理観を有する人

（選抜方法と入学者に求める程度）

【推薦 特別選抜】

○基礎学力検査

◎小論文：論理的思考と状況判断を行い、自らの考えを簡潔に伝える文章構築力を評価する。

◎面接：興味・関心や将来への志望のほか、物事に柔軟に対応し円滑に集団活動を行う社会性や自ら学び、考え、問題解決に取り組む意欲的な姿勢を評価する。自らの言葉で質問を理解し、自らの考えを簡潔に伝える表現力を評価する。

【一般】

◎学力検査（英語・数学・理科）

【センター利用】

◎学力検査（国語・英語・数学・理科）

※◎と○については、重視する度合いを表す。◎＞○

麻布大学

〔教育の理念と目標〕

獣医学部の教育理念・目的に基づき、獣医学科では、獣医師としての科学的思考力と応用能力を展開させ、生命と福祉にかかわる科学者としての社会的使命を遂行できる能力及び動物の生理や病態、疾病の処置とその予防、並びにヒトと動物の感染症、動物性食品衛生及び環境衛生に関する科学的知識と技術を併せ持つ人材の養成を目的とする。

〔三つのポリシー〕

＜ディプロマ・ポリシー＞

本学科の定められた教育課程を修了することで、次のような人材が育成されることを目標とする。

- (1) 獣医師としての専門分野の学問内容についての知識を習得している。
- (2) 獣医師として、臨床・予防衛生・公衆衛生に対応できる専門家としての実践能力を習得している。
- (3) 獣医師としての高い倫理観を有し、高度な専門職業人として責任を持った行動をとることができる。
- (4) 獣医師である高度な専門職業人として、課題発展能力・問題解決能力を習得し、獣医療の進歩や生命科学に関する社会のニーズの変化に、持続的に対応できる柔軟さと学習意欲を持つ。

＜カリキュラム・ポリシー＞

本学科の教育理念・目的に基づき、以下のような特徴あるカリキュラムとなっている。

- (1) 初等年次では、教養から基礎獣医学まで幅広い知識や倫理観を身に付けるために基礎系教員と獣医学系教員の協力による総合的なカリキュラムの設定や選択科目を増やした学生の自主性を尊重したカリキュラムを設定している。
- (2) 中等年次では、基礎獣医学から臨床獣医学、応用獣医学まで獣医師として必要な要素を身に付けるために獣医学系教員による専門的なカリキュラムを設定している。このため専門教育を基礎獣医学系、病態獣医学系、生産獣医学系、臨床獣医学系及び環境獣医学系の5系のカテゴリーに分け、系内及び系外教員との協力体制の下に教育を展開している。
- (3) 高等年次では、小動物臨床獣医師、産業動物臨床獣医師あるいは公衆衛生獣医師などの獣医師としての専門性を身に付け、実践力を体得するためのカリキュラムを設定している。
- (4) 獣医師として、社会に巣立つための獣医師ライセンスの取得を目的とした獣医師国家試験対策のために、専門教育5系に属する獣医学系全教員の連携による総合的なカリキュラムを設定している。

＜アドミッション・ポリシー＞

本学科の教育は、獣医師として高い倫理観を有し、高度な専門知識・技術を身に付けて社会に貢献できる人材を養成することを目的にしているため、次のような人物を求めている。

- (1) 人や動物、自然が好きな人
- (2) 獣医学に強い関心を持ち、獣医師となることについて明確な問題意識を持っている人
- (3) 獣医師になるための情熱及び他者への思いやりと奉仕の心、高い倫理観を持っている人

日本大学

〔教育の理念と目標〕

○教育の理念

日本大学の教育理念は「自主創造」です。

日本人としての主体性を認識し、その上でグローバル化に対応できる世界的視野で物事を捉え、それぞれが学ぶ領域や活動体験を生かし「自主創造」の気風に満ち溢れた人材の育成を目指します。

○教育研究上の目的

獣医学は、動物医療を根幹として、動物の健康維持・増進を図るとともに、ヒトの健康と福祉に貢献することを目的としている。その達成のために、生命活動のメカニズムの探求や疾病の診断・治療・予防はもと

より、公衆衛生、野生動物の保護及び環境保全など幅広い領域に対し、社会のニーズに応えることができる知識と技術を有した獣医師を養成する。

[三つのポリシー]

<ディプロマ・ポリシー：DP>

日本大学生物資源学部獣医学科は、日本大学教育憲章に基づき、「日本大学の目的及び使命」を理解し、「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を修得した者に「学士（獣医学）」の学位を授与する。

[DP1] 獣医師たるに必要な豊かな教養・知識・技術を修得し、法令遵守の精神と高い倫理観に基づいて、自らの使命・役割を果たすことができる。

[DP2] One health の目的を理解し、獣医学分野で国際的に直面している問題を説明することができる。

[DP3] 獣医師として得られる情報を基に論理的な思考と批判的な思考をすることができる。

[DP4] 獣医師として自ら課題を探究して果敢に挑戦するとともに、その解決策を提案することができる。

[DP5] 獣医師としてのコミュニケーション能力を具えている。

[DP6] 獣医師として様々な分野と協働・連携し、社会に貢献する姿勢を持ち続けることができる。

[DP7] 獣医学に関する専門知識及び技術を有し、将来にわたってそれらを省察・研鑽することができる。

<カリキュラム・ポリシー：CP>

日本大学生物資源学部獣医学科は、卒業の認定に関する方針に適う人材を養成するため、6年間を通じて順次性のある体系的なカリキュラムを編成し実施する。また、各科目における教育内容・方法、成績評価方法及び評価基準をシラバス等で明示し、学生に周知した上で、実施する授業形態に即した公正かつ厳正な評価を行う。

[CP1] 獣医師に必要な高度生物学である基礎獣医学科目を開講する。

[CP2] 獣医学の専門知識と技術を学ぶため、順次性を考慮した体系的な獣医専門科目を開講する。

[CP3] 獣医学が担う国際的な役割・関係性を理解する科目を開講する。

[CP4] 論理的かつ批判的でエビデンスベースな研究の進め方を理解するため、卒業論文もしくは臨床研究の科目を開講する。

[CP5] 獣医師に求められる実践力、現場力、コミュニケーション力の基礎を獲得するため、臨床実習や学外見学・体験ができる科目を開講する。

[CP6] 獣医師の資質をより高めるため、学際的・先端的な選択科目を開講する。

<アドミッション・ポリシー：AP>

日本大学生物資源学部獣医学科では、動物の健康維持・増進・福祉を図るとともに、人の健康と福祉に携わり、地域社会及び国際社会に貢献できる獣医師の育成に力を注いでおり、次のような人材を求めている。

[AP1] 日本大学の自主創造の理念を理解し、自ら切り拓こうと努力する人

[AP2] 生命に対する強い関心と高い倫理観を持った人

[AP3] 強い目的意識を持って獣医学の習得に努力する人

[AP4] 将来にわたって研鑽に努め本学で学んだ成果を社会に還元しようとする志を持つ人

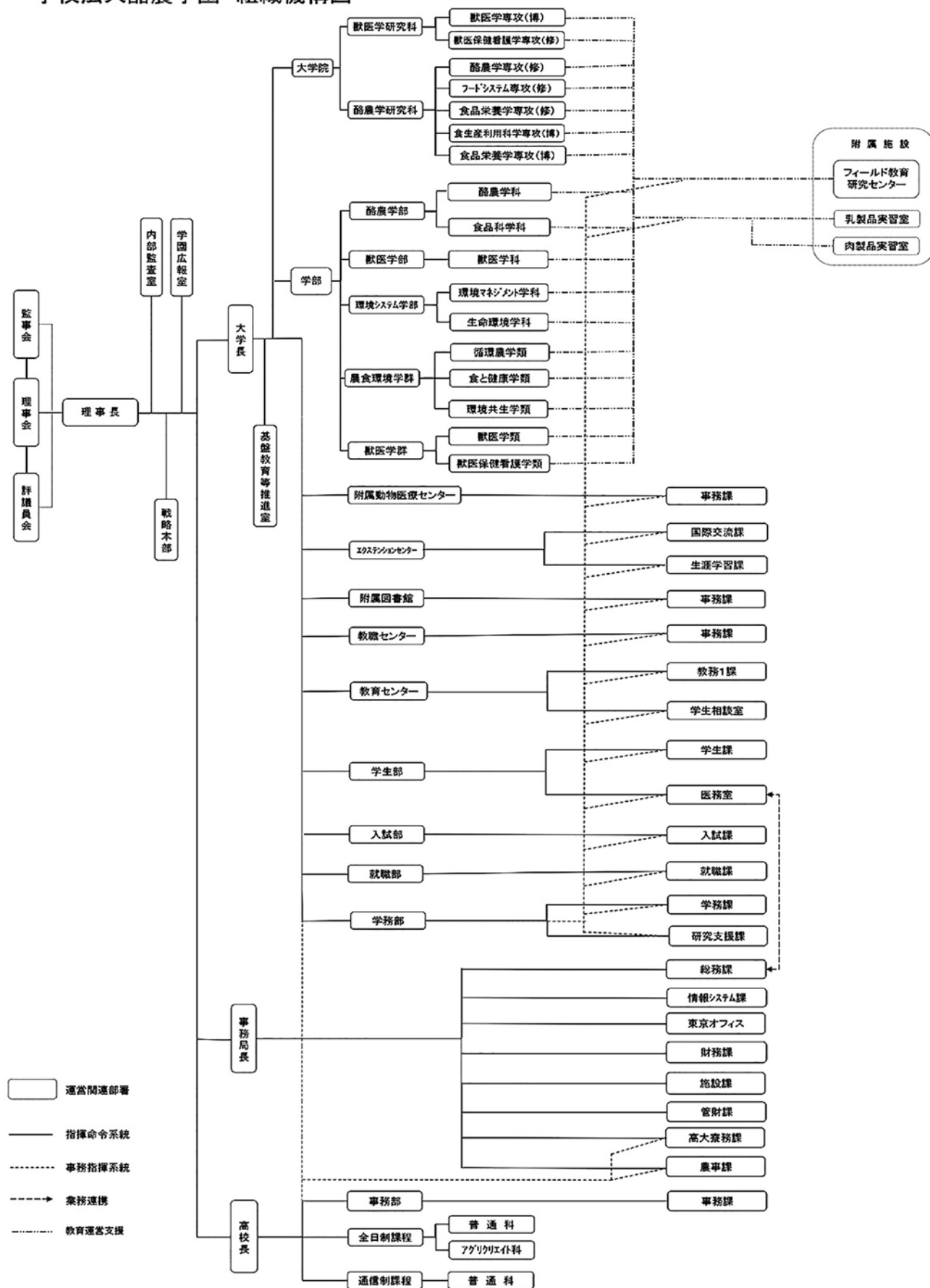
2. 教育・研究・事務組織

この章では、5 大学の学部機構図を比較しつつ、教育組織では教員数と研究室の構成、研究組織では付置研などの研究組織における各大学の特色と研究の活性化に向けた将来計画・構想を、事務組織では、その特色と直面している問題と今後の対応策を問うた。

1) 教育組織（研究室）、研究組織（付置研など）、事務組織の機構図

学校法人酪農学園 組織機構図

2016年4月1日現在



教育組織：わが国の獣医学教育に何よりも求められるのは臨床教育の充実であろう。それは現在、全国獣医学系大学によるコアカリキュラムの整備や参加型臨床実習などの取組みにも現れており、今後も臨床教育の発展と充実は継続されていくものと考えられる。また、2010年に農林水産省が「獣医療を提供する体制の整備を図るための基本方針」として2020年を目標に「小動物分野、産業動物分野等の獣医療現場において獣医師と動物看護職などの獣医療に携わる他分野専門職との連携の必要性和、動物看護職の地位や身分の確立、動物看護職に必要な知識・技能の高位平準化の必要性」を明記したことから、チーム医療の一員としての動物看護師の国家資格化が目指されている。本学では、臨床教育の充実を進めつつ、動物看護師の国家資格化を見据え、他大学との差別化を可能とする独自性を発揮して社会に認められる将来を見据えた理想像を描いて邁進する。

「酪農学園大学」はその名の通り、生産動物医療教育についてはどの大学にも勝る独自色を有している。しかし、今後を考えると、少子化に伴う社会構造の大きな変化は、獣医療、獣医職を取り巻く環境も大きく変えて行くであろう。昨今の畜産業界では、担い手の高齢化が進み、農場戸数の減少に伴い一戸あたりの飼養飼養頭数は増加しているおり、その経営形態も変化してきている。生産物の国際流通に拍車がかかるような国内外の情勢も相俟って、畜産業界の根本的なシステムの変革が喫緊の課題とさえられている。また、伴侶動物医療においては動物病院の飽和、犬猫の飼養頭数の減少と高齢化、高度医療のニーズ、飼育動物の多様化など多くの変革が求められてくる。さらに、公衆衛生分野においても社会のグローバル化に伴い、これまで日本になかった新興再興感染症の侵入や薬剤耐性菌の蔓延を制御するといった難しい課題にも直面していく、こうした社会の様々な課題に自ら考え対応できる“人財”が獣医領域にも求められてくる。これらの課題は、個別に解決できるという単純な問題ではないし、その解決には幅広い知識を持ち、応用できる“人財”を教育育成する必要がある。

本学園の設立者黒澤西藏翁は、「健土健民」という言葉を通して地球上の土壌、動物および環境が健全であることが人の健康を保証することに不可欠であると提唱している。今日、急速にグローバル化が進み、多くの社会問題が分野を越えて複雑化する中で、地球上の全ての生命に対しその健康を担保する、いわゆる「One-Health（一つの健康）」という概念が根付き、そして人と動物を含めた全ての地球上の生物の健康を考えるという「One World-One Health」が提唱されている。こうした考え方は、黒澤西藏翁が遙か以前に提唱した「健土健民」および「循環農法」とほぼ同一の概念で酪農学園の設立基盤は、時を経て、現代社会において再びその具現化を求められている。

本学は、獣医学群以外にも獣医領域と密接に関連する領域（酪農、畜産、農学、環境および食品）を学類として持つ。この事は酪農学園大学の最大の特色でもあり、総合的な知識を持つ獣医師および動物看護師として「One World-One Health」を担える“人財”を輩出できる大学である。この「One World-One Health」は、健土健民思想のもとに実学教育を着実に実践し、社会に広く貢献する卒業生を輩出していくという建学の精神にも合致するものである。こうした背景を踏まえ、獣医群は「One World-One Health」を実践できる総合的な知識を持つ“人財”を育てることとし、以下の3点に主眼をおいた教育および研究体制の整備を進めている。

1. 社会貢献できる獣医学および動物看護学の教育および研究
2. 先進的で総合的な獣医学および動物看護学の教育および研究
3. 国際化に対応した獣医学および動物看護学の教育および研究

獣医学類では、2011年度(H23年度)よりユニット制と分野制（生体機能学分野、感染病理学分野、環境衛生学分野、生産動物医療学分野、伴侶動物医療学分野）を導入した。

・生体機能学分野は解剖学2名、組織解剖学2名、生理学2名、栄養生理学2名、生化学2名、放射線生物学2名、薬理学1名の7ユニット13名

・感染病理学分野は獣医ウイルス学2名、獣医細菌学2名、獣医寄生虫病学2名、実験動物学2名、獣医病理学2名、獣医免疫学1名の6ユニット11名

・衛生環境学分野は食品衛生学2名、環境衛生学1名、人獣共通感染症学2名、獣医疫学1名、獣医衛生学2名、ハードヘルス学2名、動物倫理学1名の6ユニット11名

・生産動物医療学分野は動物生殖学2名、生産動物内科学Ⅰ2名、生産動物内科学Ⅱ2名、生産動物外科学2名の4ユニット8名

・伴侶動物医療学分野は獣医麻酔学2名、画像診断学1名、伴侶動物内科学Ⅰ1名、伴侶動物内科学Ⅱ2名、伴侶動物外科学Ⅰ2名、伴侶動物外科学Ⅱ2名の6ユニット10名

獣医学群としては、獣医学類30ユニット53名に加えて、2018年度には参加型臨床教育の対応教員が（生産動物系嘱託助手3名、伴侶動物系嘱託助手7名）10名と獣医保健看護学類の教員8名の総計71名の教員構成となり、斉一教育としての参加型臨床実習については概ね対応できる体制となる。しかし、専修教育において、特に生産動物獣医療に関し学外にその教育の場を求める際に現場における指導教員の確保が問題になっている。

教育・研究内容

1. 社会貢献できる獣医学および動物看護学の教育および研究

生産動物医療、公衆衛生、および伴侶動物と人の福祉の分野において社会貢献できる獣医師および動物看護師を育てるため、以下の目標を定める。

1) 生産動物医療への貢献

- ・酪農後継者の安定的確保、集約的飼育形態における感染症の効果的制圧、新たな動物の家畜化（特用家畜・家禽）の健康管理等、獣医畜産領域において今後解決しなければならない問題は山積している。酪農学園大学は生産動物臨床獣医師と包括的な連携を図り、社会において必要とされる獣医師を育成するための学生教育を展開する。また、生産動物領域における動物看護師の育成と確立を図り、生産現場の課題解決に向けた研究を強く推進し、生産動物医療を牽引し得る学群を目指す。

2) 公衆衛生面での貢献

- ・地球規模での農畜畜産物の広域流通により海外からの病原体侵入および化学物質の混入が強く危惧される。我国における食品の安全を確保し国民の健康を担保するため、高度な知識と技術を有する獣医師を育て、国民の食生活を守る学群を目指す。
- ・「One World-One Health」を実践する実学教育と研究を推進する。地球規模でのグローバル化が急速に進み、獣医学領域に関わる諸問題も分野を越えて複雑化する中で、地球上の全ての健康を担保するために異なった複数の分野が協力連携する「One Health」という概念が重要視されている。その実現には獣医学だけでなく、長い歴史の中で育まれてきた独自の教育基盤、すなわち学群および学類の横断的連携の強化が必要である。「One World-One Health」は大学全体で協力しながら実践することで初めて具現化される。

3) 伴侶動物と人の福祉に対する貢献

- ・わが国は、今後急速に高齢化社会が進んで行く。同様に、伴侶動物においても高齢化が進み獣医療の専門性も強く求められている。また、伴侶動物と人の関係が密接になる中で、動物と人の福祉に対して正しい知識を持って諸問題に対応し得る“人財”（獣医師および動物看護師）の必要性がより高まっていくと予想される。動物と人の福祉に対して正しい知識を持って貢献できる“人財”を育てる学部を目指す。
- ・様々な動物を対象にした獣医学の基盤・応用研究の必要性が増加していることから、このような動物の獣医療の下支え研究も目指す。

4) 地域との連携、地域への貢献

- ・酪農学園大学は、日本の食糧供給基地である北海道に設立され、農業や酪農業等の発展に大きく寄与してきた。特に酪農創生期に、いち早くデンマーク酪農の思想と技術を導入し、現在の北海道酪農の礎を築いたことは、歴史的にも大きな貢献であった。今般、国内の生産基盤が弱体化し、さらに国際情勢が激変期を迎える中で、本学は新たな時代の、新たな要求に答え得る獣医師の育成とその輩出という大きな役割を果たすことで、地域産業の振興とその恒常的な発展に寄与することを目指す。
- ・国内では酪農家戸数や飼養頭数の減少、さらに十分な後継者確保ができない等、産業基盤を揺

るが、深刻な課題が顕在化している。また、国際情勢では自由貿易の推進、アジア諸国における高度感染性微生物の蔓延等、酪農産業を取り巻く国際情勢も悪化の一途をたどっている。こうした諸問題に対し、安全な食料確保に帰する衛生管理システムの構築や6次産業化に必要な効果的な生産システムの構築を通し、その解決に努めなければならない。酪農学園大学は特に酪農地域との十分な連携を図る中で実学を主体とした学生教育を推進し、その成果をそれぞれの地域に還元することを目指す。

2. 先進的で総合的な獣医学および動物看護学の教育および研究

先進的で総合的な獣医学および動物看護学を教育するため、以下の目標を定める。

1) Evidenced Based Medicine (EBM) と予防医学の実践の推進

- 臨床現場では時間的または費用的な制約の中で十分な evidence の構築が難しく、このことは、EBM の大きな阻害要因と認識されている。正確で迅速な診断技術確立し臨床現場に導入していくこと、またそれを理解し、EBM を実践できる獣医師および動物看護師を育成する。
- 動物看護師がチーム医療の一員として重要な位置を占めるためには動物看護学の確立が課題である。今後 EBM に基づく動物看護学を確立し、動物看護教育を展開することで、従来の動物看護師とは一線を画す“人財”を育成する。
- 疾病の発生を未然に防ぐための予防獣医学は、生産動物および伴侶動物のいずれにも必要な学問領域であり、その応用は社会からも広く求められているものである。EBM の考え方の中で病気とその原因を正確にとらえ、発症前または発症の初期段階に治療することは高い治癒率につながり、さらに必要とされる薬剤も最小限に抑えられる。このことは、自国で生産する畜産物の安全性を高め国民の健康を担保することにとどまらず、農畜産物の国際流通において有意な付加価値の創出が期待される。また、伴侶動物でも病気による苦痛を未然に防ぐことは動物福祉の観点から重要である。先進的な予防獣医学を理解し実践できる獣医師および獣医看護師を育成する。

2) 国際水準に見合った獣医学教育の推進

- 感染症をはじめとした公衆衛生に関する諸問題は国際的な視野に立った解決能力が求められる。獣医学教育および動物看護学教育において、科学情報の共有において英語による情報交換、特に会話能力は必須事項である。農畜産物の安全性確保および感染症対策において本学がアジアでのリーダーシップを担うために幅広い知識はもとより、英語能力の開発等、国際的視野に立った獣医師および動物看護師の育成が急務で、それを理解し実践できる獣医師および獣医看護師を育成する。

3) 実学教育（実践的な臨床教育）を行える場の提供の推進

- 本学は、実学教育を通じて酪農家を支援する獣医師を育成し、生産動物医療の分野において他の追従を許さない臨床教育を展開してきた。しかしながら、獣医師法第17条によって飼育動物を対象とした真の実学教育は法的に制限されてきたが、2010年6月に農林水産省は獣医学生の実習における診療行為について考え方を整理し、一定条件をクリアすることで獣医学生の参加型臨床実習が可能になった。今まさに、本学園の獣医学教育は参加型臨床実習によって国際水準の獣医学教育と本学園のミッションを具現化する大きなチャンスを迎えている。
そこで、獣医学教育における齊一参加型臨床実習を本学園のビジョンを実現するための最優先のアクションプランとして位置づけ、真の実学教育を展開する。さらに、専修参加型臨床実習では、生産動物医療または伴侶動物医療の専門家を育成するための高度教育として位置づけ、アジアの獣医療を担う“人財”を育成する。
- 飼育動物の多様化に対応し、野生動物学などを展開できるようハード、ソフト両面で整え、総合的なバランスの良い獣医学を学べる体制の確立を推進する。
- 循環農学類、獣医学類、獣医保健看護学類の連携により、人工授精師、削蹄師、実験動物管理者などの資格取得を可能にする教育環境を相互協力して確立する。これらの実学教育を推進する場としてスキルスラボを整え、獣医臨床面接試験や、卒業教育、各種資格取得、小中高生への理科教育支援など全学的に活用する。

3. 国際化に対応した獣医学および動物看護学の教育および研究の推進

獣医領域の国際化が進む中で、国際的な場で活躍できる獣医師および獣医看護師を育てるためには、アジアおよび欧米諸国との実質的な国際交流が教育および研究の両面において必須である。家畜および畜産物の流通が広域化する中で食の安全や人獣共通感染症の制圧には地球規模での対応が必要であり、研究領域のみならず、教育的見地からも学生に国際的な意識を醸成させることが必須である。すなわち、海外大学との単位互換制度導入による学生の派遣および受け入れの推進、さらに外国人教員の登用や長期受け入れ制度の導入が必要であり、これらの確立を目指す。

研究組織：農学系大学としての特徴を生かすべく、両学群（農食環境学群、獣医学群）が共有できるテーマでの研究促進を行っている。現在 JICA 草の根事業で、搾乳衛生、乳用牛栄養繁殖成績の改善、ダニ熱防除による、ウガンダにおける牛乳生産性向上プロジェクトを実施している。また、獣医学類衛生環境学分野は 2014 年 5 月に『国際獣疫事務局（OIE）食の安全ジョイントコラボレーティング・センター』の指定を受け、国内外 OIE レファレンスセンターとも協力しながら、OIE 加盟国への研修実施、共同研究を実施している。

2017 年度より附属動物医療センターの動物薬教育研究部門として動物薬教育研究センターが発足した。これは本学動物医療センターの特徴である生産動物と伴侶動物の豊富な診療頭数を背景に、新規の動物用医薬品の治験を含む臨床試験を通じて、特徴ある獣医学教育・研究を推進しようとするものである。現在、動物薬教育研究センターには 3 名のスタッフが勤務しており、医薬品開発に関する各種相談に応じるとともに、獣医学類あるいは獣医保健看護学類の専門教育や研究活動の一部を担っている。

また、本学の特徴である農・食・環境・生命に関する幅広い研究の展開に対応するため、現存する 2 研究科（酪農学研究科、獣医学研究科）の統一化を進めている。統一大学院を設置することになり、本学が保有する人的資源や施設を有効に活用できると考えている。またその中には農業環境情報サービスセンターを一部門として設置し、本学の特色である GIS 研究組織の学際領域での活用を推進することになっている。

酪農学園大学における研究の特徴は以下の 2 点にある。

1) 生産動物を対象とした獣医学研究を重点的に推進し、地域に根差した生産動物医療研究を実践していく

近隣 NOSAI と協力しながら酪農場の診療を受け持ち、そこで発生する疾病から拾い上げられる新たな課題さらには全国的に対策等に苦慮されている生産関連疾病の診断、防除、予防に関する研究を行い、新しい知見の普及啓蒙に努め、農場経営、行政、獣医療現場からの生の情報を収集し、課題を設定し研究テーマとしている。循環農学類や食と健康学類から酪農業／畜産業、農協などに、獣医学類から地方行政、NOSAI に多くの卒業生を輩出し、各分野ごと及び地域ごとに定期的にセミナーや勉強会を開催し、臨床教員のみでなく基礎応用分野の教員も参加している。こうした活動を通して地域から Up to Date な課題を拾い上げ、地域に根差した獣医学研究を進めている。

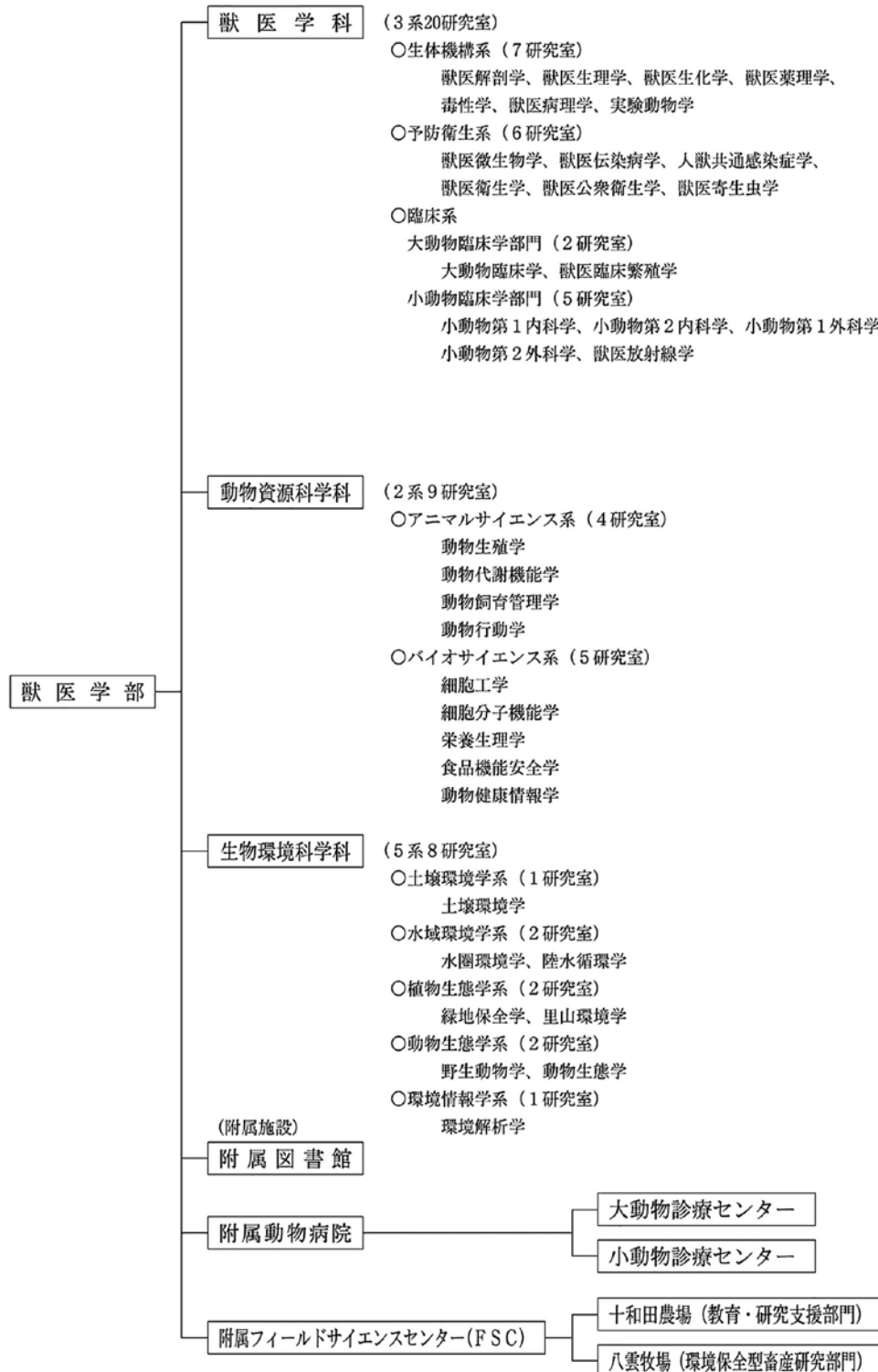
2) 生産動物医療を総合的・多面的に研究していく

獣医学類、獣医保健看護学類、循環農学類、食と健康学類、環境共生学類以上 5 学類の教員が協力しながら医療+経済+環境+食品生産という各側面からの研究を進めている。具体例として、文科省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業での研究「生産動物の感染病原体の迅速同定法開発と感染経路の地球規模的解析からの効果的対策の確立」が挙げられ、獣医学類（9 名参加）以外に獣医保健看護学類から 1 名、環境共生学類から 3 名、食と健康学類から 2 名参加している。

事務組織：本学の事務組織は、本館、学生サービスセンターを中心に集中型で実施しているが、獣医学群（1 箇所）、農食環境学群（4 箇所）の関係建物に学務課の事務室（計 5 箇所）を配置している。各学務課の事務室はパート職員が日々の事務運営（郵便物配付、各種提出書類、経費処理等）を行っている。以前は印刷も担当していたが、印刷は専門業者に委託して事務量の軽減を図っているが、今後、教員と事務職員の事務業務分掌の再確認を検討している。

1. 獣医学部の概要

①学部の組織



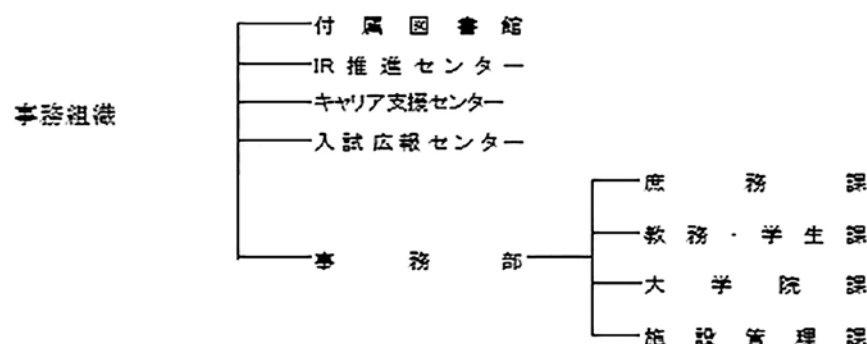
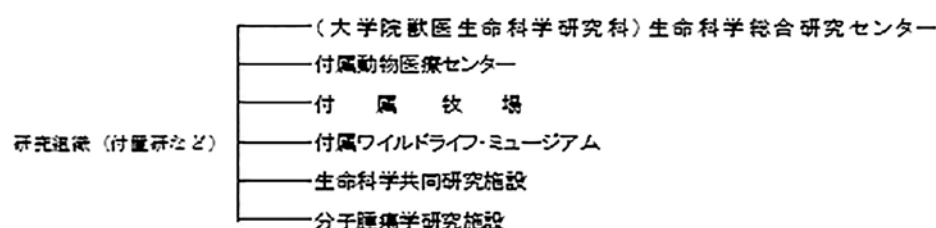
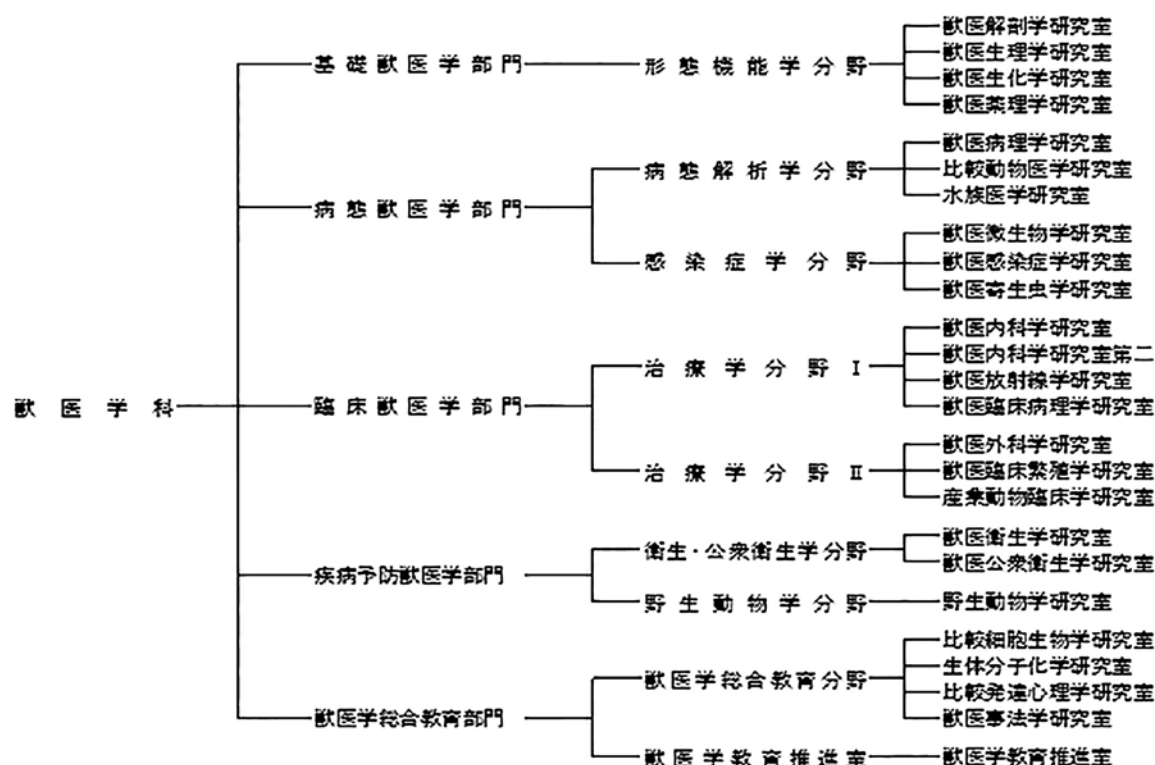
教育組織：本学獣医学科の教員枠は57名で、研究室に配属されている技術系職員等6名枠があり、この6名を将来的には助教枠に変更する予定です。そこで63名を確保し、今年4月から特任助教枠1名を配置、5月着任しております。更に、特任助教枠は病院の収益にもリンクしますが、増員を考えております。また、獣医学部の他の学科に野生動物学研究室（教授が獣医師）を始めとする兼任教員がおり、73名を確保するための対応は可能と考えている。

研究組織：本学部には付置研はありません。大学全体として、北里生命科学研究所があり、大学院 感染制御科学府が設置されている。動物資源科学科・生物環境科学科の卒業生が学府の修士課程など大学院に進学している。

研究の活性化と教員養成は大学院の使命でもあり、学部教育にはその成果が反映されるべきものである。現在、獣医学系大学院博士課程（定員12名）には26名が在籍しており、海外からの留学生を含めて、大学院に関する研究教育環境を更に充実させたい。

事務組織：事務組織として、本学の特色は無いが、相模原キャンパス、白金キャンパスと3キャンパス間での人事交流がある点は、1キャンパスの大学とは異なる点で、長所でもあり短所でもある。事務組織は学部運営においては極めて重要であり、事務職員のキャリアアップの仕組みを構築することが課題だと考えている。

日本獣医生命科学大学



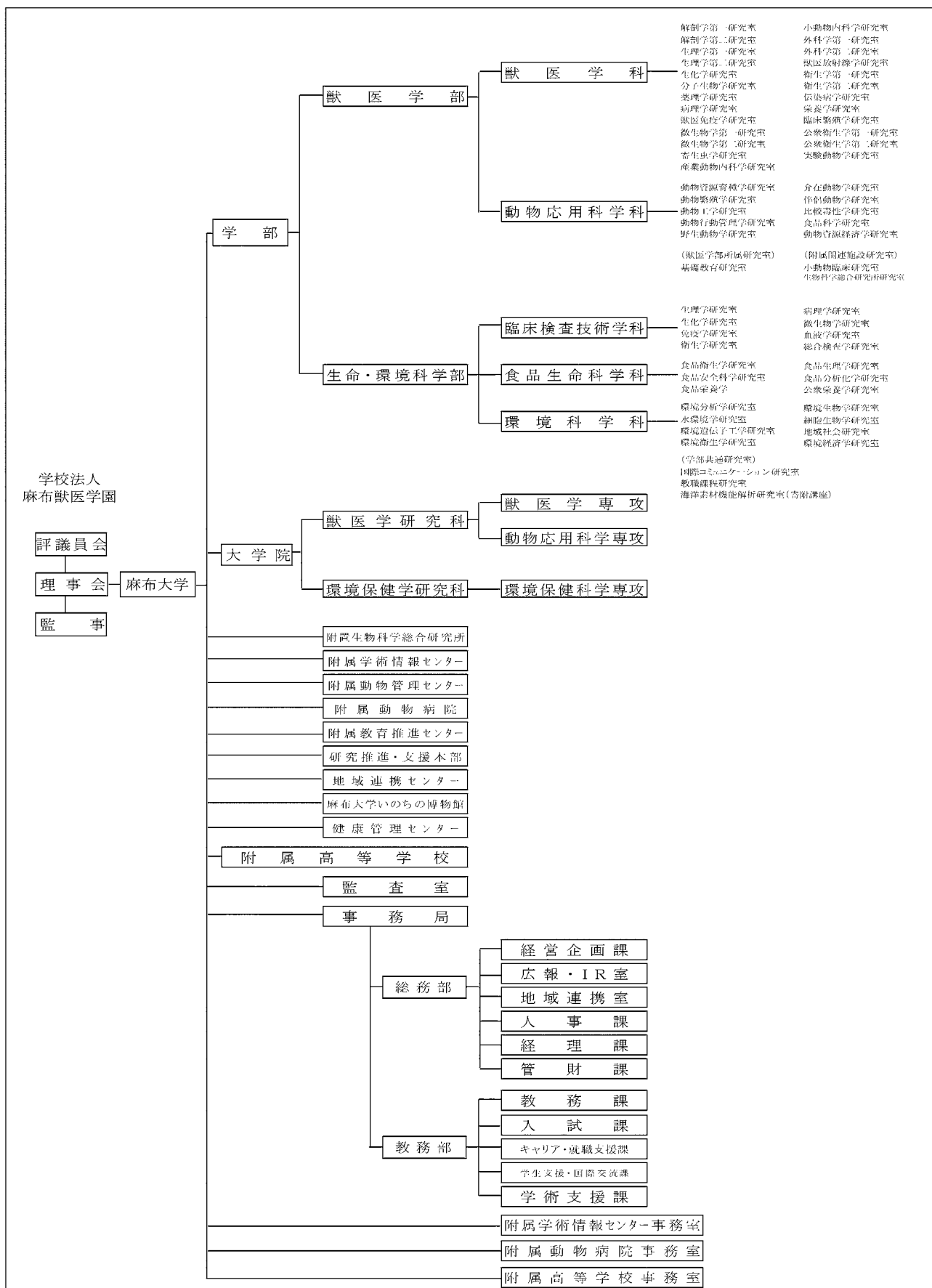
教育組織： 本学では、2015 年度に獣医学教育試行評価を受審し、「獣医学教育（学士課程）に必要な教員数については、専任教員を中心に確保している。」と評価された。しかし、専任教員の分野ごとの適正配置については、モデル・コア・カリキュラムの科目数の比率からすると、応用系、大動物臨床系教員の数が少なく、また、専任教員の職位構成が適正範囲ではないと指摘をうけた。

この状況をふまえ、専任教員の人事について、長期的に検討する委員会の設置や方針の策定が必要であることから、獣医学科に常設されている教育研究体制検討委員会に、2016 年度から小委員会を設置し、各教員の教育担当状況やコアカリキュラムへの専任教員の配置状況から、中期（5 年間程度）の教員採用計画を検討中である。この採用計画は 2017 年度の早期に策定し、法人と調整しながら適正な教育組織作りに取り組む予定である。

研究組織： 本学では、産学連携研究や学部学科間の連携研究を活性化する目的で、大学院付置研究施設として「生命科学総合研究センター」を設置した（平成 28 年 2 月）。獣医生命科学研究科長をセンター長として、その下に研究企画調整委員会を置きセンターの円滑な運営及び業務遂行を図る組織となっている。また、教授会に設置されている「研究推進委員会」と連携して民間企業との共同研究を積極的に推進するために、民間企業等の共同研究者を客員研究員として受け入れる工夫をしている。

今後は、本学が幹事機関となり、日本医科大学と共同して One Health 研究を推進するために、国立研究開発法人科学技術振興機構・産学共創プラットフォーム共同研究推進事業を平成 30 年度に申請する予定である。

麻布大学



教育組織：教員数は維持し、参加型臨床実習の充実のため臨床系教員の増員を図った。具体的には、3 年程度を費やし、非臨床系研究室の統廃合を進めると共に人員配置の見直しを行った。その結果、臨床系教員数は2 増やすことができた。

研究組織：平成 20 年度に設置された研究推進・支援本部では、本学独自の特徴的で個性的な研究の発掘と顕在化、知的財産活動の強化、産学官連携活動の推進、研究倫理を含む研究活動に係る啓発活動を、本学に適した戦略を練りながら展開している。

その一環として、平成 28 年度には文部科学省 私立大学研究ブランディング事業に申請し、タイプ B 世界展開型に採択された。本テーマである「動物共生科学の創生による、ヒト健康社会への実現」(地球共生系「One Health」)を達成すべく、両学部の教員が所属学科や研究室の垣根を越えた研究プロジェクトチームが構成された。これにより、これら 14 の学内研究プロジェクトの各成果を全学的に発展させ、もって、本学の目指す将来展望に向けて独自色や魅力を発信する取組を、全学が一丸となって進めている。

・ 昭和 63 年に設立された附置生物科学総合研究所では、研究部門及び共同利用施設部門から構成されている。研究部門では独自のプロジェクトを遂行しており、共同利用施設部門では、動物実験、化学物質毒性実験、感染症実験、組換え DNA 実験、ラジオアイソトープ実験及び共用機器施設を設けており、多様な研究体制が整備されている。近年では、実験動物の飼育環境については、動物福祉対策を考慮した、国際規格に準拠したケージヘシフトを順次進めている。

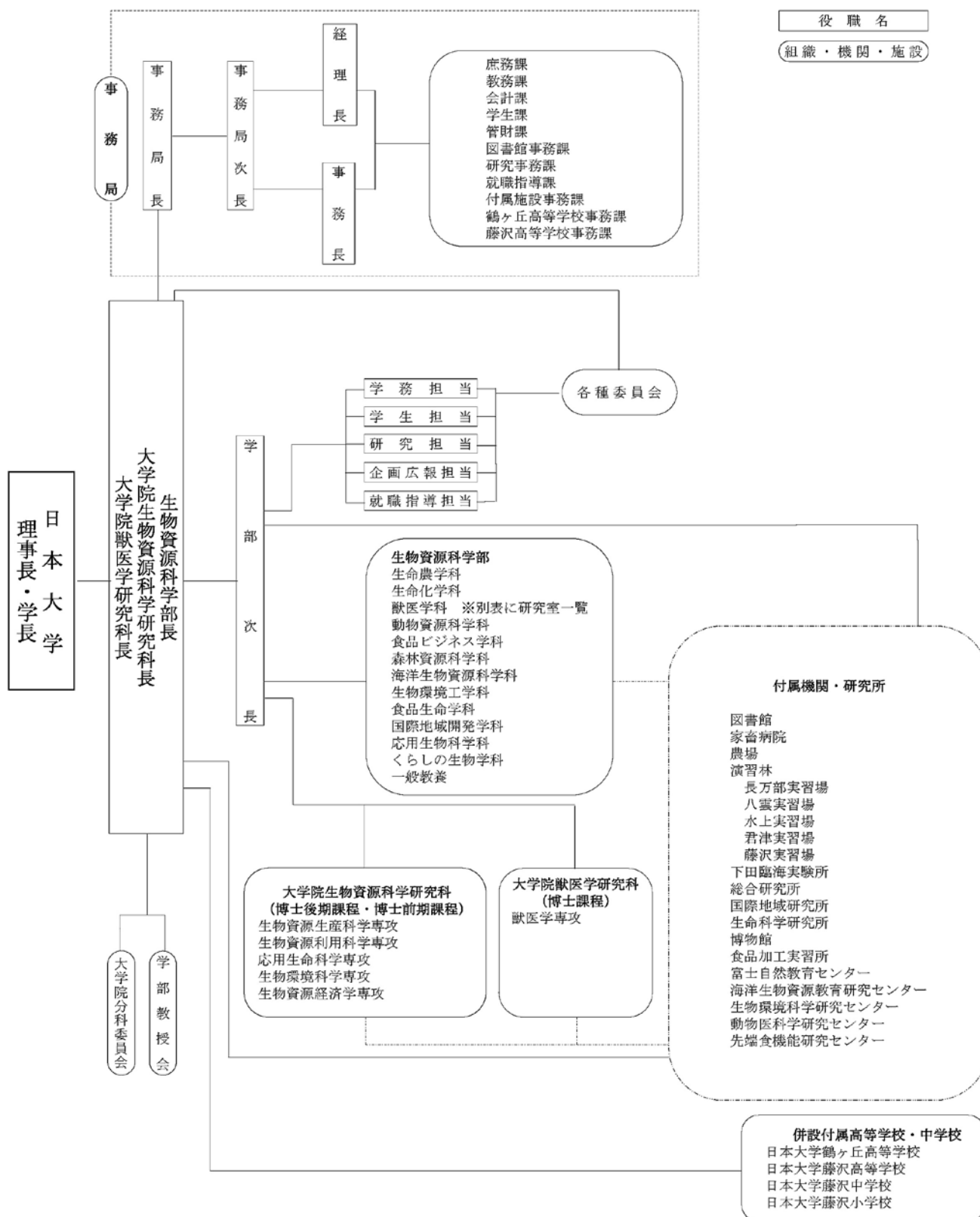
事務組織：麻布大学の現在の事務組織は、法人事務と大学事務を組織上分離せず、理事長及び学長の下で、事務局長、事務局次長及び総務部・教務部の両部長が分担所掌している。

このように、法人業務と大学業務を一元化している理由は、学校法人麻布獣医学園の設置している学校は麻布大学及び附属高等学校のみであり、また、収益事業も行っていないので法人の業務は専ら大学を経営することである。このため、法人固有の業務は最小限になっており、法人本部を設ける必要性がないためである。昭和 25 年に学校法人が誕生して以来、一元化されていた事務局が昭和 48 年からしばらくの間、法人事務局と大学事務局に分離されていたが、平成元年 4 月に再び法人及び大学の事務が一元化され今日に至っている。また、過去においては教学に関する事務部門の部長及び課長は教員が兼務するだけでなく、事務局長も教授が兼務する例があったが、平成 21 年度の事務組織の改組後からは、事務組織に教員が兼務する管理職を廃止した。

しかし、昨今の大学を取り巻く様々な課題に対応すべく、理事会の交代を機に、事務組織の活性化及び教職協働を推し進める目的に、平成 28 年 7 月から、事務局長に理事・教授が兼務することとなった。

なお、平成 29 年 4 月 1 日付けで改正施行された大学設置基準において教職協働に関する規定が追加されたが、本学では、これより先に取り組むなど、学内施策に法令が付いてくる状況にあることを申し添える。

日本大学生物資源科学部組織図



※ 獣医学科研究室一覧

獣医解剖学	獣医病理学	獣医分子病理学	獣医薬理学	獣医微生物学
獣医生理学	獣医病態生理学	獣医生化学	分子生物学	医動物学
獣医臨床繁殖学	獣医外科学	獣医臨床病理学	獣医内科学	獣医放射線学
獣医衛生学	魚病学	比較免疫学	獣医伝染病学	実験動物学
獣医公衆衛生学	獣医麻酔・呼吸器学	獣医神経病学	獣医歯科学	獣医産業動物臨床学

事務組織：本学部の事務組織は1学部、2研究科を1つの事務組織にて運営しています。更に、学部は獣医学科に加え、4年生の学科が12学科設置されており、多様な運用を1つの事務組織にて対応していることが特色といえます。

また、この多様さが組織を複雑化させているという点にもつながっております。獣医学科及び獣医学専攻については一繋がり教育組織として運営が出来ますが、生物資源科学研究科においては、学部11学科（獣医学科を除く）に対し、設置されている専攻が5専攻となっております。つまり、各専攻の中に様々な学科が混在することになります。

その為、教員・職員・学生ともに大学院における連携が非常に複雑化してしまっているのが現状です。

3. 財政

この章では、5大学の財務状況を平成18年、23年、28年の推移を比較した。学部単位となっており、獣医学科以外の学科も含まれたものと、日本大学の学科単位のものがあるが、何れも規模としてはほぼ同じ（学生定員と授業料がほぼ同数・同額）であり、人件費比率、教育研究費比率も同じようなバランスとなっており健全な運営がなされている。

【酪農学園大学】

○ 学部の収支概要（消費収支計算書）

（単位：円）

区分	平成18年度	平成23年度	平成28年度
収入			
学生生徒等納付金	1,842,128,000	1,781,111,150	2,122,207,000
補助金	249,500,812	280,661,344	244,443,433
事業収入	372,577,306	385,621,161	359,896,710
（うち受託事業収入）	(94,506,172)	(52,966,840)	(53,851,800)
（うち附属事業収入）	(251,447,975)	(277,757,562)	(238,510,167)
その他	171,822,670	181,731,579	226,768,012
帰属収入の部合計（A）	2,636,028,788	2,629,125,234	2,953,315,155
支出			
人件費	925,055,490	1,019,887,372	1,173,385,856
教育研究経費	776,408,898	773,452,170	806,982,122
（うち研究費）			
（うち実習費）			
（うち図書費）	(19,978,491)	(21,045,358)	(24,589,254)
（うち減価償却額）			
管理経費	239,772,720	178,039,238	224,901,741
（うち減価償却額）			
その他	163,307,115	181,694,065	387,597,852
消費支出の部合計（B）	2,104,544,223	2,153,072,845	2,592,867,571
帰属収支差額（A）－（B）	531,484,565	476,052,389	360,447,584

（単位：％）

人件費比率＝人件費÷帰属収入×100	35.1%	38.8%	39.7%
教育研究費比率＝教育研究費÷帰属収入×100	29.5%	29.4%	27.3%

○ 獣医学科の収支概要

（単位：円）

学費	平成18年度	平成23年度	平成28年度
初年度納入金（入学金含む）	2,445,000	1,400,000	1,400,000
6年間の学費合計	12,870,000	12,800,000	12,800,000
私学助成補助金			
研究費（獣医学科）			
特別研究費（件数、総額）			
受託研究費（件数、総額）	25件 80,784,172	30件 61,466,840	32件 53,196,800
助成研究費（件数、総額）	2件 7,500,000	4件 800,000	9件 8,600,000
科学研究費総額（件数、総額）	9件 20,560,000	15件 25,990,000	14件 23,530,000
獣医学科教育・研究費の総額			
一般研究費総額	26,785,000	27,593,000	24,253,000
教員1名当たり研究費	515,096	484,088	433,089
学生の実験実習費の総額	111,930,000	194,560,000	191,600,000
学生1名当たり実験実習費	130,000	※2011年度より実学充実費（1年次16万、2年次以降24万へ）	
研究旅費総額	10,661,558	13,585,073	9,565,657
教員1名当たり旅費	205,030	238,335	170,815
獣医学科の設備購入費総額	79,662,451	100,624,738	99,520,834
学生の実験実習設備の総額			

（単位：名）

学生及び教員数（獣医学科）	平成18年度	平成23年度	平成28年度
教員数	52	57	56
学生数	861	862	848

【北里大学】

○ 学部の収支概要（消費収支計算書）

（単位：円）

区分	平成18年度	平成23年度	平成28年度
収入			
学生生徒等納付金	2,874,307,143	3,030,032,500	2,920,117,500
補助金	442,192,314	518,294,962	388,710,226
事業収入	197,542,630	238,813,389	235,894,789
（うち受託事業収入）	79,510,896	80,403,293	39,336,139
（うち附属事業収入）	118,031,734	158,410,096	196,558,650
その他	312,023,445	341,892,221	238,987,095
帰属収入の部合計（A）	3,826,065,532	4,129,033,072	3,783,709,610
支出			
人件費	1,464,514,234	1,537,020,859	1,340,787,169
教育研究経費	868,078,047	979,004,927	953,538,483
（うち研究費）	218,990,020	209,161,810	171,950,163
（うち実習費）	87,180,428	95,068,289	94,212,154
（うち図書費）	2,378,358	1,787,728	1,615,236
（うち減価償却額）	357,714,921	431,913,200	376,611,886
管理経費	79,165,401	70,246,093	78,458,341
（うち減価償却額）	14,489,862	7,846,921	6,022,342
その他	874,408,176	952,533,839	987,737,273
消費支出の部合計（B）	3,286,165,858	3,538,805,718	3,360,521,266
帰属収支差額（A）－（B）	539,899,674	590,227,354	423,188,344
（単位：％）			
人件費比率＝人件費÷帰属収入×100	38.28%	37.22%	35.44%
教育研究費比率＝教育研究費÷帰属収入×100	22.69%	23.71%	25.20%

○ 獣医学科の収支概要

（単位：円）

学費	平成18年度	平成23年度	平成28年度
初年度納入金（入学金含む）	2,330,000	2,330,000	2,330,000
6年間の学費合計	12,480,000	12,480,000	12,980,000
私学助成補助金	248,366,995	307,459,510	223,098,336
研究費（獣医学科）			
特別研究費（件数、総額）	29件、8,756,000	7件、46,619,000	16件、20,131,000
受託研究費（件数、総額）	19件、34,275,000	22件、75,001,600	16件、36,588,000
助成研究費（件数、総額）	9件、11,900,000	8件、7,310,000	11件、7,200,000
科学研究費総額（件数、総額）	11件、18,340,000	17件、28,700,000	16件、26,900,000
獣医学科教育・研究費の総額			
一般研究費総額	48,948,859	47,921,991	51,363,891
教員1名当たり研究費	978,977	904,189	1,007,135
学生の実験実習費の総額	57,046,496	61,598,947	61,345,962
学生1名当たり実験実習費	78,468	84,498	86,769
研究旅費総額	7,559,833	8,154,407	7,213,684
教員1名当たり旅費	151,197	153,857	141,445
獣医学科の設備購入費総額	64,811,445	98,867,076	72,772,669
学生の実験実習設備の総額		上記に含む	
（単位：名）			
学生及び教員数（獣医学科）			
教員数	50	53	51
学生数	869	873	841

※5/1現在の人数

※5/1現在の人数（大学院生除く）

【日本獣医生命科学大学】

○ 学部の収支概要（消費収支計算書）

（単位：円）

区分	平成18年度	平成23年度	平成28年度
収入			
学生生徒等納付金	1,616,481,500	1,958,967,420	1,968,813,126
補助金	288,346,470	311,403,450	260,657,100
事業収入	405,886,910	452,676,652	587,758,728
（うち受託事業収入）	47,491,700	46,520,552	57,061,521
（うち附属事業収入）	357,950,210	406,018,100	530,327,207
その他	230,623,664	146,581,191	151,473,986
帰属収入の部合計（A）	2,541,338,544	2,869,628,713	2,968,702,940
支出			
人件費	1,104,040,646	1,241,512,845	1,222,899,916
教育研究経費	941,372,996	1,099,311,600	1,217,426,306
（うち研究費）	-	-	-
（うち実習費）	-	-	-
（うち図書費）	-	-	-
（うち減価償却額）	-	-	-
管理経費	84,659,396	105,197,165	105,677,283
（うち減価償却額）	-	-	-
その他	33,245,578	87,932,232	17,448,176
消費支出の部合計（B）	2,163,318,616	2,533,953,842	2,563,451,681
帰属収支差額（A）－（B）	378,019,928	335,674,871	405,251,259
（単位：％）			
人件費比率＝人件費÷帰属収入×100	43.4	43.3	41.2
教育研究費比率＝教育研究費÷帰属収入×100	37	38.3	41

○ 獣医学科の収支概要

（単位：円）

学費	平成18年度	平成23年度	平成28年度
初年度納入金（入学金含む）	2,470,000	2,470,000	2,470,000
6年間の学費合計	13,570,000	13,570,000	13,570,000
私学助成補助金			
研究費（獣医学科）			
特別研究費（件数、総額）	0	0	0
受託研究費（件数、総額）	-	(17件) 37,242,409	(10件) 24,572,589
助成研究費（件数、総額）	(19件) 13,980,000	(16件) 8,870,000	(11件) 9,827,040
科学研究費総額（件数、総額）	(19件) 41,483,000	(27件) 62,530,000	(41件) 62,401,000
獣医学科教育・研究費の総額			
一般研究費総額	-	17,548,000	17,674,000
教員1名当たり研究費	-	302,551	299,559
学生の実験実習費の総額	-	-	-
学生1名当たり実験実習費	-	-	-
研究旅費総額	-	1,999,740	2,726,400
教員1名当たり旅費	-	34,478	42,600
獣医学科の設備購入費総額	-	12,700,000	12,700,000
学生の実験実習設備の総額	-	35,225,000	36,319,000
（単位：名）			
学生及び教員数（獣医学科）			
教員数	53	58	64
学生数	592	572	569

【麻布大学】

○ 学部の収支概要（消費収支計算書）

（単位：円）

区分	平成18年度	平成23年度	平成28年度
収入			
学生生徒等納付金	2,701,692,500	2,940,721,000	2,831,468,500
補助金	312,847,552	410,387,699	272,121,616
事業収入	342,480,452	68,316,191	98,291,972
（うち受託事業収入）	22,936,000	67,716,191	98,291,972
（うち附属事業収入）	319,544,452	0	0
その他	259,924,120	234,644,920	204,810,576
帰属収入の部合計（A）	3,616,944,624	3,654,069,810	3,406,692,664
支出			
人件費	1,349,133,865	1,473,970,143	1,482,559,512
教育研究経費	1,412,284,868	887,873,419	802,015,440
（うち研究費）			
（うち実習費）			
（うち図書費）			
（うち減価償却額）			
管理経費	252,637,379	208,384,878	228,456,872
（うち減価償却額）			
その他	39,985,706	32,125,283	0
消費支出の部合計（B）	3,054,041,818	2,602,353,723	2,513,031,824
帰属収支差額（A）－（B）	562,902,806	1,051,716,087	893,660,840

（単位：％）

人件費比率＝人件費÷帰属収入×100	37.3%	40.3%	43.5%
教育研究費比率＝教育研究費÷帰属収入×100	39.0%	24.3%	23.5%

○ 獣医学科の収支概要

（単位：円）

学費	平成18年度	平成23年度	平成28年度
初年度納入金（入学金含む）	2,400,000	2,400,000	2,400,000
6年間の学費合計	13,150,000	13,150,000	13,300,000
私学助成補助金			
研究費（獣医学科）			
特別研究費（件数、総額）	47,800,000	24,700,000	8,499,000
受託研究費（件数、総額）	22,936,000	45,487,000	69,939,000
助成研究費（件数、総額）	20,895,000	12,390,000	12,290,000
科学研究費総額（件数、総額）	8,200,000	19,370,000	27,300,000
獣医学科教育・研究費の総額			
一般研究費総額	52,000,000	49,900,000	53,000,000
教員1名当たり研究費	1,000,000	1,000,000	1,000,000
学生の実験実習費の総額	22,730,000	24,824,000	24,465,600
学生1名当たり実験実習費	24,388	26,808	27,397
研究旅費総額	5,200,000	4,990,000	5,300,000
教員1名当たり旅費	100,000	100,000	100,000
獣医学科の設備購入費総額	664,308,869	136,605,715	66,119,164
学生の実験実習設備の総額	23,284,170	18,327,708	16,887,707

（単位：名）

学生及び教員数（獣医学科）	平成18年度	平成23年度	平成28年度
教員数	55	58	60
学生数	932	926	893

【日本大学】

○ 学部の収支概要（消費収支計算書）

（単位：円）

区分	平成18年度	平成23年度	平成28年度
収入			
学生生徒等納付金	9,417,392,000	9,869,498,000	10,581,537,400
補助金	738,245,063	718,102,322	718,090,020
事業収入	486,002,704	676,641,846	679,560,781
（うち受託事業収入）	104,739,494	136,614,917	119,717,678
（うち附属事業収入）	381,263,210	540,026,929	559,843,103
その他	1,426,258,173	1,056,045,149	808,863,825
帰属収入の部合計（A）	12,067,897,940	12,320,287,317	12,788,052,026
支出			
人件費	4,683,517,149	4,618,713,953	4,836,634,094
教育研究経費	5,235,666,225	5,197,350,309	5,337,629,036
（うち研究費）	498,359,078	491,614,828	489,027,358
（うち実習費）	616,465,009	657,827,563	692,980,669
（うち図書費）	50,947,991	37,742,825	30,956,411
（うち減価償却額）	2,095,434,277	1,836,191,370	1,873,938,975
管理経費	373,633,865	326,196,042	312,510,307
（うち減価償却額）	120,932,763	82,928,528	35,593,995
その他	1,825,304,080	2,184,238,421	2,649,261,770
消費支出の部合計（B）	12,118,121,319	12,326,498,725	13,136,035,207
帰属収支差額（A）－（B）	▲ 50,223,379	▲ 6,211,408	▲ 347,983,181
（単位：％）			
人件費比率＝人件費÷帰属収入×100	38.81	37.49	37.82
教育研究費比率＝教育研究費÷帰属収入×100	43.39	42.19	41.74

○ 獣医学科の収支概要

（単位：円）

学費	平成18年度	平成23年度	平成28年度
初年度納入金（入学金含む）	2,310,000	2,310,000	2,410,000
6年間の学費合計	12,560,000	12,560,000	13,160,000
私学助成補助金	0	0	0
研究費（獣医学科）	49,206,369	48,188,587	47,383,042
特別研究費（件数、総額）	0	0	0
受託研究費（件数、総額）	11件 16,999,000	7件 20,240,360	2件 2,700,000
助成研究費（件数、総額）	2件 1,120,000	1件 500,000	2件 998,244
科学研究費総額（件数、総額）	10件 36,500,000	14件 18,300,000	11件 15,500,000
獣医学科教育・研究費の総額			
一般研究費総額	49,206,369	48,188,587	47,383,042
教員1名当たり研究費	1,093,475	1,025,289	1,030,066
学生の実験実習費の総額	120,659,496	123,102,000	117,453,409
学生1名当たり実験実習費	141,453	144,148	141,170
研究旅費総額	3,380,555	4,164,347	2,725,032
教員1名当たり旅費	75,123	88,603	59,240
獣医学科の設備購入費総額	19,412,000	21,764,000	31,833,000
学生の実験実習設備の総額	14,257,000	13,323,000	25,924,000
（単位：名）			
学生及び教員数（獣医学科）	平成18年度	平成23年度	平成28年度
教員数	45	47	46
学生数	853	854	832

中・長期的教育計画に基づく財政確保のための措置状況について

- ① 学生生徒等納付金については、適正な学生数の確保に努め、収入の安定化を図る。
- ② 学生生徒等納付金以外に補助金や受託事業収入などの外部資金獲得等を積極的に実施している。
- ③ 人件費については、教員の適正配置などにより削減に努めている。
- ④ 教育研究経費・管理経費は、経常的に見直しを行い削減に努めている。

4. 教職員組織

この章では、教員構成について、各大学における獣医学科教員の定員、現員数、女性教員数、他大学出身教員数、獣医師免許取得者数、学士号取得者数について調査した。更に、教員を獣医学モデルコアカリキュラムに記載された4つの分野別の配置割合、職位毎の年齢構成、並びに教員数と支援者（TA と技術系職員）の数と学生定員、教員の活動時間と研究業績、海外での活動（留学・研修・学会）、教員の採用基準並びに昇任基準等を比較した。

1) 教員構成

教員構成として現員数、女性教員数は、過去10年間に何れも増員の方向で推移した。他大学出身教員は平均43.1～46.6%、獣医師免許取得者数は平均91.8～92.3%、博士号取得者数は併記96.4～97.0%と高水準に推移した。

2) 分野別教員割合

導入・基礎分野の教員割合は平均24.7～25.1%、病態分野は19.2～21.7%、生産分野は16.1～19.2%、臨床分野は32.5～34.8%、環境分野は1.8～2.2%となっている。各大学の特色もこの構成数に出ている。

3) 教員年齢構成

職階が高くなるにつれて年齢が高くなり、大学によってはある年齢層に偏りがある場合もある。教育・研究の遂行のためには、バランスの取れた年齢構成が望ましいとされているが、学科全体の組織としての構成と研究室内での年齢構成が共に研究教育の活性化と世代交代が円滑となるよう適切であることが望ましい。

4) 教員数と支援者数

講義・実習などへの支援者は大学によってばらつきがあるが、何れの大学も支援者数を加えるとS/T比はほぼ2以下となっている。

5) 教員の活動時間の比率

大学間で活動比率に大きな差はみられず、非臨床系教員は、学部教育、大学院教育、研究及び管理面に対する時間配分が多いのに対し、臨床系教員は臨床及び社会活動面に対する時間配分が多い傾向にある。また、職階別に見ても同様な傾向が認められるが、上位の職階ほど管理面に対する時間配分が多くなっている。

6) 教員の研究業績

教員の研究業績一覧は、教員採用基準や昇任基準とも関連しており、自己研鑽、自己点検評価の参考として利用して頂ければと思います。

7) 教員の海外での活動の調査結果

教員の1ヶ月未満の渡航は、5大学とも10年間で増加傾向に推移したが、長期派遣は減少傾向にあった。次回は支弁先など経費についても調査し、活性化の方策について分析したい。

8) 教員採用基準

日大を除き教員採用基準に公募制を採用している。任期制は北里大学と日本獣医生命科学大のみである。年齢制限は全てでない。研究業績については、全ての大学で論文数を定めている。

9) 教員の昇格基準

教員の昇格基準も採用基準とほぼ一致している。臨床系と非臨床系教員における採用基準と昇格基準の変更の背景には、臨床系教員の絶対数の不足、若手教員の育成などの諸要因があると思われるが、各大学の置かれた状況など複数の要因が関与している。

1) 教員構成

① 定員、現員、女性職員

大学名	調査 年度 (平成)	定 員						現 員						女 性 教 員					
		教授	准教授	講師	助教	助手	計	教授	准教授	講師	助教	助手	計	教授	准教授	講師	助教	助手	計
酪農学園 大学	18年						0	28	18	3		3	52	1	1				2
	23年						0	29	16	3	3		51	1	1	1			3
	28年						0	26	19	5	2	4	56		2			2	4
北里大学	18年						0	18	8	18	7		51	0	0	1	1		2
	23年						0	17	16	13	9		55	0	1	0	2		3
	28年						0	19	17	7	11		54	0	1	1	2		4
日本獣医 生命科学 大学	18年						0	18	16	7	12		53	1	2				3
	23年						0	20	13	11	14		58	3					3
	28年						0	22	15	15	12		64	2	1	3	5		11
麻布大学	18年						0	18	22	13	2		55	1	2	6	2		11
	23年						0	18	20	13	7		58	2	2	5	2		11
	28年						0	20	16	18	6		60	3	2	5	1		11
日本大学	18年						0	16	7	12	0		35	0	0	0	0		0
	23年						0	17	12	6	8		43	0	0	1	0		1
	28年						0	22	7	13	3		45	0	0	2	2		4
私立大学 計	18年	0	0	0	0	0	0	98	71	53	21	3	246	3	5	7	3	0	18
	23年	0	0	0	0	0	0	101	77	46	41	0	265	6	4	7	4	0	21
	28年	0	0	0	0	0	0	109	74	58	34	4	279	5	6	11	10	2	34

教授に特任教授2名
含む、助教に助教
(嘱託) 1名含む

注) 5月1日現在の数値

② 他大学出身教員、獣医師免許取得者、博士号取得者

大学名	調査 年度 (平成)	他大学出身教員							獣医師免許取得者							博士号取得者						
		教授	准教授	講師	助教	助手	計	%	教授	准教授	講師	助教	助手	計	%	教授	准教授	講師	助教	助手	計	%
酪農学園 大学	18年	19	7	1		2	29	55.8	25	17	3		2	47	90.4	27	16	3		3	49	94.2
	23年	17	9	3	1		30	58.8	27	15	1	3		46	90.2	28	15	3	3		49	96.1
	28年	13	11	2	1	2	29	51.8	25	15	5	2	4	51	91.1	26	18	5	2	1	52	92.9
北里大学	18年	10	5	15	4		34	66.7	17	8	18	7		50	98.0	18	8	17	6		49	96.1
	23年	8	13	9	4		34	61.8	16	16	13	9		54	98.2	17	16	12	6		51	92.7
	28年	17	10	4	6		37	68.5	18	17	7	11		53	98.1	19	16	7	8		50	92.6
日本獣医 生命科学 大学	18年	8	4	2	5		19	35.8	15	15	6	10		46	86.8	18	16	7	11		52	98.1
	23年	6	5	5	7		23	39.7	17	12	9	9		47	81.0	20	13	11	13		57	98.3
	28年	7	6	7	5		25	39.1	19	12	11	10		52	81.3	22	15	15	11		63	98.4
麻布大学	18年	2	5	5	1		13	23.6	17	20	10	2		49	89.1	18	21	12	2		53	96.4
	23年	7	3	7	2		19	32.8	16	20	11	7		54	93.1	18	20	13	6		57	98.3
	28年	10	6	7	2		25	41.7	18	16	15	6		55	91.7	20	16	18	5		59	98.3
日本大学	18年	4	2	5	0		11	31.4	16	7	12	0		35	100.0	16	7	12	0		35	100.0
	23年	6	3	3	3		15	34.9	17	12	6	8		43	100.0	17	12	6	8		43	100.0
	28年	7	3	4	0		14	31.1	22	7	13	3		45	100.0	22	7	13	3		45	100.0
私立大学 計	18年	43	23	28	10	2	106	43.1	90	67	49	19	2	227	92.3	97	68	51	19	3	238	96.7
	23年	44	33	27	17	0	121	45.7	93	75	40	36	0	244	92.1	100	76	45	36	0	257	97.0
	28年	54	36	24	14	2	130	46.6	102	67	51	32	4	256	91.8	109	72	58	29	1	269	96.4

注) 調査年の「平成18年」は12月1日現在の数値, 「平成23年」と「平成28年」は5月1日現在の数値

2) 分野別の教員割合

大学名	調査 年度 (平成)	導 入・基 礎分 野の 教員	%	病 態分 野の 教員	%	生 産分 野の 教員	%	臨 床分 野の 教員	%	環 境分 野の 教員	%	総 数
酪農学園 大学	18年	13	25.0	10	19.2	11	21.2	18	34.6			52
	23年	13	25.5	11	21.6	10	19.6	17	33.3			51
	28年	13	23.2	11	19.6	10	17.9	22	39.3			56
北里大学	18年	12	23.5	8	15.7	14	27.5	17	33.3			51
	23年	13	23.6	8	14.5	12	21.8	22	40.0			55
	28年	13	24.1	8	14.8	12	22.2	21	38.9			54
日本獣医 生命科学 大学	18年	15	28.3	13	24.5	7	13.2	18	34.0			53
	23年	17	29.3	17	29.3	6	10.3	18	31.0			58
	28年	22	34.4	13	20.3	8	12.5	21	32.8			64
麻布大学	18年	11	20.0	9	16.4	15	27.3	13	23.6	7	12.7	55
	23年	11	19.0	13	22.4	13	22.4	16	27.6	5	8.6	58
	28年	11	18.3	13	21.7	13	21.7	17	28.3	6	10.0	60
日本大学	18年	12	27.3	9	20.5	2	4.5	17	38.6	4	9.1	44
	23年	13	28.9	9	20.0	2	4.4	17	37.8	4	8.9	45
	28年	10	22.2	10	22.2	4	8.9	16	35.6	5	11.1	45
私立大学 平均	18年	12.6	24.7	9.8	19.2	9.8	19.2	16.6	32.5	2.2	4.3	51.0
	23年	13.4	25.1	11.6	21.7	8.6	16.1	18.0	33.7	1.8	3.4	53.4
	28年	13.8	24.7	11.0	19.7	9.4	16.8	19.4	34.8	2.2	3.9	55.8

注) 5月1日現在の数値

3) 教員の年齢構成

大学名	調査 年度 (平成)	教 授						准教授						講 師							
		≦45	≦50	≦55	≦60	≦65	66≦	≦35	≦40	≦45	≦50	≦55	≦60	≦65	≦35	≦40	≦45	≦50	≦55	≦60	≦65
酪農学園 大学	18年	3	7	10	3	4	1		2	8	5	3			2	1					
	23年	1	8	8	10	2		2	4	5	1	2	2		3						
	28年		4	8	5	8	1	1	4	5	4	2	2	1	2	2	1				
北里大学	18年		1	3	11	3				2	2	3	1		4	8	2	3	1		
	23年		1		6	10			1	4	4	4	2	1	3	3	6		1		
	28年	1	2	4	6	6			2	3	5	5	1	1	3	2	1	1			
日本獣医 生命科学 大学	18年		2	3	7	6			1	5	5	5				7					
	23年	1	3	5	7	4			1	6	3	2	1			4	5	2			
	28年		5	4	7	4	2		2	4	5	4			4	4	1	5	1		
麻布大学	18年	1		3	6	8				1	4	11	4	2	3	4	4	2			
	23年		1	4	7	6			1	4	1	4	6	4	1	7	2	3			
	28年		3	4	6	7			1	3	4	1	4	3	2	5	7	2	2		
日本大学	18年		2	4	2	3	5		1	2	3	1			3	7	1			1	
	23年	2		5	4	4	2		2	5	4		1			5					1
	28年		4	4	6	4	4			5	2				2	8	3				

大学名	調査 年度 (平成)	助 教							助 手								
		≦30	≦35	≦40	≦45	≦50	≦55	≦60	≦65	≦30	≦35	≦40	≦45	≦50	≦55	≦60	≦65
酪農学園 大学	18年									2	1						
	23年		2	1													
	28年	1	1								3					1	
北里大学	18年	3	2	2													
	23年		7	1	1												
	28年	2	6	2	1												
日本獣医 生命科学 大学	18年	1	5	4	2												
	23年	3	9	2													
	28年	2	3	6	1												
麻布大学	18年	1			1												
	23年		4	2	1												
	28年		4	1	1												
日本大学	18年																
	23年		6	2													
	28年		3														

大学名	調査 年度 (平成)	全 体									計
		≤30	≤35	≤40	≤45	≤50	≤55	≤60	≤65	66≤	
酪農学園 大学	18年	2	3	3	11	12	13	3	4	1	52
	23年	0	7	5	6	9	10	12	2	0	51
	28年	1	7	6	6	8	10	8	9	1	56
北里大学	18年	3	6	10	4	6	7	12	3	0	51
	23年	0	10	5	11	5	5	8	11	0	55
	28年	2	9	6	6	8	9	7	7	0	54
日本獣医 生命科学 大学	18年	1	5	12	7	7	8	7	6	0	53
	23年	3	9	7	12	8	7	8	4	0	58
	28年	2	7	12	6	15	9	7	4	2	64
麻布大学	18年	1	3	4	7	6	14	10	10	2	57
	23年	0	5	10	7	5	8	13	10	0	58
	28年	0	6	7	11	9	7	10	10	0	60
日本大学	18年	0	3	8	3	5	5	3	3	5	35
	23年	0	6	9	7	4	5	5	5	2	43
	28年	0	5	8	8	6	4	6	4	4	45

注) 5月1日現在の数値

4) 教員数と支援者数

大学名	調査 年度 (平成)	入学 定員	在籍 学生数	教員 数	支援 者数	入学 定員／ (教員＋支援者)	入学 定員／ 教員数	在籍学生 (学年平均) ／ 教員数
酪農学園 大学	18年	120	861	52	48	1.2	2.3	2.8
	23年	120	862	51	20	1.7	2.4	2.8
	28年	120	848	56	29	1.4	2.1	2.5
北里大学	18年	120	869	51	61	1.1	2.4	2.8
	23年	120	873	55	59	1.1	2.2	2.6
	28年	120	841	54	57	1.1	2.2	2.6
日本獣医 生命科学 大学	18年	80	592	53	59	0.7	1.5	1.9
	23年	80	572	58	66	0.6	1.4	1.6
	28年	80	569	64	60	0.6	1.3	1.5
麻布大学	18年	120	931	55	24	1.5	2.2	2.8
	23年	120	926	58	22	1.5	2.1	2.7
	28年	120	893	60	24	1.4	2.0	2.5
日本大学	18年	120	853	35	13	2.5	3.4	4.1
	23年	120	854	43	17	2.0	2.8	3.3
	28年	120	832	45	16	2.0	2.7	3.1

- 注) ・ 支援者は技術系職員とT A
・ 技術系職員とは、学生実習・研究室補助などを主に担当する教員以外の職員
・ 在籍学生数と教員数は5/1現在、支援者数は年度末の数値

5) 教員の活動時間の比率

6) 教員の研究業績

【酪農学園大学】

*教員の活動時間の比率は、全体を10として記載

No.	資格：a	領域：b	区分：c	*活動時間の比率（H28年度）							研究業績（件数） 過去10年間（H19～H28年度）						
				学部 教育	臨床 活動	大学 院教育	研究 活動	理大 学運営 管	社会 活動	合計	著 書	学 術 論 文	紀 要	文 その 他の 論	特 許	受 賞	補 助 金 科 学 研 究 費
1	教授	非臨床系	専門教育	4	0	0.5	3	0.5	2	10	9	43	1	8	0	1	8
2	准教授	臨床系	専門教育	5	2.5	0.5	1	0.5	0.5	10	3	61	32	1	0	0	4
3	准教授	非臨床系	専門教育	3	0	3	3	0.5	0.5	10	4	48	0	0	1	1	2
4	教授	臨床系	専門教育	3	3	1.5	1.5	0.5	0.5	10	5	32	0	4	0	2	2
5	准教授	非臨床系	専門教育	3	0	0.1	6.7	0.2	0	10	1	27	0	0	0	1	1
6	教授	非臨床系	専門教育	2.5	0	0.5	3	4	0	10	6	13	0	0	0	0	0
7	助教	非臨床系	専門教育	3	4	0	2	0.5	0.5	10	4	15	1	3	0	1	2
8	教授	非臨床系	専門教育	4	0	1	2.5	2	0.5	10	5	13	2	0	0	2	0
9	講師	臨床系	専門教育	3	4	0	1.5	0.5	1	10	11	11	0	1	0	1	1
10	教授	臨床系	専門教育	2	2	1.5	2	0.5	2	10	7	31	0	184	0	1	7
11	准教授	非臨床系	専門教育	6.5	0	0	1	2	0.5	10	45	16	0	0	0	0	0
12	准教授	臨床系	専門教育	2	5	1	0.5	0.5	1	10	24	17	0	3	0	4	1
13	教授	非臨床系	専門教育	6	0	1	1.5	1	0.5	10	7	25	0	1	0	2	5
14	助教	非臨床系	専門教育	3	0	0	4.5	2	0.5	10	0	11	0	1	0	0	0
15	准教授	非臨床系	専門教育	4.5	0	0	4.5	0.5	0.5	10	2	9	0	1	0	0	1
16	准教授	非臨床系	専門教育	5	0	1	2	1.5	0.5	10	3	11	0	4	0	0	5
17	教授	非臨床系	専門教育	3	0	0.1	3.8	3	0.1	10	1	34	2	1	1	3	3
18	教授	非臨床系	専門教育	5	0	2	1	1.5	0.5	10	3	28	2	9	1	0	10
19	教授	臨床系	専門教育	3	3	1	1	1	1	10	10	21	0	14	0	1	4
20	准教授	非臨床系	専門教育	4	0	3	1.5	1	0.5	10	5	37	1	18	0	3	3
21	教授	非臨床系	専門教育	5	1	1	2	0.5	0.5	10	23	132	32	122	0	4	3
22	教授	非臨床系	専門教育	0.5	0	0.5	0	8.5	0.5	10	10	30	0	1	0	0	1
23	教授	臨床系	専門教育	2.5	2.5	1	2	1	1	10	10	39	1	0	0	12	1
24	講師	非臨床系	専門教育	6	0	1	2	0.5	0.5	10	21	16	1	5	0	1	0
25	准教授	非臨床系	専門教育	5	0.5	1	2.5	0.5	0.5	10	7	20	2	0	0	0	3
26	教授	臨床系	専門教育	3	3	0.5	2	1	0.5	10	3	16	0	36	0	2	5
27	准教授	臨床系	専門教育	3	3	0.5	2.5	0.5	0.5	10	4	7	0	9	2	0	0
28	教授	非臨床系	専門教育	1.5	1	0.1	1	6	0.4	10	8	23	2	21	0	0	3
29	准教授	非臨床系	専門教育	5	0	0.2	3.8	0.5	0.5	10	10	45	0	2	0	0	1
30	教授	臨床系	専門教育	3	3	1	1	1.5	0.5	10	3	13	0	8	0	3	2
31	教授	非臨床系	専門教育	3	1	1.5	1	3	0.5	10	4	28	0	22	1	10	8
32	准教授	臨床系	専門教育	2	4	1	1	1	1	10	2	51	0	0	0	2	1
33	講師	臨床系	専門教育	3	5	0	1	0.5	0.5	10	2	0	0	2	0	1	2
34	教授	非臨床系	専門教育	3.5	0	1	2.5	1	2	10	6	13	0	0	0	1	1
35	教授	臨床系	専門教育	1.5	3.5	0.5	2	0.5	2	10	8	26	0	112	1	6	3
36	准教授	臨床系	専門教育	4	4	0	0.5	1	0.5	10	37	10	0	0	0	0	0
37	講師	臨床系	専門教育	2.5	4	0	2	1	0.5	10	28	26	0	9	0	0	1
38	教授	非臨床系	専門教育	1.5	0	3	3	0.5	2	10	3	22	0	2	0	1	3
39	教授	非臨床系	専門教育	3	0	3	2	1	1	10	12	42	0	26	1	2	3
40	教授	非臨床系	専門教育	3	0	1	2	2	2	10	41	67	0	7	1	2	5
41	教授	非臨床系	専門教育	4	0	0.5	4	0.5	1	10	4	12	0	10	0	0	0
42	教授	非臨床系	専門教育	4	0	0.5	3.5	1	1	10	1	31	1	2	1	1	4
43	准教授	臨床系	専門教育	3	3	0.5	1.5	1	1	10	3	37	0	67	1	1	4
44	教授	非臨床系	専門教育	3	0	2	2	1.5	1.5	10	10	59	1		1	7	5
平 均				全 体							9.43	28.82	1.84	16.65	0.27	1.80	2.68
				非臨床系							9.11	31.07	1.71	9.85	0.29	1.54	2.86
				臨床系							10.00	24.88	2.06	28.13	0.25	2.25	2.38

【北里大学】

*教員の活動時間の比率は、全体を10として記載

No.	資格：a	領域：b	区分：c	*活動時間の比率（H28年度）							研究業績（件数） 過去10年間（H19～H28年度）						
				学部教育	臨床活動	大学院教育	研究活動	理 学 大 学 運 営 管	社会活動	合計	著書	学術論文	紀要	文 の 他 の 論	特許	受賞	補助金 科学研究費
1	准教授	非臨床系	専門教育	4	0	1	3	1	1	10	1	27	0	0	2	0	3
2	助教	非臨床系	専門教育	2	0	0	7	0.5	0.5	10	0	7	0	0	0	1	0
3	教授	非臨床系	専門教育	2	0	3	1	3	1	10	4	52	0	0	4	0	8
4	准教授	非臨床系	専門教育	4.5	0.5	0	3.5	1	0.5	10	8	31	0	0	0	1	5
5	准教授	非臨床系	専門教育	3	0	1	5	1	0	10	0	23	0	0	0	0	3
6	助教	臨床系	専門教育	3	3	0	3	0.5	0.5	10	0	21	0	2	0	4	0
7	准教授	臨床系	専門教育	3	3	0	2	0	2	10	9	53	0	43	5	0	1
8	講師	臨床系	専門教育	4	3	0.5	1	1	0.5	10	3	21	0	3	0	1	0
9	教授	非臨床系	専門教育	3	0	3	2.5	1	0.5	10	1	71	15	0	0	2	8
10	教授	非臨床系	専門教育	2.5	0	1	2	4	0.5	10	8	36	0	0	0	0	5
11	教授	臨床系	専門教育	3	3	0.5	2.5	0.5	0.5	10	1	38	0	11	0	0	0
12	教授	非臨床系	専門教育	5	0	0.5	4	0	0.5	10	1	29	0	0	0	0	1
13	教授	臨床系	専門教育	3	2	2	2	0.5	0.5	10	2	56	0	8	0	1	0
14	教授	臨床系	専門教育	3	1	2	2	1	1	10	33	12	12	2	0	1	0
15	准教授	非臨床系	専門教育	3	0	2	3	1.5	0.5	10	3	17	0	0	0	0	1
16	教授	非臨床系	専門教育	4	0	1	3	1	1	10	0	27	5	1	2	0	4
17	教授	非臨床系	専門教育	4	0	1	3	1.5	0.5	10	2	10	0	8	0	0	1
18	助教	非臨床系	専門教育	4	0	2	3	0.5	0.5	10	2	11	2	0	0	0	0
19	准教授	非臨床系	専門教育	4	0	0	5	0	1	10	5	26	0	7	1	2	2
20	助教	臨床系	専門教育	3	2	0.5	3	1	0.5	10	3	27	0	3	0	0	1
21	教授	臨床系	専門教育	3	3	1	1.5	1	0.5	10	31	18	0	0	0	0	0
22	准教授	非臨床系	専門教育	4	0	2	3	0	1	10	3	48	5	5	0	3	3
23	教授	非臨床系	専門教育	5	0	1	2	1	1	10	5	17	0	2	1	0	0
24	准教授	非臨床系	専門教育	5.5	0	0	3	1	0.5	10	2	10	0	0	0	0	0
25	教授	非臨床系	専門教育	3.5	0	1	2	3	0.5	10	5	10	2	8	0	0	0
26	准教授	臨床系	専門教育	3	3	0.5	2	1	0.5	10	3	10	0	6	0	0	0
27	准教授	非臨床系	専門教育	3	0	3	3	0.5	0.5	10	0	73	0	0	0	0	3
28	准教授	非臨床系	専門教育	3.5	0	1	3	2	0.5	10	1	19	0	0	1	0	2
29	講師	臨床系	専門教育	4	2	0	3	1	0	10	0	8	7	7	0	0	0
30	准教授	非臨床系	専門教育	5	0	0	3.5	1	0.5	10	1	17	0	2	0	0	1
31	助教	非臨床系	専門教育	2	0	1	6	0	1	10	0	6	0	0	0	2	2
32	教授	臨床系	専門教育	3	2.5	0.5	3	0.5	0.5	10	22	9	0	4	0	0	0
33	教授	非臨床系	専門教育	4	0.5	1	3	0.5	1	10	6	35	0	4	0	2	5
34	准教授	非臨床系	専門教育	5	0	2	3	0	0	10	17	22	0	1	0	0	0
35	助教	非臨床系	専門教育	5	0	0	4.5	0.5	0	10	0	19	0	0	1	1	1
36	助教	非臨床系	専門教育	3	0	2	3	2	0	10	0	4	0	0	0	0	0
37	准教授	臨床系	専門教育	3	4.5	0	2	0	0.5	10	1	0	0	0	0	0	0
38	助教	非臨床系	専門教育	5	0	0	4.5	0.5	0	10	0	14	0	0	0	0	0
39	講師	非臨床系	専門教育	4	2	2	1	1	0	10	1	14	0	0	0	0	0
40	講師	非臨床系	専門教育	3.5	0	0	6	0.5	0	10	0	25	0	0	0	1	3
41	教授	非臨床系	専門教育	3	0	0.5	0.5	6	0	10	3	40	0	5	0	1	6
42	講師	臨床系	専門教育	2	5	1	1	0.5	0.5	10	20	21	20	0	0	1	1
43	講師	臨床系	専門教育	3	2	1	3	0.5	0.5	10	17	15	3	0	0	0	1
44	教授	臨床系	専門教育	3	1	1	4	0.5	0.5	10	11	10	11	176	0	1	0
45	准教授	臨床系	専門教育	2.5	2.5	1	2.5	1	0.5	10	4	22	17	0	1	1	1
46	教授	非臨床系	専門教育	3.5	0	1	2	3	0.5	10	7	40	0	1	0	0	0
47	教授	臨床系	専門教育	3	3	2	1	0.5	0.5	10	25	56	0	0	0	1	1
48	教授	非臨床系	専門教育	5	0	0	3.5	0.5	1	10	4	7	0	12	0	0	0
49	助教	臨床系	専門教育	2	4	1	2	0.5	0.5	10	5	2	0	0	0	0	0
50	助教	臨床系	専門教育	1	7	0	1	0.5	0.5	10	0	5	0	0	0	0	0
51	准教授	非臨床系	専門教育	5	0	1	3	0.5	0.5	10	0	23	0	0	0	0	6
52	准教授	非臨床系	専門教育	4.5	0	0.5	4.5	0	0.5	10	28	41	0	0	0	0	8
平 均		全 体		3.49	1.14	0.94	2.89	0.99	0.54	10	5.92	24.13	1.90	6.17	0.35	0.52	1.67
		非臨床系		3.85	0.09	1.05	3.30	1.20	0.52	10	3.58	25.79	0.88	1.70	0.36	0.48	2.45
		臨床系		2.87	2.97	0.76	2.18	0.63	0.58	10	10.00	21.26	3.68	13.95	0.32	0.58	0.32

【日本獣医生命科学大学】

*教員の活動時間の比率は、全体を10として記載

No.	資格：a	領域：b	区分：c	*活動時間の比率（H28年度）							研究業績（件数） 過去10年間（H19～H28年度）						
				学部教育	臨床活動	大学院教育	研究活動	理 学 大 学 運 営 管	社会活動	合計	著書	学術論文	紀要	文 の 他 の 論	特許	受賞	補助金 科学研究費
1	教授	非臨床系	専門教育	2	0	2	3	1	2	10	16	24	0	8	0	0	3
2	教授	非臨床系	専門教育	3	0	1	2	2	2	10	8	6	9	8	0	0	3
3	教授	非臨床系	一般教養	3.5	0	1.5	2	2	1	10	1	11	0	2	0	0	3
4	教授	臨床系	専門教育	2.5	2.5	1	1	2	1	10	7	43	0	39	0	0	0
5	教授	臨床系	専門教育	2.5	2	0.5	2	1.5	1.5	10	8	25	0	5	0	0	0
6	教授	非臨床系	専門教育	4	0	0.5	4	1	0.5	10	2	13	0	2	0	1	5
7	教授	非臨床系	専門教育	4.4	0	3.8	0.6	0.6	0.6	10	5	9	0	0	0	0	0
8	教授	非臨床系	専門教育	2	1	2	3	1.5	0.5	10	4	30	0	2	0	2	1
9	教授	臨床系	専門教育	2.5	2	2.5	1	0.5	1.5	10	5	21	0	0	0	0	0
10	教授	非臨床系	一般教養	3	0	1	2	3.5	0.5	10	2	24	1	1	1	0	2
11	教授	非臨床系	専門教育	3	0	1	1	4	1	10	4	26	0	1	0	1	2
12	教授	非臨床系	専門教育	3	0	1	3	2	1	10	4	34	0	0	0	0	0
13	教授	非臨床系	専門教育	3	0	1	2	0.5	3.5	10	20	19	0	2	0	0	7
14	教授	非臨床系	専門教育	2	1	3	2	1	1	10	4	72	4	28	1	2	3
15	教授	非臨床系	専門教育	1.5	0	2	5	0.5	1	10	1	37	1	2	1	1	4
16	教授	臨床系	専門教育	3	2.5	0.5	3	0.5	0.5	10	8	30	0	1	0	1	3
17	教授	臨床系	専門教育	2.5	3	2.5	0.5	1	0.5	10	3	35	1	2	0	1	5
18	教授	臨床系	専門教育	3	1	0.5	2	3	0.5	10	2	28	0	0	0	0	0
19	教授	臨床系	専門教育	2.5	2	0.5	2	1.5	1.5	10	3	15	0	0	0	0	0
20	教授	臨床系	専門教育	2.5	2	2.5	1	0.5	1.5	10	7	50	0	2	0	0	1
21	教授	非臨床系	専門教育	3	0	1	2	2	2	10	12	30	1	0	0	0	2
22	教授	非臨床系	専門教育	4	0	0.5	4	1	0.5	10	19	12	0	0	0	0	0
23	准教授	非臨床系	専門教育	6	0	1	2	0.5	0.5	10	7	16	0	3	0	1	0
24	准教授	非臨床系	専門教育	4	0	0.5	4	1	0.5	10	2	11	0	1	0	0	1
25	准教授	非臨床系	専門教育	6	0	0.5	2.5	0.5	0.5	10	1	20	1	1	3	0	5
26	准教授	非臨床系	専門教育	4.5	0.5	2	2	0.5	0.5	10	11	26	1	25	0	0	1
27	准教授	臨床系	専門教育	1	7	0.3	0.4	1	0.3	10	1	50	0	14	1	2	3
28	准教授	非臨床系	専門教育	5	0	1	2.5	1	0.5	10	5	15	0	0	0	0	2
29	准教授	非臨床系	専門教育	4	0	3	1	1.5	0.5	10	1	7	0	0	0	0	2
30	准教授	臨床系	専門教育	3	0	4	2	1	0	10	0	54	0	0	0	1	4
31	准教授	臨床系	専門教育	2	4	0.5	2	1	0.5	10	3	35	3	16	0	0	0
32	准教授	非臨床系	専門教育	3	0	3	2	0.5	1.5	10	4	26	0	24	0	0	0
33	准教授	臨床系	専門教育	1	2	2	3	1.5	0.5	10	19	39	1	48	0	3	2
34	准教授	臨床系	専門教育	4	0	3	2	0.5	0.5	10	8	24	0	0	0	0	3
35	准教授	非臨床系	専門教育	4	0	0	5	0.5	0.5	10	1	40	1	0	0	1	6
36	准教授	非臨床系	一般教養	3.5	0	3	3	0.5	0	10	0	9	0	0	0	0	2
37	准教授	非臨床系	専門教育	5	0	1	3	0.5	0.5	10	0	18	0	0	0	1	3
38	講師	臨床系	専門教育	2	1	0	4	1	2	10	4	18	1	0	0	0	0
39	講師	臨床系	専門教育	2	3	1	3	0.5	0.5	10	6	13	0	6	0	0	0
40	講師	非臨床系	専門教育	5	0	0	2	2.5	0.5	10	2	14	0	0	0	0	0
41	講師	非臨床系	一般教養	3	0	1	4	1.5	0.5	10	0	11	1	1	1	0	1
42	講師	臨床系	専門教育	1.5	6	0	1.5	0.5	0.5	10	4	24	2	0	0	1	1
43	講師	非臨床系	専門教育	5	0	1	3.5	0.5	0	10	0	9	0	1	2	0	1
44	講師	非臨床系	専門教育	3	0	1.5	1.5	1	3	10	3	17	1	4	0	0	0
45	講師	非臨床系	専門教育	4	0	0.5	3	1	1.5	10	1	24	0	6	0	1	2
46	講師	臨床系	専門教育	2.5	2.5	0.5	3	1	0.5	10	9	27	0	0	0	0	2
47	講師	非臨床系	専門教育	4	0	1	4	1	0	10	1	23	0	11	0	0	3
48	講師	臨床系	専門教育	2.5	3	1	3	0.5	0	10	0	27	1	0	0	0	2
49	講師	臨床系	専門教育	3	3	1	2	0.5	0.5	10	3	4	0	5	0	1	0
50	講師	非臨床系	専門教育	5	0	1	3	0.5	0.5	10	4	17	0	0	0	2	2
51	講師	非臨床系	専門教育	4	0	0	3	2	1	10	7	12	4	0	0	0	4
52	講師	非臨床系	専門教育	2	1	0	3	2.5	1.5	10	8	10	0	3	0	0	0
53	助教	非臨床系	専門教育	2	0	3	4	0.5	0.5	10	0	1	0	0	0	0	0
54	助教	臨床系	専門教育	3	1	0	4	1	1	10	0	9	0	8	0	0	1
55	助教	非臨床系	専門教育	3	0	0	6	0.5	0.5	10	1	23	2	0	0	0	6
56	助教	非臨床系	専門教育	3	1	0	5	0.5	0.5	10	0	7	0	0	0	3	3
57	助教	臨床系	専門教育	3.5	3	1	2	0	0.5	10	2	16	0	4	0	0	2
58	助教	非臨床系	専門教育	4	0	0.5	3.5	2	0	10	2	8	1	1	0	0	2
59	助教	非臨床系	一般教養	4	0	0.5	4.5	0.5	0.5	10	0	9	4	0	0	0	2
60	助教	臨床系	専門教育	2.5	2.5	0.5	3	1	0.5	10	5	7	0	0	0	0	1
61	助教	非臨床系	専門教育	4	0	0	5	0.5	0.5	10	1	4	1	0	0	0	0
62	助教	臨床系	専門教育	5	0	1	3	0.5	0.5	10	0	5	2	0	0	0	2
63	助教	非臨床系	専門教育	2.5	2	2.5	1	0.5	1.5	10	0	9	0	0	0	0	1
64	助教	非臨床系	一般教養	3	0	1	2	2	2	10	0	10	4	0	0	0	2
平 均	全 体			3.23	0.96	1.19	2.67	1.11	0.84	10	4.23	20.97	0.75	4.48	0.16	0.41	1.84
	非臨床系			3.58	0.15	1.32	2.90	1.18	0.87	10	4.00	19.09	0.86	3.19	0.21	0.40	2.16
	臨床系			2.50	2.62	0.92	2.21	0.98	0.78	10	4.71	24.81	0.52	7.14	0.05	0.43	1.19

【麻布大学】

*教員の活動時間の比率は、全体を10として記載

No.	資格：a	領域：b	区分：c	*活動時間の比率（H28年度）							研究業績（件数） 過去10年間（H19～H28年度）						
				学部 教育	臨床 活動	大学院 教育	研究 活動	理 学 大 学 運 営 管	社会 活動	合計	著 書	学 術 論 文	紀 要	文 学 そ の 他 の 論	特 許	受 賞	補 助 金 科 学 研 究 費
1	教授	非臨床系	専門教育	2	0	3	3	0.5	1.5	10	13	113	2	131	1	3	27
2	教授	臨床系	専門教育	3	2	0	3	1	1	10	28	83	0	0	1	0	3
3	教授	臨床系	専門教育	3.5	2	0.5	2	1	1	10	8	34	4	5	0	1	2
4	教授	非臨床系	専門教育	3.5	0	1	1.5	3.5	0.5	10	63	58	1	13	6	1	2
5	教授	臨床系	専門教育	5	2	0.5	0.5	1.5	0.5	10	14	22	0	0	0	0	0
6	教授	臨床系	専門教育	3	4	1	1	0.1	0.9	10	44	35	0	4	0	1	2
7	教授	非臨床系	専門教育	4	0	1.5	2.5	1.5	0.5	10	7	37	0	0	1	2	3
8	教授	非臨床系	専門教育	4	0	0	4	2	0	10	0	38	0	9	0	0	3
9	教授	非臨床系	専門教育	3	1	2	3	0.5	0.5	10	35	21	0	5	3	0	5
10	教授	非臨床系	専門教育	3.5	0	1.5	2.5	2	0.5	10	0	72	2	0	0	0	9
11	教授	非臨床系	専門教育	3	0	0.5	1.5	4.5	0.5	10	3	12	0	1	0	0	3
12	教授	非臨床系	専門教育	4	0	1.5	3.5	0.5	0.5	10	3	12	0	0	0	0	1
13	教授	臨床系	専門教育	2	3	1	3	0.5	0.5	10	3	22	0	0	0	1	1
14	教授	臨床系	専門教育	3	4	0.1	2	0.1	0.8	10	75	19	2	8	3	0	2
15	教授	非臨床系	専門教育	5	0	3	2	0	0	10	1	28	0	0	3	0	4
16	教授	非臨床系	専門教育	4	0	1.5	2	1.5	1	10	3	28	0	1	0	0	0
17	教授	非臨床系	専門教育	4	0	0	5	0.5	0.5	10	6	23	0	3	1	0	0
18	教授	非臨床系	専門教育	4	0	0	2	4	0	10	0	21	0	0	0	0	9
19	准教授	非臨床系	専門教育	3	0	1	5	0.5	0.5	10	4	48	0	4	1	6	7
20	准教授	臨床系	専門教育	3.5	2	0	2.3	0.2	2	10	20	27	0	3	6	4	9
21	准教授	非臨床系	専門教育	6	0	0.1	3	0.5	0.4	10	1	19	0	0	0	0	0
22	准教授	非臨床系	専門教育	3	0	3	2	1	1	10	1	24	0	3	2	0	0
23	准教授	非臨床系	専門教育	3	0	2	2	2	1	10	8	10	0	5	0	0	0
24	准教授	非臨床系	専門教育	4	0	1	3.7	1	0.3	10	4	20	0	0	1	0	2
25	准教授	非臨床系	専門教育	5	0	1	2.5	0.5	1	10	4	20	0	1	1	0	1
26	准教授	非臨床系	専門教育	4	0	0	2	3	1	10	5	27	0	0	0	0	2
27	准教授	非臨床系	専門教育	3	0	0	6	0.5	0.5	10	3	5	0	0	0	0	3
28	准教授	非臨床系	専門教育	3	0	1	4	1.5	0.5	10	4	15	0	0	1	0	3
29	講師	非臨床系	専門教育	4	0	0	3	2	1	10	3	46	0	0	3	7	10
30	講師	臨床系	専門教育	6.5	1	0	1.5	0.5	0.5	10	2	12	0	10	0	4	0
31	講師	臨床系	専門教育	3	1.5	1	3	0.5	1	10	21	27	0	0	0	1	2
32	講師	非臨床系	専門教育	4	0	0.5	2.5	2	1	10	10	23	0	0	1	1	1
33	講師	臨床系	専門教育	2.9	3	0.2	3	0.5	0.4	10	4	21	1	10	2	0	1
34	講師	臨床系	専門教育	3	4	0	2	0	1	10	2	40	0	40	2	2	0
35	講師	臨床系	専門教育	1	7	0	1	0.5	0.5	10	3	35	0	0	1	0	0
36	講師	非臨床系	専門教育	6	0	0	2.5	1	0.5	10	7	14	2	0	0	0	3
37	講師	非臨床系	専門教育	6	0	0	3.5	0	0.5	10	1	15	0	0	0	0	4
38	講師	非臨床系	専門教育	3.5	0	0	3.5	1	2	10	2	6	0	3	0	3	0
39	講師	臨床系	専門教育	3	3	0.5	2	1	0.5	10	21	19	0	3	0	0	0
40	講師	非臨床系	専門教育	5	0	0	3	1.5	0.5	10	1	6	0	2	0	0	2
41	助教	臨床系	専門教育	3	5	0	1	0.5	0.5	10	6	17	0	0	0	0	2
42	助教	非臨床系	専門教育	5	0	0	4	0.5	0.5	10	0	15	0	0	0	0	0
43	助教	非臨床系	専門教育	0	0	0	0	0	10	10	0	8	0	0	0	1	1
44	助教	非臨床系	専門教育	4	0	0	5	1	0	10	0	15	5	0	0	3	2
45	助教	非臨床系	専門教育	4.5	0	0	4.5	0.5	0.5	10	2	14	0	0	0	1	1
平 均		全 体		3.68	0.99	0.66	2.70	1.09	0.88	10	9.89	27.24	0.42	5.87	0.89	0.93	2.93
		非臨床系		3.87	0.03	0.81	3.04	1.32	0.93	10	6.26	26.23	0.39	5.84	0.81	0.90	3.48
		臨床系		3.24	3.11	0.34	1.95	0.56	0.79	10	17.93	29.50	0.50	5.93	1.07	1.00	1.71

【日本大学】

*教員の活動時間の比率は、全体を10として記載

No.	資格：a	領域：b	区分：c	*活動時間の比率（H28年度）							研究業績（件数） 過去10年間（H19～H28年度）						
				学部 教育	臨床 活動	大学 院教育	研究 活動	理 学 大 学 運 営 管	社 会 活 動	合 計	著 書	学 術 論 文	紀 要	文 学 そ の 他 の 論	特 許	受 賞	補 助 金 科 学 研 究 費
1	教授	臨床系	専門教育	2	4	1	1	1	1	10	8	41	59	0	0	12	3
2	教授	非臨床系	専門教育	4	0	2	2	0.5	1.5	10	30	162	0	22	2	1	0
3	教授	臨床系	専門教育	4	2	1.5	1	1	0.5	10	2	87	4	0	0	2	0
4	教授	臨床系	専門教育	3	4	0.5	1.5	0.5	0.5	10	2	36	0	0	0	0	1
5	教授	非臨床系	専門教育	3	0	2	1	3	1	10	34	97	1	3	0	2	1
6	教授	非臨床系	専門教育	6	0	0.5	1	2.3	0.2	10	10	45	0	5	1	1	9
7	教授	非臨床系	専門教育	4	1	2	2	0.5	0.5	10	5	38	0	10	0	0	0
8	教授	非臨床系	専門教育	3	0	1	3.5	2	0.5	10	5	98	29	0	0	3	0
9	教授	非臨床系	専門教育	1.5	0	3	2	2	1.5	10	8	124	0	0	1	2	10
10	教授	非臨床系	専門教育	3	0	1	3.5	1	1.5	10	15	97	0	8	0	1	1
11	教授	臨床系	専門教育	4	1	0.5	3	1	0.5	10	7	6	0	5	0	3	0
12	教授	非臨床系	専門教育	5	0	0.5	2.5	1	1	10	4	163	0	4	0	1	8
13	教授	非臨床系	専門教育	2.5	0	2	3	0.5	2	10	25	150	10	3	4	4	8
14	教授	臨床系	専門教育	2	4	0.5	0.5	2	1	10	4	61	0	0	0	0	0
15	教授	臨床系	専門教育	4	2	0.5	1.5	1.5	0.5	10	6	10	57	47	0	0	3
16	教授	非臨床系	専門教育	3	0	1	2	3	1	10	46	128	0	33	0	3	6
17	教授	非臨床系	専門教育	2	0	2	2	2	2	10	9	92	2	2	0	1	9
18	教授	臨床系	専門教育	2	2	1	2	2	1	10	22	37	0	56	0	2	0
19	教授	臨床系	専門教育	2.5	4	0.5	2	0	1	10	7	148	0	0	0	2	3
20	准教授	非臨床系	専門教育	3	0	2	3	1	1	10	4	100	0	7	0	2	3
21	准教授	臨床系	専門教育	2	6	0.5	1	0	0.5	10	35	58	17	122	1	15	3
22	准教授	臨床系	専門教育	3	2	1	2	1	1	10	15	189	0	5	0	2	5
23	准教授	非臨床系	専門教育	5	0	0.5	2	1.5	1	10	3	81	0	0	0	0	5
24	准教授	臨床系	専門教育	3	3.5	0.5	2	0.5	0.5	10	26	24	0	60	0	0	1
25	准教授	非臨床系	専門教育	3	0	1	3	2	1	10	5	61	2	34	0	1	2
26	准教授	非臨床系	専門教育	3	0	1	2.5	3	0.5	10	7	46	3	3	2	6	9
27	講師	臨床系	専門教育	3	5	0	1.5	0	0.5	10	5	14	31	5	0	1	3
28	講師	臨床系	専門教育	4	1	0.5	2.5	1.5	0.5	10	6	24	2	20	0	9	0
29	講師	非臨床系	専門教育	4	0	0	3	2	1	10	1	25	0	0	0	1	1
30	講師	非臨床系	専門教育	4	0	1	3	1.5	0.5	10	1	33	0	0	0	0	1
31	講師	臨床系	専門教育	3	3	0	3	0.5	0.5	10	7	13	0	0	0	2	0
32	講師	非臨床系	専門教育	6	0	1	1	2	0	10	2	14	1	0	0	2	1
33	講師	臨床系	専門教育	3	5	0	1	0.5	0.5	10	0	16	0	0	0	0	0
34	講師	臨床系	専門教育	2	5	0	1	2	0	10	0	21	0	1	0	0	0
35	講師	臨床系	専門教育	3	4	0	1.5	1	0.5	10	40	12	0	1	0	2	0
36	講師	臨床系	専門教育	4	4	0	1	0.5	0.5	10	4	30	50	4	0	1	0
37	講師	非臨床系	専門教育	4	0	0	3	3	0	10	2	28	7	0	1	1	0
38	講師	臨床系	専門教育	4	2.5	0	2.5	0.5	0.5	10	3	24	0	0	0	0	2
39	講師	非臨床系	専門教育	6	0	0	2.5	1	0.5	10	9	29	0	2	0	0	0
40	助教	臨床系	専門教育	5	3	0	1	0.5	0.5	10	1	7	0	3	0	3	0
41	助教	非臨床系	専門教育	5	0	1	2	1	1	10	2	13	0	1	0	1	1
42	助教	非臨床系	専門教育	5	0	1	3	1	0	10	2	34	0	5	0	0	3
43	その他	非臨床系	専門教育	7.5	0	0	2	0.5	0	10	0	3	0	0	0	0	0
平 均	全 体			3.60	1.58	0.79	2.02	1.27	0.73	10	9.98	58.58	6.40	10.95	0.28	2.07	2.37
	非臨床系			4.02	0.04	1.11	2.37	1.62	0.83	10	9.96	72.22	2.39	6.17	0.48	1.43	3.39
	臨床系			3.13	3.35	0.43	1.63	0.88	0.60	10	10.00	42.90	11.00	16.45	0.05	2.80	1.20

7) 教員の海外での活動

大学名	教員短期（人）				教員長期（人）			
	平成18年度	平成23年度	平成28年度	平均	平成18年度	平成23年度	平成28年度	平均
酪農学園大学	19	15	22	18.7	0	0	0	0.0
北里大学	10	13	16	13.0	3	0	0	1.0
日本獣医生命科学大学	—	16	13	14.5	—	0	2	1.0
麻布大学	12	15	19	15.3	3	3	1	2.3
日本大学	28	25	19	24.0	1	1	2	1.3
合計	69	84	89	80.7	7	4	5	5.3

注) 短期：学会発表や短期研修

長期：1年以上の留学

※酪農大の海外留学は1年以内(ほぼ1年だが)なので、長期には入力していない。

8) 教員の採用基準

【酪農学園大学】

※基本的に昇格基準に準じるが、重点的に強化したい部分の業績を重んじる場合もある。

基 準	教授	准教授	講師	助教
公募制	○有 ・ 無	○有 ・ 無	○有 ・ 無	○有 ・ 無
任期制	有 ・ ○無	有 ・ ○無	有 ・ ○無	有 ・ ○無
年齢制限	有 ・ ○無	有 ・ ○無	有 ・ ○無	有 ・ ○無
研究業績等	公表されているPubMed収録雑誌に掲載された英文の総論文数が30編以上あること。FA論文とCA論文との合計が10編以上あること。最近5年以内に公表された論文が5編以上でFA論文とCA論文との合計が2	公表されているPubMed収録雑誌に掲載された英文の総論文数が10編以上あること。FA論文とCA論文との合計が5編以上あること。最近5年以内に公表された論文が3編以上でFA論文とCA論文との合計が1編	筆頭著者でPubMed収録の学術雑誌に掲載された英文論文が3編以上あること。	該当する分野の担当授業ができること。 酪農学園の建学の精神の理解があること 獣医学教育に熱意があること 博士の学位を有する、または取得見込み 獣医師の免許の有無は採用分野による。
教育経験等	有ることが望ましい。教育歴を勘案する。	有ることが望ましい。教育歴を勘案する。	有ることが望ましい。教育歴を勘案する。	
臨床経験等(職業経験等を含む)	実験動物学分野の教授は実験動物医学専門医を取得していること。 獣医放射線生物学分野の教授は第一種放射線取扱主任者資格を有すること。臨床系教員にあっては充分な臨床経験を有すること。	臨床系教員にあっては相応な臨床経験を有すること。	臨床系教員にあっては相応な臨床経験を有すること。	
社会的活動等				
その他	人格円満で協調性、包容性に富む者。 基準を満たした者で人物像と賞罰を含めて総合的に判断。博士の学位を有すること。獣医師の免許の有無は採用分野による。	人格円満で協調性に富む者。 基準を満たした者で人物像と賞罰を含めて総合的に判断。博士の学位を有すること。獣医師の免許の有無は採用分野による。	基準を満たした者で人物像と賞罰を含めて総合的に判断。博士の学位を有すること。獣医師の免許の有無は採用分野による。	

【北里大学】

基 準	教授	准教授	講師	助教	臨床教授
公募制	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
任期制	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
年齢制限	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
研究業績等	原著論文（査読制度のある学術雑誌に掲載された論文とする。）20編以上、最近5年間に5編以上ある事	原著論文（査読制度のある学術雑誌に掲載された論文とする。）10編以上、最近5年間に3編以上ある事	原著論文（査読制度のある学術雑誌に掲載された論文とする。）5編以上、最近5年間に3編以上ある事	原著論文（査読制度のある学術雑誌に掲載された論文とする。）1編以上（学位論文を除く）	①学術論文、著書、特別講演など専門分野において優れた研究実績のあること ②その他、研究上の優れた実績と認められるもの
教育経験等	優れた教育実績 ※個々の案件について吟味精査することとし、基準としては明文化していない。	優れた教育実績 ※個々の案件について吟味精査することとし、基準としては明文化していない。	優れた教育実績 ※個々の案件について吟味精査することとし、基準としては明文化していない。	優れた教育実績 ※個々の案件について吟味精査することとし、基準としては明文化していない。	①大学から受け入れた実習生に対する教育指導の経験 ②その他、教育上の優れた実績と認められるもの
臨床経験等（職業経験等を含む）	特になし	特になし	特になし	特になし	①15年以上の臨床経験を有すること ②専門領域において十分な症例数を有すること ③その他、職務上の優れた実績と認められるもの
社会的活動等	特になし	特になし	特になし	特になし	①学会・研究科いなどにおいて役職を経験したことがあることが望ましい。
その他	博士の学位を有すること	博士の学位を有すること	博士の学位を有すること	修士の学位又は専門職学位を有すること	博士の学位を有すること

【日本獣医生命科学大学】

基 準	教授	准教授	講師	助教
公募制	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
任期制	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
年齢制限	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
研究業績等	公開レフェリー制度のある学術雑誌に掲載された英文論文40編以上。そのうち、10編以上は筆頭著者としての学術論文またはそれに相当するものとする。なお、一般的評価の高い雑誌の掲載論文については30編以上かつそれらのインパクトファクターが30以上であれば、40編の論文に相当すると判断する。この際、筆頭著者については、インパクトファクターをそのまま計算するが、その他の著書では、インパクトファクターが2を超える雑誌については、すべて2として計算する。	公開レフェリー制度のある学術雑誌に掲載された英文論文20編以上。そのうち、5編以上は筆頭著者としての学術論文とする。なお、論文が15編以上で、かつそれらのインパクトファクターが15以上であれば、論文20編に相当すると判断する。	公開レフェリー制度のある学術雑誌に掲載された英文論文10編以上。そのうち、3編以上は筆頭著者としての学術論文とする。なお、論文が8編以上で、かつそれらのインパクトファクターが8以上であれば、論文10編に相当すると判断する。	-
教育経験等	博士の学位	博士の学位	博士の学位	博士の学位
臨床経験等(職業経験等を含む)	臨床系は、獣医師免許を有し臨床経験を有する者	臨床系は、獣医師免許を有し臨床経験を有する者	臨床系は、獣医師免許を有し臨床経験を有する者	臨床系は、獣医師免許を有し臨床経験を有する者
社会的活動等	-	-	-	-
その他	-	-	-	-

【麻布大学】

基 準	教授	准教授	講師	助教
公募制	○有 ・ 無	○有 ・ 無	○有 ・ 無	○有 ・ 無
任期制	有 ・ ○無	有 ・ ○無	有 ・ ○無	有 ・ ○無
年齢制限	有 ・ ○無	有 ・ ○無	有 ・ ○無	有 ・ ○無
研究業績等	審査制度を設け厳正な学会誌等に発表した論文20編以上 (最近10年で筆頭5編以上を含む)	審査制度を設け厳正な学会誌等に発表した論文10編以上 (筆頭5編以上を含む)	審査制度を設け厳正な学会誌等に発表した論文5編以上 (筆頭2編以上を含む)	審査制度を設け厳正な学会誌等に発表した論文3編以上 (筆頭1編以上を含む) 臨床系においては、ファーストオーサーの論文1編以上の業績を有する者で、臨床経験があるもの
教育経験等	考慮し評価する	考慮し評価する	考慮し評価する	考慮し評価する
臨床経験等(職業経験等を含む)				
社会的活動等	考慮し評価する	考慮し評価する	考慮し評価する	考慮し評価する
その他				

【日本大学】

基 準	教授	准教授	講師	助教
公募制	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
任期制	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
年齢制限	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
研究業績等	(非臨床系) 総論文数30 筆頭論文数15、又は 筆頭論文IF10 (臨床系) 総論文数20	(非臨床系) 総論文数20 筆頭論文数10、又は 筆頭論文IF 7 (臨床系) 総論文数10	(非臨床系) 総論文数10 筆頭論文数 5、又は 筆頭論文IF 3 (臨床系) 総論文数7	(非臨床系) 総論文数 5 筆頭論文数 2、又は 筆頭論文IF 1 (臨床系) 総論文数5
教育経験等				
臨床経験等(職業経験等を含む)	臨床系教員の場合、 臨床経験等も加味する。	臨床系教員の場合、 臨床経験等も加味する。	臨床系教員の場合、 臨床経験等も加味する。	臨床系教員の場合、 臨床経験等も加味する。
社会的活動等				
その他	CAは筆頭著者と同等	CAは筆頭著者と同等	CAは筆頭著者と同等	CAは筆頭著者と同等

9) 教員の昇格基準

【酪農学園大学】

基準	教授	准教授	講師
研究業績等	(非臨床系) ●最近10年間に研究代表者として公募による外部研究費を4件(2年以上にわたるものは1年1件と換算)以上取得していること。 ●公表されているPubMed収録雑誌に掲載された英文の総論文数が30編以上あること。FA論文とCA論文との合計が10編以上あること。最近5年以内に公表されたFA論文とCA論文との合計が5編以上あること。 (臨床系) ●最近5年間の担当症例数ならびに手術件数が、生産動物医療担当者では年間平均100症例(個体頭数、1頭につき主治医は2名)、伴侶動物医療担当者では年間平均500症例(のべ頭数)程度あること。提出の際には症例数を証拠付ける書類を添付すること。 ●臨床獣医師としての資格・特殊技術、または専門領域を有すること(認定医等の証明書があるものはコピーを提出、専門領域は公表論文から判断される)。 ●最近10年間に研究代表者として公募による外部研究費を4件(2年以上にわたるものは1年1件と換算)以上取得していること。 ●公表されている総論文数が30編以上あること。FA論文とCA論文との合計が10編以上あること。最近5年以内に公表されたFA論文とCA論文との合計が5編以上(うち3編以上が英文論文)であること。対象となる論文はPubMed収録雑誌および日本学術会議登録学会誌に掲載された英文、和文のものとする。 (社会科学系) ●公表されている博士学位論文、著書(専門書と学術誌に限る)、査読付論文数および学術図書の書評と翻訳の総数が20編以上で、最近5年以内に5編以上発表していること。なお、著書のうち単著1編は査読付論文3編に相当するものとみなす。共著は、本人担当に応じて換算することとする。	(非臨床系) PubMed収録の学術論文に掲載された英文論文10編以上(筆頭著者5編以上)で、最近5年間に発表された学術論文が3編以上(筆頭著者2編以上)あること。通信著者は筆頭著者と同等に扱う。 あるいは筆頭著者としてPubMed収録の学術雑誌に掲載された英文論文の直近(申請時)のインパクトファクターの合計が15以上あること。この場合は講師歴は問わない。 (臨床系) PubMed収録の学術論文に掲載された英文論文および日本学術会議登録学会誌に掲載された筆頭著者の英文論文と和文論文の合計が10編以上(PubMed収録の学術雑誌に掲載された筆頭著者の英文論文5編以上)で、最近5年間に発表された学術論文が3編以上(PubMed収録の学術雑誌に掲載された筆頭著者の英文論文が2編以上)あること。通信著者は筆頭著者と同等に扱う。 あるいは筆頭著者としてPubMed収録の学術雑誌に掲載された英文論文の直近(申請時)のインパクトファクターの合計が12以上あること。この場合は講師歴は問わない。 (社会科学系) 公表されている博士学位論文、著書(専門書と学術誌に限る)、査読付論文数および学術図書の書評と翻訳の総数が10編以上で、最近5年以内に3編以上発表していること。なお、著書のうち単著1編は査読付論文3編に相当するものとみなす。共著は、本人担当に応じて換算することとする。	筆頭著者でPubMed収録の学術雑誌に掲載された英文論文が3編以上あること。
教育経験等	准教授歴72か月以上 博士号取得者 獣医学教育の専門性を有し、教育カリキュラム遂行上必要とされる者 学会賞、担当講義・実習、卒論指導学生数、国際学会発表・座長回数、著作数、学内役員、特許、等を参考項目とする。	講師歴60か月以上 博士号あるいは専門医(欧米)を取得していること。欧米以外の専門医については都度審査する。 (社会科学系) 講師歴60か月以上または年齢35歳以上 博士の学位を有する者又は研究上の業績が博士の学位を有する者に準ずると人事委員会が認めた者。	助教歴 ・博士の学位取得者: 24か月以上 ・修士の学位取得者: 60か月以上 ・学士(獣医学)の学位取得者: 72か月以上 ・学士の学位取得者: 96か月以上
臨床経験等(職業経験等を含む)	実験動物学分野の教授は実験動物医学専門医を取得していること。 獣医放射線生物学分野の教授は第一種放射線取扱主任者資格を有すること。		
社会的活動等			
その他	人格円満で協調性、包容力に富む者。 基準を満たした者で人物像と賞罰を含めて総合的に判断。	基準を満たした者で人物像と賞罰を含めて総合的に判断。	基準を満たした者で人物像と賞罰を含めて総合的に判断。

【北里大学】

基 準	教授	准教授	講師
研究業績等	原著論文（査読制度のある学術雑誌に掲載された論文とする。）20編以上、最近5年間に5編以上ある事。	原著論文（査読制度のある学術雑誌に掲載された論文とする。）10編以上、最近5年間に3編以上ある事。	原著論文（査読制度のある学術雑誌に掲載された論文とする。）5編以上、最近5年間に3編以上ある事。
教育経験等	優れた教育実績 ※個々の案件について吟味精査することとし、基準としては明文化していない。	優れた教育実績 ※個々の案件について吟味精査することとし、基準としては明文化していない。	優れた教育実績 ※個々の案件について吟味精査することとし、基準としては明文化していない。
臨床経験等 （職業経験等を含む）	特になし	特になし	特になし
社会的活動等	特になし	特になし	特になし
その他	博士の学位を有すること	博士の学位を有すること	博士の学位を有すること

【日本獣医生命科学大学】

基 準	教授	准教授	講師
研究業績等	公開レフェリー制度のある学術雑誌に掲載された英文論文40編以上。そのうち、10編以上は筆頭著者としての学術論文またはそれに相当するものとする。なお、一般的評価の高い雑誌の掲載論文については30編以上かつそれらのインパクトファクターが30以上であれば、40編の論文に相当すると判断する。この際、筆頭著者については、インパクトファクターをそのまま計算するが、その他の著書では、インパクトファクターが2を超える雑誌については、すべて2として計算する。	公開レフェリー制度のある学術雑誌に掲載された英文論文20編以上。そのうち、5編以上は筆頭著者としての学術論文とする。なお、論文が15編以上で、かつそれらのインパクトファクターが15以上であれば、論文20編に相当すると判断する。	公開レフェリー制度のある学術雑誌に掲載された英文論文10編以上。そのうち、3編以上は筆頭著者としての学術論文とする。なお、論文が8編以上で、かつそれらのインパクトファクターが8以上であれば、論文10編に相当すると判断する。
教育経験等	博士の学位	博士の学位	博士の学位
臨床経験等 (職業経験等を含む)	-	-	-
社会的活動等	-	-	-
その他	准教授職歴（教育歴）7年以上 （年齢等も加味する）	講師職歴（教育歴）5年以上 （年齢等も加味する）	助教職歴（教育歴）3年以上 （年齢等も加味する）

【麻布大学】

基 準	教授	准教授	講師
研究業績等	審査制度を設け厳正な学会誌等に発表した論文20編以上 (最近10年で筆頭5編以上を含む)	審査制度を設け厳正な学会誌等に発表した論文10編以上 (筆頭5編以上を含む)	審査制度を設け厳正な学会誌等に発表した論文5編以上 (筆頭2編以上を含む)
教育経験等	考慮し評価する	考慮し評価する	考慮し評価する
臨床経験等 (職業経験等を含む)			
社会的活動等	考慮し評価する	考慮し評価する	考慮し評価する
その他	学内における活動等を評価する	学内における活動等を評価する	学内における活動等を評価する

【日本大学】

基 準	教授	准教授	講師
研究業績等	総論文数 30 筆頭論文数 15、又は筆頭論文IF 10	総論文数 20 筆頭論文数 10、又は筆頭論文IF 7	総論文数 10 筆頭論文数 5、又は筆頭論文IF 3
教育経験等			
臨床経験等 (職業経験等を含む)	臨床系教員の場合、臨床経験等も加味する。	臨床系教員の場合、臨床経験等も加味する。	臨床系教員の場合、臨床経験等も加味する。
社会的活動等			
その他	昇格について考慮すべき点としては、①人格、②教育研究指導上の能力、③教育業績、④研究業績、⑤学界や社会における活動実績などであり、これを加味し総合的に判断する。		

5. 志願者・合格者・入学者・学納金・入試科目

この章では、獣医学科における平成19年度、24年度、29年度の入試別入学志願者・合格者・入学者数の一覧、都道府県別志願者・合格者・手続き者の一覧、学納金一覧とした。また、大学院博士課程における平成19年度、24年度、29年度の入学志願者・合格者・入学者数の一覧、大学院学納金一覧とした。さらに、入試科目についても一覧とした。

1) 平成19・24・29年度 入試別入学志願者・合格者・入学者調査表（学部）

大学	区分	種 別	募集人員	志願者			合格者			入学者		
				19年度	24年度	29年度	19年度	24年度	29年度	19年度	24年度	29年度
酪農学園大学	推薦等	一般推薦(学内特別選抜含む)	16	178	88	72	26	15	14	26	15	14
		指定校推薦	10	3	7	13	3	7	13	3	7	13
		帰国生特別選抜	若干名	/	0	0	/	0	0	/	0	0
		社会人特別選抜	若干名	/	6	1	/	1	0	/	1	0
		外国人特別選抜	若干名	/	0	0	/	0	0	/	0	0
		小計	26	181	101	86	29	23	27	29	23	27
	試験	第1期学力	60	1,427	1,179	1,145	175	189	223	61	70	99
		第2期学力	18	549	473	385	35	38	13	30	31	9
		小計	78	1,976	1,652	1,530	210	227	236	91	101	108
	センター入試		16	419	472	314	114	135	82	18	13	2
	合計		120	2,576	2,225	1,930	353	385	345	138	137	137
北里大学	推薦等	公募制	15→0	127	57	/	20	13	/	20	13	/
		公募制(A方式)	10	/	/	60	/	/	13	/	/	13
		公募制(B方式)	10	/	/	71	/	/	18	/	/	18
		帰国生徒特別選抜	若干名	1	0	2	0	0	2	0	0	1
		地域枠特別選抜	若干名	/	/	1	/	/	1	/	/	1
		学士入学	若干名	37	30	11	7	4	2	7	4	1
		小計	15	165	87	145	27	17	36	27	17	34
	試験	一般(前期)	60	2,077	1,535	1,433	247	265	200	88	86	44
		一般(後期)	10	/	/	460	/	/	37	/	/	29
		小計	70	2,077	1,535	1,893	247	265	237	88	86	73
	センター入試(3教科)		20	/	947	779	/	252	150	/	45	17
	センター入試(5教科)		10	/	/	307	/	/	78	/	/	5
	小計		30	890	947	1,086	203	252	228	36	45	22
	合計		120	3,132	2,569	3,124	477	534	501	151	148	129

大学	区分	種 別	募集人員	志願者			合格者			入学者		
				19年度	24年度	29年度	19年度	24年度	29年度	19年度	24年度	29年度
日本獣医生命科学大学	推薦	一般公募推薦	定員80名の約30%	154	99	81	21	24	23	21	24	23
		特別選抜(社会人)	若干名	19	6	2	0	1	0	0	1	0
		特別選抜(帰国子女／IB取得者)	若干名	7	1	3	2	1	1	0	1	0
		特別選抜(獣医師後継者育成／地域獣医療支援)	若干名	15	18	8	5	4	3	5	4	3
		特別選抜(学士)	若干名	63	38	12	1	2	1	1	0	1
		小計	24	258	162	106	29	32	28	27	30	27
	試験	一般(第1回)	定員80名の約50%	1,783	927	1,023	103	101	137	45	41	61
		一般(第2回)	定員80名の約10%	641	463	413	28	19	3	24	16	3
		小計	48	2,424	1,390	1,436	131	120	140	69	57	64
	センター試験利用		8		630	579		47	39		9	8
	合計		80	2,682	2,182	2,121	160	199	207	96	96	99
麻布大学	推薦	推薦入学試験(附属／卒業生後継者含む)	25	171	115	108	35	32	37	35	32	37
		地域奨学生入学試験※		1	0		0	0		0	0	
		地域産産業動物獣医師育成特別入学試験				1			1			1
		帰国子女特別入学試験	若干名	3	0	2	1	0	1	0	0	0
		海外留学経験者特別試験※		0	0		0	0		0	0	
		外国人特別入学試験		0	0	1	0	0	1	0	0	0
		社会人特別入学試験		9	4	2	0	0	0	0	0	0
		AO入学試験	8	199	140	80	11	10	5	11	10	5
		小計	33	383	259	194	47	42	45	46	42	43
	試験	一般入学試験	75	2,077	1,558	1,462	144	171	202	95	91	89
		小計	75	2,077	1,558	1,462	144	171	202	95	91	89
	センター入試		12	413	299	527	56	75	106	6	13	6
	合計		120	2,873	2,116	2,183	247	288	353	147	146	138
日本大学	推薦	公募制推薦	学部全体100	70	42	38	17	15	28	16	15	28
		公募制生物資源科学部関連産業後継者	学部全体26	35	19	9	13	9	5	11	9	5
		公募制校友子女推薦	学部全体28	6	10	11	3	8	3	3	8	3
		付属推薦	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33
		公務員等地域獣医師後継者	若干名			0			0			0
		小計	188	144	104	91	66	65	69	63	65	69
	試験	一般入試A方式(本校試験)第1期	35	1,647	1,189	1,061	115	100	111	52	28	38
		一般入試A方式(本校試験)第2期	15	905	651	567	43	47	30	31	34	18
		小計	50	2,552	1,840	1,628	158	147	141	83	62	56
	センター入試		10		589	498		32	24		2	1
	合計		120	2,696	2,533	2,217	224	244	234	146	129	126
	総合計		560	13,959	11,625	11,575	1,461	1,650	1,640	678	656	629

2) 平成19・24・29年度 都道府県別志願者・合格者・手続者

【私立獣医科大学協会（5大学）】

都道府県	平成19年度						平成24年度						平成29年度					
	志願者	(女子)	合格者	(女子)	手続者	(女子)	志願者	(女子)	合格者	(女子)	手続者	(女子)	志願者	(女子)	合格者	(女子)	手続者	(女子)
北海道	408	(151)	60	(12)	26	(10)	411	(146)	93	(36)	45	(17)	357	(135)	96	(51)	42	(21)
青森県	100	(48)	20	(6)	5	(2)	68	(39)	13	(5)	6	(2)	74	(33)	7	(5)	5	(3)
岩手県	87	(35)	10	(14)	6	(4)	60	(27)	7	(2)	1	()	80	(38)	9	(2)	4	(2)
宮城県	245	(113)	34	(10)	14	(7)	173	(67)	13	(6)	7	(3)	143	(66)	18	(7)	7	(3)
秋田県	34	(18)	2	()	2	()	38	(20)	3	(2)	2	(2)	49	(11)	3	()	1	()
山形県	47	(20)	6	(6)	3	(3)	59	(35)	14	(11)	6	(5)	56	(35)	6	(2)	3	(1)
福島県	136	(68)	29	(15)	15	(9)	123	(65)	12	(7)	5	(4)	80	(43)	6	(2)	4	(1)
茨城県	326	(159)	49	(28)	24	(13)	254	(147)	44	(30)	10	(5)	280	(145)	38	(28)	13	(8)
栃木県	164	(62)	18	(7)	13	(6)	173	(67)	17	(8)	9	(7)	182	(102)	29	(15)	17	(10)
群馬県	243	(107)	28	(11)	14	(6)	185	(67)	36	(8)	11	(5)	157	(87)	40	(27)	12	(8)
埼玉県	835	(414)	91	(59)	38	(23)	884	(450)	107	(49)	41	(23)	727	(413)	80	(31)	37	(18)
千葉県	660	(277)	54	(26)	26	(11)	616	(339)	104	(68)	47	(28)	591	(328)	82	(50)	27	(17)
東京都	2942	(1561)	341	(190)	155	(89)	2745	(1564)	364	(228)	135	(83)	2904	(1659)	382	(220)	170	(99)
神奈川県	1510	(792)	199	(108)	81	(46)	1369	(738)	189	(99)	81	(46)	1388	(756)	182	(103)	83	(51)
新潟県	139	(83)	19	(9)	4	(1)	116	(41)	19	(6)	7	(2)	89	(38)	18	(4)	3	(1)
富山県	48	(14)	3	()	1	()	41	(23)	1	(1)	1	(1)	38	(21)	7	(5)	7	(5)
石川県	40	(15)	15	(7)	4	(2)	23	(4)	9	()	1	()	37	(32)	5	(5)	2	(2)
福井県	55	(24)	3	(1)	1	()	49	(35)	7	(6)	2	(2)	35	(14)	6	(5)	4	(3)
山梨県	109	(39)	15	(9)	9	(6)	118	(74)	10	(6)	1	(1)	110	(30)	8	(4)	4	(1)
長野県	214	(71)	20	(8)	9	(4)	232	(116)	29	(19)	13	(8)	147	(62)	16	(6)	10	(3)
岐阜県	117	(74)	13	(5)	5	(2)	82	(30)	23	(12)	8	(6)	135	(42)	18	(9)	7	(3)
静岡県	358	(171)	47	(19)	20	(9)	327	(132)	40	(22)	20	(11)	249	(105)	30	(16)	10	(6)
愛知県	657	(285)	85	(24)	30	(12)	616	(242)	103	(50)	35	(15)	575	(244)	99	(43)	44	(23)
三重県	180	(81)	14	(5)	9	(4)	127	(52)	17	(12)	10	(7)	103	(39)	11	(4)	6	(3)
滋賀県	68	(34)	11	(4)	6	(2)	66	(44)	4	(4)	2	(2)	51	(22)	11	(1)	1	()
京都府	249	(172)	25	(12)	14	(9)	201	(102)	48	(23)	16	(7)	300	(120)	42	(20)	18	(9)
大阪府	703	(330)	124	(51)	42	(15)	667	(282)	142	(63)	52	(24)	521	(229)	85	(37)	38	(20)
兵庫県	418	(214)	73	(34)	32	(13)	322	(159)	48	(26)	23	(13)	419	(203)	56	(31)	17	(9)
奈良県	142	(47)	21	(2)	5	(1)	129	(42)	25	(4)	7	(1)	85	(35)	12	(7)	9	(6)
和歌山県	64	(29)	8	(1)	7	(1)	55	(30)	14	(6)	5	(3)	54	(21)	7	(5)	3	(1)
鳥取県	23	(12)	9	(6)	1	()	28	(20)	7	(6)	3	(3)	22	(11)	7	(7)	2	(1)
島根県	22	(11)	3	(1)	2	()	21	(12)	2	(1)	2	(1)	13	()	4	()	1	()
岡山県	145	(55)	22	(12)	11	(6)	107	(54)	20	(18)	8	(7)	92	(49)	8	(5)	1	(1)
広島県	192	(90)	32	(19)	10	(6)	201	(90)	29	(10)	9	(3)	152	(76)	17	(10)	7	(4)
山口県	112	(43)	20	(7)	6	(3)	85	(54)	7	(6)	5	(4)	72	(22)	8	(1)	2	()
徳島県	62	(34)	9	(2)	4	(2)	37	(15)	10	(2)	1	()	21	(3)	10	(2)	3	(1)
香川県	96	(47)	11	(7)	7	(5)	71	(39)	21	(13)	4	(3)	36	(20)	7	(5)	3	(2)
愛媛県	113	(69)	8	(3)	3	()	81	(45)	14	(6)	5	(3)	35	(13)	5	(2)	2	()
高知県	88	(24)	9	(2)	4	(2)	44	(31)	6	(5)	3	(3)	52	(28)	15	(12)	7	(6)
福岡県	300	(174)	37	(17)	13	(5)	272	(148)	43	(16)	13	(4)	305	(137)	42	(14)	18	(6)
佐賀県	72	(39)	21	(10)	7	(3)	46	(22)	13	(5)	6	(1)	79	(35)	16	(1)	1	()
長崎県	83	(25)	12	(3)	6	(2)	45	(6)	9	(2)	5	(1)	35	(11)	9	(3)	3	(2)
熊本県	148	(81)	10	(4)	5	(2)	97	(51)	19	(11)	10	(5)	77	(28)	6	(4)	3	(1)
大分県	78	(36)	20	(7)	8	(3)	72	(30)	15	(10)	5	(2)	41	(17)	7	(3)	5	(3)
宮崎県	89	(26)	8	(1)	4	()	80	(39)	17	(7)	9	(4)	108	(33)	19	(6)	5	(3)
鹿児島県	162	(33)	22	(5)	10	(2)	177	(35)	24	(1)	7	(1)	160	(66)	23	(7)	12	(7)
沖縄県	118	(43)	9	(1)	3	(1)	142	(62)	14	(5)	8	(3)	101	(58)	11	(8)	7	(5)
その他	258	(117)	37	(14)	17	(7)	148	(57)	21	(7)	10	(5)	159	(77)	18	(11)	10	(5)
計(女子)	13459	(6467)	1736	(804)	741	(359)	12083	(5989)	1846	(950)	722	(386)	11576	(5792)	1641	(846)	700	(384)

【酪農学園大学】

都道府県	平成19年度						平成24年度						平成29年度					
	志願者	(女子)	合格者	(女子)	手続者	(女子)	志願者	(女子)	合格者	(女子)	手続者	(女子)	志願者	(女子)	合格者	(女子)	手続者	(女子)
北海道	222	(74)	36	(7)	17	(6)	236	(87)	60	(24)	34	(10)	186	(75)	62	(36)	32	(19)
青森県	19	(11)	3	(1)		()	13	(9)	1	(1)		()	18	(8)	4	(2)	3	(1)
岩手県	21	(12)	4	(2)	3	(1)	12	(4)	3	()	1	()	19	(10)	2	()		()
宮城県	50	(20)	5	(1)	2	(1)	48	(19)	3	(2)	1	(1)	33	(15)	6	(2)	3	(2)
秋田県	16	(5)	1	()	1	()	10	(5)	1	()		()	13	(7)	1	()		()
山形県	10	(4)	1	(1)	1	(1)	10	(5)	3	(3)	1	(1)	13	(9)	1	()		()
福島県	30	(7)	3	(1)	2	(1)	34	(22)	4	(3)	2	(1)	9	(6)		()		()
茨城県	51	(26)	8	(2)	3	(2)	39	(19)	2	()		()	45	(19)	7	(4)	2	()
栃木県	39	(14)	1	()	1	()	30	(11)	2	(1)		()	29	(11)	6	(2)	3	(2)
群馬県	37	(19)	10	(4)	3	(1)	46	(19)	10	(3)	4	(1)	24	(13)	5	(4)	3	(2)
埼玉県	118	(41)	12	(4)	5	(4)	130	(48)	16	(7)	3	(2)	111	(65)	18	(11)	9	(8)
千葉県	123	(48)	14	(6)	5	(2)	92	(46)	19	(10)	6	(3)	75	(40)	12	(8)	2	(2)
東京都	361	(199)	45	(25)	18	(9)	288	(136)	47	(32)	12	(8)	325	(180)	47	(25)	16	(5)
神奈川県	179	(63)	13	(3)	3	(1)	154	(69)	25	(10)	6	(3)	144	(73)	21	(6)	4	(1)
新潟県	30	(13)	5	(4)		()	34	(14)	6	()	3	()	16	(9)	4	(1)	1	(1)
富山県	11	(3)		()		()	14	(7)		()		()	2	(1)		()		()
石川県	10	(3)	5	(3)	2	(1)	7	(1)	2	()		()	8	(7)	2	(2)		()
福井県	16	(5)	3	(1)	1	()	13	(9)		()		()	9	(1)	2	(1)	1	()
山梨県	15	(4)		()		()	11	(3)		()		()	16	(4)	2	(1)	1	()
長野県	33	(15)	5	(1)	2	()	35	(22)	8	(8)	3	(3)	25	(12)	3	()	1	()
岐阜県	29	(19)	3	()		()	28	(11)	9	(5)	2	(1)	22	(5)	5	(2)	4	(2)
静岡県	65	(17)	14	(4)	7	(3)	53	(21)	7	(2)	3	(2)	42	(18)	5	(2)	1	()
愛知県	146	(63)	15	(3)	1	()	132	(45)	25	(10)	6	(2)	100	(41)	24	(10)	10	(5)
三重県	26	(12)	3	(1)	1	(1)	34	(14)	3	(3)	3	(3)	13	(4)		()		()
滋賀県	28	(13)	8	(2)	3	()	17	(14)	1	(1)		()	11	(5)	4	()	1	()
京都府	68	(41)	7	(2)	4	(2)	42	(22)	7	(4)	3	(2)	70	(29)	11	(4)	5	(1)
大阪府	159	(66)	24	(7)	6	(1)	169	(70)	39	(14)	18	(7)	124	(63)	27	(12)	13	(8)
兵庫県	89	(29)	12	(3)	8	(2)	78	(28)	13	(4)	6	(2)	89	(40)	12	(5)	3	(1)
奈良県	45	(18)	7	(1)	2	()	29	(13)	4	(2)		()	16	(6)	2	(1)	1	(1)
和歌山県	22	(9)	3	(1)	3	(1)	12	(10)	3	(1)		()	14	(4)		()		()
鳥取県	4	(2)	3	(1)		()	13	(8)	4	(3)	2	(2)	3	(2)	1	(1)		()
島根県		()		()		()	6	(5)		()		()	2	()	2	()	1	()
岡山県	31	(12)	9	(6)	7	(5)	28	(13)	2	(2)	1	(1)	19	(10)	1	()		()
広島県	48	(21)	9	(7)		()	37	(10)	4	(2)	1	()	22	(14)	6	(4)	1	(1)
山口県	24	(10)	8	(2)	2	(1)	17	(9)	2	(2)	1	(1)	13	(3)		()		()
徳島県	29	(10)	5	()		()	12	(5)	3	(2)		()	4	(1)	2	(1)		()
香川県	28	(14)		()		()	17	(10)	2	(1)		()	11	(7)	2	(2)		()
愛媛県	23	(8)	2	()	2	()	16	(8)	3	()	1	()	7	(3)		()		()
高知県	16	(1)	3	()	1	()	14	(11)	1	(1)	1	(1)	10	(6)	3	(2)	2	(1)
福岡県	63	(34)	8	(5)	2	()	70	(42)	9	(3)	1	()	69	(31)	10	(3)	3	()
佐賀県	18	(7)	6	(2)	2	()	16	(9)	5	(1)	2	()	19	(5)	5	()		()
長崎県	31	(10)	4	()	1	()	6	(1)	2	()	2	()	7	(1)	3	()	1	()
熊本県	43	(19)	5	(2)	2	(1)	21	(5)	2	(1)	1	()	19	(6)	2	(1)	1	()
大分県	6	(5)	3	(3)	1	(1)	12	(3)	2	(2)		()	8	(4)	2	(1)	2	(1)
宮崎県	10	(2)		()		()	13	(4)	3	(1)		()	18	(5)	1	()		()
鹿児島県	24	(9)	4	()	2	()	35	(1)	10	()	3	()	27	(14)	4	(3)	3	(3)
沖縄県	21	(9)	2	()	1	()	16	(8)		()		()	24	(13)	5	(4)	4	(3)
その他	89	(29)	12	(4)	11	(4)	26	(9)	8	(1)	4	(1)	27	(11)	1	(1)		()
計 (女子)	2576	(1075)	353	(122)	138	(52)	2225	(964)	385	(172)	137	(58)	1930	(916)	345	(164)	137	(70)

【北里大学】

都道府県	平成19年度			平成24年度			平成29年度		
	志願者 (女子)	合格者 (女子)	手続者 (女子)	志願者 (女子)	合格者 (女子)	手続者 (女子)	志願者 (女子)	合格者 (女子)	手続者 (女子)
北海道	78 (31)	15 (2)	3 (1)	69 (20)	21 (6)	4 (1)	90 (32)	19 (9)	4 ()
青森県	44 (18)	14 (5)	4 (2)	30 (17)	10 (3)	4 (1)	31 (17)	1 (1)	1 (1)
岩手県	28 (12)	3 (3)	2 (2)	25 (12)	4 (2)	()	33 (20)	5 (1)	3 (1)
宮城県	97 (47)	19 (6)	5 (3)	46 (19)	6 (2)	3 ()	58 (31)	10 (4)	3 (1)
秋田県	11 (7)	1 ()	1 ()	8 (3)	()	()	11 (2)	1 ()	()
山形県	17 (7)	2 (2)	()	13 (7)	6 (4)	()	22 (13)	2 (2)	1 (1)
福島県	44 (30)	14 (10)	7 (5)	33 (17)	3 (1)	2 (2)	26 (12)	3 ()	2 ()
茨城県	91 (36)	19 (9)	8 (2)	77 (48)	27 (22)	3 (1)	89 (43)	9 (7)	3 (3)
栃木県	41 (15)	7 (3)	4 (2)	44 (18)	6 (1)	1 (1)	63 (37)	12 (7)	6 (3)
群馬県	80 (33)	13 (5)	6 (3)	49 (15)	18 (2)	4 (1)	51 (32)	18 (12)	2 (1)
埼玉県	173 (85)	29 (20)	10 (5)	170 (76)	41 (18)	8 (4)	177 (98)	17 (5)	7 (2)
千葉県	122 (43)	14 (6)	5 (2)	133 (75)	40 (27)	13 (7)	156 (81)	27 (13)	6 (3)
東京都	550 (273)	77 (34)	22 (10)	527 (291)	109 (66)	23 (11)	632 (362)	88 (48)	27 (17)
神奈川県	298 (148)	57 (28)	12 (5)	259 (144)	50 (26)	11 (5)	310 (167)	38 (20)	13 (7)
新潟県	42 (23)	9 (4)	2 ()	23 (8)	5 (2)	2 (1)	35 (14)	8 (3)	1 ()
富山県	13 (4)	1 ()	()	12 (10)	1 (1)	1 (1)	17 (13)	5 (4)	5 (4)
石川県	17 (8)	7 (3)	()	8 (2)	2 ()	()	7 (7)	()	()
福井県	12 (6)	()	()	9 (7)	5 (4)	1 (1)	10 (4)	1 (1)	1 (1)
山梨県	27 (11)	8 (5)	4 (3)	32 (20)	8 (4)	1 (1)	31 (11)	3 (2)	1 ()
長野県	56 (19)	7 (3)	2 (1)	62 (32)	12 (6)	5 (2)	42 (16)	8 (2)	4 ()
岐阜県	33 (22)	6 (3)	4 (2)	18 (9)	7 (3)	1 (1)	47 (17)	6 (4)	1 ()
静岡県	103 (57)	12 (5)	5 (2)	81 (32)	19 (10)	7 (2)	78 (34)	9 (5)	2 (2)
愛知県	194 (83)	36 (10)	10 (5)	180 (78)	47 (24)	15 (6)	177 (65)	38 (13)	12 (7)
三重県	53 (21)	4 ()	2 ()	29 (14)	10 (7)	4 (3)	32 (16)	6 (1)	4 (1)
滋賀県	15 (7)	1 ()	1 ()	23 (18)	3 (3)	2 (2)	15 (4)	6 (1)	()
京都府	62 (39)	5 (2)	3 (2)	51 (25)	24 (11)	5 (1)	90 (33)	18 (12)	7 (5)
大阪府	209 (93)	59 (23)	15 (5)	173 (82)	58 (30)	12 (8)	156 (68)	28 (11)	5 (3)
兵庫県	127 (68)	28 (13)	5 (2)	95 (52)	27 (16)	9 (5)	122 (60)	20 (12)	4 (3)
奈良県	32 (10)	5 (1)	1 (1)	34 (10)	15 (1)	3 ()	20 (5)	2 (1)	1 ()
和歌山県	16 (6)	5 ()	4 ()	16 (8)	7 (3)	2 (2)	15 (8)	2 (1)	1 ()
鳥取県	2 ()	1 ()	1 ()	3 (3)	1 (1)	()	7 (2)	2 (2)	()
島根県	8 (4)	2 (1)	1 ()	5 (3)	()	()	4 ()	2 ()	()
岡山県	33 (13)	8 (4)	2 (1)	23 (13)	8 (7)	2 (2)	33 (17)	6 (5)	1 (1)
広島県	48 (24)	10 (7)	4 (4)	53 (25)	13 (4)	1 ()	53 (22)	6 (3)	3 (2)
山口県	29 (11)	7 (3)	2 (1)	21 (13)	3 (3)	2 (2)	26 (10)	3 (1)	()
徳島県	10 (7)	1 ()	1 ()	4 ()	3 ()	()	4 ()	3 ()	()
香川県	21 (9)	4 (1)	1 ()	22 (13)	8 (5)	()	11 (7)	4 (2)	1 ()
愛媛県	35 (18)	4 (1)	1 ()	20 (10)	8 (4)	1 (1)	15 (6)	3 (2)	1 ()
高知県	18 (5)	4 (1)	2 (1)	8 (5)	3 (2)	()	12 (7)	6 (4)	1 (1)
福岡県	87 (48)	17 (8)	4 (1)	76 (35)	19 (6)	5 (1)	95 (44)	16 (6)	6 (3)
佐賀県	26 (17)	9 (5)	2 (1)	8 (4)	4 (3)	2 (1)	20 (9)	5 (1)	()
長崎県	22 (5)	6 (1)	3 ()	13 (3)	3 (1)	1 ()	6 ()	1 ()	()
熊本県	31 (21)	1 (1)	()	15 (7)	7 (4)	1 ()	22 (9)	2 (2)	()
大分県	22 (8)	8 (2)	()	18 (10)	9 (6)	2 (1)	16 (6)	2 ()	()
宮崎県	26 (7)	5 (1)	2 ()	21 (11)	6 (3)	1 (1)	39 (11)	10 (2)	1 ()
鹿児島県	46 (8)	10 (3)	4 (1)	39 (8)	6 (1)	2 (1)	45 (17)	10 (3)	5 (3)
沖縄県	35 (10)	5 ()	()	35 (13)	5 ()	3 ()	29 (18)	3 (2)	1 ()
その他	39 (15)	7 (1)	()	29 (11)	8 (4)	2 (2)	33 (17)	5 (2)	4 (1)
計 (女子)	3223 (1492)	586 (245)	177 (75)	2742 (1356)	705 (359)	171 (82)	3113 (1524)	499 (239)	151 (77)

【日本獣医生命科学大学】

都道府県	平成19年度			平成24年度			平成29年度		
	志願者 (女子)	合格者 (女子)	手続者 (女子)	志願者 (女子)	合格者 (女子)	手続者 (女子)	志願者 (女子)	合格者 (女子)	手続者 (女子)
北海道	33 (15)	2 ()	1 ()	27 (10)	()	()	23 (6)	4 (1)	3 (1)
青森県	14 (6)	1 ()	()	11 (5)	()	()	7 (2)	()	()
岩手県	12 (4)	(3)	()	9 (5)	()	()	5 ()	()	()
宮城県	25 (11)	1 (1)	1 (1)	16 (8)	1 (1)	1 (1)	17 (4)	()	()
秋田県	2 (1)	()	()	7 (7)	2 (2)	2 (2)	9 ()	()	()
山形県	8 (2)	()	()	12 (7)	1 (1)	1 (1)	5 (3)	()	()
福島県	15 (5)	3 ()	3 ()	23 (13)	1 (1)	()	15 (8)	()	()
茨城県	68 (41)	7 (6)	4 (3)	52 (33)	6 (3)	3 (2)	51 (30)	5 (5)	2 (2)
栃木県	24 (9)	3 (1)	2 (1)	36 (12)	1 (1)	1 (1)	29 (17)	1 (1)	()
群馬県	47 (21)	()	()	36 (14)	3 (1)	1 (1)	27 (13)	3 (2)	2 (2)
埼玉県	220 (112)	18 (14)	8 (6)	227 (134)	17 (10)	8 (6)	163 (97)	19 (8)	13 (5)
千葉県	154 (77)	7 (4)	4 (1)	146 (94)	21 (17)	15 (12)	143 (89)	14 (8)	12 (7)
東京都	765 (420)	66 (40)	31 (22)	728 (445)	66 (44)	24 (17)	728 (435)	78 (49)	54 (34)
神奈川県	277 (161)	33 (21)	14 (8)	250 (144)	24 (12)	4 (4)	242 (126)	18 (13)	10 (7)
新潟県	22 (17)	1 ()	1 ()	12 (6)	2 (2)	1 (1)	7 (2)	2 ()	()
富山県	7 (3)	()	()	6 (2)	()	()	3 ()	()	()
石川県	2 (1)	()	()	2 (1)	1 ()	()	7 (6)	1 (1)	1 (1)
福井県	11 (6)	()	()	10 (6)	()	()	5 (3)	2 (2)	2 (2)
山梨県	16 (8)	2 (1)	2 (1)	30 (23)	1 (1)	()	22 (4)	1 ()	1 ()
長野県	40 (14)	2 (1)	1 (1)	41 (22)	2 (2)	1 (1)	31 (14)	1 (1)	1 (1)
岐阜県	16 (8)	1 ()	()	7 (1)	1 (1)	1 (1)	16 (4)	()	()
静岡県	55 (27)	4 (2)	1 ()	60 (24)	4 (3)	1 (1)	31 (12)	3 (2)	1 (1)
愛知県	91 (41)	2 ()	1 ()	90 (30)	9 (2)	4 ()	88 (39)	9 (4)	8 (3)
三重県	32 (18)	()	()	18 (7)	2 (1)	1 ()	16 (5)	2 (2)	2 (2)
滋賀県	9 (3)	()	()	11 (6)	()	()	6 (4)	()	()
京都府	33 (26)	2 ()	()	37 (21)	4 (1)	2 ()	38 (14)	4 (1)	2 (1)
大阪府	110 (56)	12 (7)	2 (2)	111 (54)	10 (6)	3 (2)	76 (34)	7 (4)	7 (4)
兵庫県	65 (36)	7 (3)	5 (2)	55 (26)	2 (2)	2 (2)	64 (35)	9 (7)	6 (4)
奈良県	18 (5)	1 ()	()	17 (3)	2 ()	1 ()	18 (9)	3 (2)	3 (2)
和歌山県	8 (4)	()	()	7 (3)	1 (1)	()	6 (4)	()	()
鳥取県	4 (2)	2 (2)	()	3 (1)	()	()	2 (2)	2 (2)	1 (1)
島根県	3 (2)	()	()	5 (2)	1 ()	1 ()	2 ()	()	()
岡山県	25 (8)	()	()	20 (11)	3 (3)	2 (2)	11 (7)	()	()
広島県	23 (9)	2 (1)	1 (1)	37 (17)	2 (1)	2 (1)	26 (15)	2 (1)	1 ()
山口県	19 (6)	2 (1)	1 ()	17 (11)	1 (1)	1 (1)	10 (2)	1 ()	()
徳島県	7 (6)	()	()	7 (4)	1 ()	()	5 (1)	2 ()	2 ()
香川県	17 (11)	2 (2)	2 (2)	9 (3)	3 (2)	()	3 ()	()	()
愛媛県	22 (18)	()	()	13 (6)	()	()	3 (1)	1 ()	1 ()
高知県	13 (4)	1 ()	()	7 (7)	()	()	10 (4)	2 (2)	2 (2)
福岡県	53 (37)	2 ()	()	40 (24)	3 (2)	2 (1)	41 (17)	1 ()	1 ()
佐賀県	5 (4)	()	()	10 (5)	1 (1)	()	6 (3)	1 ()	1 ()
長崎県	13 (3)	1 (1)	1 (1)	10 ()	1 ()	1 ()	5 (2)	1 (1)	()
熊本県	22 (11)	3 (1)	2 (1)	17 (10)	()	()	6 (3)	()	()
大分県	18 (7)	3 (1)	2 (1)	13 (3)	()	()	5 (2)	1 (1)	1 (1)
宮崎県	20 (8)	()	()	12 (8)	1 (1)	1 (1)	10 (5)	1 (1)	1 (1)
鹿児島県	25 (5)	1 (1)	1 (1)	30 (7)	3 ()	1 ()	25 (12)	1 ()	1 ()
沖縄県	20 (10)	1 (1)	1 (1)	28 (14)	1 (1)	1 (1)	11 (8)	1 (1)	1 (1)
その他	57 (31)	7 (4)	4 (2)	46 (20)	2 (1)	2 (1)	42 (20)	4 (2)	2 (1)
計 (女子)	2565 (1340)	202 (119)	96 (58)	2418 (1319)	207 (128)	91 (63)	2121 (1123)	207 (124)	145 (86)

【麻布大学】

都道府県	平成19年度			平成24年度			平成29年度		
	志願者 (女子)	合格者 (女子)	手続者 (女子)	志願者 (女子)	合格者 (女子)	手続者 (女子)	志願者 (女子)	合格者 (女子)	手続者 (女子)
北海道	34 (12)	3 (1)	3 (1)	36 (10)	7 (3)	4 (3)	34 (13)	7 (4)	()
青森県	9 (5)	2 ()	1 ()	6 (3)	1 ()	1 ()	7 (2)	1 (1)	1 (1)
岩手県	10 (3)	2 (3)	1 (1)	5 (2)	()	()	11 (4)	()	()
宮城県	31 (15)	5 ()	3 ()	29 (11)	()	()	22 (10)	2 (1)	1 ()
秋田県	3 (3)	()	()	6 (4)	()	()	8 (2)	1 ()	1 ()
山形県	6 (4)	1 (1)	()	9 (6)	1 (1)	1 (1)	6 (4)	()	()
福島県	25 (12)	4 (1)	1 (1)	15 (5)	3 (2)	1 (1)	16 (10)	1 (1)	()
茨城県	61 (25)	7 (4)	4 (2)	30 (16)	4 (1)	1 ()	54 (36)	10 (7)	2 ()
栃木県	26 (10)	2 (1)	2 (1)	31 (11)	3 ()	2 ()	34 (23)	5 (3)	4 (3)
群馬県	35 (14)	2 (1)	2 (1)	31 (10)	4 (1)	1 (1)	27 (12)	10 (5)	2 ()
埼玉県	154 (83)	24 (16)	11 (6)	158 (82)	19 (6)	15 (6)	140 (81)	13 (3)	2 ()
千葉県	105 (45)	9 (6)	6 (4)	104 (53)	12 (7)	6 (3)	96 (54)	16 (11)	3 (2)
東京都	562 (313)	91 (55)	53 (29)	523 (309)	89 (51)	48 (27)	584 (329)	99 (57)	45 (27)
神奈川県	317 (180)	46 (28)	23 (13)	297 (168)	46 (27)	30 (18)	299 (181)	63 (41)	32 (24)
新潟県	16 (11)	1 ()	()	23 (6)	3 ()	1 ()	16 (6)	3 ()	1 ()
富山県	7 (2)	1 ()	()	4 (3)	()	()	10 (4)	2 (1)	2 (1)
石川県	3 (1)	1 ()	1 ()	3 ()	3 ()	()	8 (6)	1 (1)	()
福井県	8 (4)	()	()	8 (5)	()	()	7 (4)	1 (1)	()
山梨県	31 (12)	3 (2)	2 (2)	20 (11)	1 (1)	()	20 (3)	1 ()	()
長野県	37 (12)	3 (1)	1 ()	49 (23)	5 (2)	2 (1)	24 (11)	3 (2)	3 (1)
岐阜県	21 (15)	2 (2)	()	16 (7)	3 (1)	2 (1)	28 (12)	4 (2)	1 (1)
静岡県	61 (34)	8 (4)	3 (2)	58 (24)	6 (3)	5 (2)	49 (19)	8 (3)	2 ()
愛知県	100 (43)	19 (5)	14 (4)	106 (47)	17 (9)	7 (4)	115 (61)	19 (11)	8 (5)
三重県	36 (17)	3 (3)	2 (2)	19 (8)	2 (1)	2 (1)	28 (10)	3 (1)	()
滋賀県	4 (3)	()	()	5 (2)	()	()	10 (5)	1 ()	()
京都府	45 (33)	4 (2)	3 (1)	35 (17)	8 (4)	5 (3)	53 (23)	5 (1)	2 (1)
大阪府	105 (54)	19 (8)	13 (3)	101 (40)	25 (10)	14 (5)	81 (37)	14 (8)	6 (3)
兵庫県	74 (43)	18 (9)	12 (6)	42 (25)	5 (3)	5 (3)	64 (30)	9 (4)	3 (1)
奈良県	23 (8)	3 ()	1 ()	22 (6)	2 ()	1 ()	15 (8)	4 (2)	3 (2)
和歌山県	10 (6)	()	()	9 (5)	2 (1)	2 (1)	13 (4)	4 (3)	1 ()
鳥取県	6 (4)	2 (2)	()	4 (4)	1 (1)	()	5 (2)	1 (1)	1 ()
島根県	4 (2)	1 ()	1 ()	2 (1)	()	()	3 ()	()	()
岡山県	31 (13)	5 (2)	2 ()	20 (10)	6 (5)	3 (2)	18 (11)	1 ()	()
広島県	37 (16)	6 (2)	5 (1)	31 (16)	6 (1)	3 (1)	27 (13)	1 (1)	()
山口県	21 (8)	3 (1)	1 (1)	15 (11)	1 ()	1 ()	11 (4)	2 ()	1 ()
徳島県	6 (4)	1 ()	1 ()	6 (2)	1 ()	()	4 (1)	3 (1)	1 (1)
香川県	14 (7)	3 (2)	3 (2)	12 (10)	4 (4)	3 (3)	6 (5)	()	1 (1)
愛媛県	17 (13)	()	()	15 (11)	1 ()	1 ()	6 (3)	1 ()	()
高知県	22 (9)	1 (1)	1 (1)	6 (5)	2 (2)	2 (2)	11 (7)	4 (4)	2 (2)
福岡県	45 (28)	5 (2)	3 (2)	43 (23)	7 (3)	3 ()	58 (28)	8 (3)	3 (1)
佐賀県	14 (9)	5 (3)	2 (2)	7 (2)	2 ()	1 ()	19 (8)	5 ()	()
長崎県	9 (4)	1 (1)	1 (1)	8 (1)	1 ()	()	7 (2)	2 ()	()
熊本県	25 (13)	1 ()	1 ()	21 (13)	5 (3)	5 (3)	19 (5)	1 (1)	2 (1)
大分県	21 (12)	3 (1)	3 (1)	12 (8)	4 (2)	3 (1)	5 (2)	()	()
宮崎県	23 (7)	3 ()	2 ()	18 (10)	4 (2)	4 (2)	22 (5)	4 ()	1 ()
鹿児島県	33 (7)	4 ()	3 ()	40 (12)	3 ()	()	39 (12)	6 ()	1 ()
沖縄県	21 (7)	1 ()	1 ()	30 (15)	5 (2)	1 ()	18 (10)	()	()
その他	28 (17)	4 (1)	()	15 (5)	1 ()	()	26 (13)	4 (3)	()
計 (女子)	2336 (1202)	332 (171)	192 (90)	2105 (1078)	325 (159)	186 (95)	2183 (1135)	353 (188)	138 (78)

【日本大学】

都道府県	平成19年度			平成24年度			平成29年度		
	志願者 (女子)	合格者 (女子)	手続者 (女子)	志願者 (女子)	合格者 (女子)	手続者 (女子)	志願者 (女子)	合格者 (女子)	手続者 (女子)
北海道	41 (19)	4 (2)	2 (2)	43 (19)	5 (3)	3 (3)	24 (9)	4 (1)	3 (1)
青森県	14 (8)	()	()	8 (5)	1 (1)	1 (1)	11 (4)	1 (1)	()
岩手県	16 (4)	1 (3)	()	9 (4)	()	()	12 (4)	2 (1)	1 (1)
宮城県	42 (20)	4 (2)	3 (2)	34 (10)	3 (1)	2 (1)	13 (6)	()	()
秋田県	2 (2)	()	()	7 (1)	()	()	8 ()	()	()
山形県	6 (3)	2 (2)	2 (2)	15 (10)	3 (2)	3 (2)	10 (6)	3 ()	2 ()
福島県	22 (14)	5 (3)	2 (2)	18 (8)	1 ()	()	14 (7)	2 (1)	2 (1)
茨城県	55 (31)	8 (7)	5 (4)	56 (31)	5 (4)	3 (2)	41 (17)	7 (5)	4 (3)
栃木県	34 (14)	5 (2)	4 (2)	32 (15)	5 (5)	5 (5)	27 (14)	5 (2)	4 (2)
群馬県	44 (20)	3 (1)	3 (1)	23 (9)	1 (1)	1 (1)	28 (17)	4 (4)	3 (3)
埼玉県	170 (93)	8 (5)	4 (2)	199 (110)	14 (8)	7 (5)	136 (72)	13 (4)	6 (3)
千葉県	156 (64)	10 (4)	6 (2)	141 (71)	12 (7)	7 (3)	121 (64)	13 (10)	4 (3)
東京都	704 (356)	62 (36)	31 (19)	679 (383)	53 (35)	28 (20)	635 (353)	70 (41)	28 (16)
神奈川県	439 (240)	50 (28)	29 (19)	409 (213)	44 (24)	30 (16)	393 (209)	42 (23)	24 (12)
新潟県	29 (19)	3 (1)	1 (1)	24 (7)	3 (2)	()	15 (7)	1 ()	()
富山県	10 (2)	1 ()	1 ()	5 (1)	()	()	6 (3)	()	()
石川県	8 (2)	2 (1)	1 (1)	3 ()	1 ()	1 ()	7 (6)	1 (1)	1 (1)
福井県	8 (3)	()	()	9 (8)	2 (2)	1 (1)	4 (2)	()	()
山梨県	20 (4)	2 (1)	1 ()	25 (17)	()	()	21 (8)	1 (1)	1 (1)
長野県	48 (11)	3 (2)	3 (2)	45 (17)	2 (1)	2 (1)	25 (9)	1 (1)	1 (1)
岐阜県	18 (10)	1 ()	1 ()	13 (2)	3 (2)	2 (2)	22 (4)	3 (1)	1 ()
静岡県	74 (36)	9 (4)	4 (2)	75 (31)	4 (4)	4 (4)	49 (22)	5 (4)	4 (3)
愛知県	126 (55)	13 (6)	4 (3)	108 (42)	5 (5)	3 (3)	95 (38)	9 (5)	6 (3)
三重県	33 (13)	4 (1)	4 (1)	27 (9)	()	()	14 (4)	()	()
滋賀県	12 (8)	2 (2)	2 (2)	10 (4)	()	()	9 (4)	()	()
京都府	41 (33)	7 (6)	4 (4)	36 (17)	5 (3)	1 (1)	49 (21)	4 (2)	2 (1)
大阪府	120 (61)	10 (6)	6 (4)	113 (36)	10 (3)	5 (2)	84 (27)	9 (2)	7 (2)
兵庫県	63 (38)	8 (6)	2 (1)	52 (28)	1 (1)	1 (1)	80 (38)	6 (3)	1 ()
奈良県	24 (6)	5 ()	1 ()	27 (10)	2 (1)	2 (1)	16 (7)	1 (1)	1 (1)
和歌山県	8 (4)	()	()	11 (4)	1 ()	1 ()	6 (1)	1 (1)	1 (1)
鳥取県	7 (4)	1 (1)	()	5 (4)	1 (1)	1 (1)	5 (3)	1 (1)	()
島根県	7 (3)	()	()	3 (1)	1 (1)	1 (1)	2 ()	()	()
岡山県	25 (9)	()	()	16 (7)	1 (1)	()	11 (4)	()	()
広島県	36 (20)	5 (2)	()	43 (22)	4 (2)	2 (1)	24 (12)	2 (1)	2 (1)
山口県	19 (8)	()	()	15 (10)	()	()	12 (3)	2 ()	1 ()
徳島県	10 (7)	2 (2)	2 (2)	8 (4)	2 ()	1 ()	4 ()	()	()
香川県	16 (6)	2 (2)	1 (1)	11 (3)	4 (1)	1 ()	5 (1)	1 (1)	1 (1)
愛媛県	16 (12)	2 (2)	()	17 (10)	2 (2)	2 (2)	4 ()	()	()
高知県	19 (5)	()	()	9 (3)	()	()	9 (4)	()	()
福岡県	52 (27)	5 (2)	4 (2)	43 (24)	5 (2)	2 (2)	42 (17)	7 (2)	5 (2)
佐賀県	9 (2)	1 ()	1 ()	5 (2)	1 ()	1 ()	15 (10)	()	()
長崎県	8 (3)	()	()	8 (1)	2 (1)	1 (1)	10 (6)	2 (2)	2 (2)
熊本県	27 (17)	()	()	23 (16)	5 (3)	3 (2)	11 (5)	1 ()	()
大分県	11 (4)	3 ()	2 ()	17 (6)	()	()	7 (3)	2 (1)	2 (1)
宮崎県	10 (2)	()	()	16 (6)	3 ()	3 ()	19 (7)	3 (3)	2 (2)
鹿児島県	34 (4)	3 (1)	()	33 (7)	2 ()	1 ()	24 (11)	2 (1)	2 (1)
沖縄県	21 (7)	()	()	33 (12)	3 (2)	3 (2)	19 (9)	2 (1)	1 (1)
その他	45 (25)	7 (4)	2 (1)	32 (12)	2 (1)	2 (1)	31 (16)	4 (3)	4 (3)
計 (女子)	2759 (1358)	263 (147)	138 (84)	2593 (1272)	224 (132)	137 (88)	2229 (1094)	237 (131)	129 (73)

3) 平成19・24・29年度 入学志願者・合格者・入学者（大学院）

研究科・専攻名	募集人員	志願者			合格者			入学者		
		19年度	24年度	29年度	19年度	24年度	29年度	19年度	24年度	29年度
酪農学園大学 獣医学研究科 獣医学専攻	3	6	3	8	6	3	7	6	3	7
北里大学 獣医学系研究科 獣医学専攻	推薦：若干名	6	3	4	6	3	4	6	3	3
	一般：3名		1	3		0	3		0	3
	社会人：若干名		0	1		0	1		0	1
	外国人：若干名		1	1		1	1		1	1
日本獣医生命科学大学 獣医生命科学研究科 獣医学専攻	8	7	9	7	7	9	7	7	9	7
麻布大学 獣医学研究科 獣医学専攻	10	3	10	9	2	6	8	2	6	8
日本大学 獣医学研究科 獣医学専攻	6	11	6	8	11	6	8	10	6	7

4) 平成29年度 入学者学納金(学部・大学院)

<学部>

(単位：千円)

大学 学部	入学金 (1)	毎 年 納 入 金					初年度 納入金	2年目以 降納入額 適用費目 (番号)	入学 検定料
		施設設備費 (2)	授業料 (3)	実験実習費 (4)	教育充実費 (5)	その他 (6)			
酪農学園 大 学	300		1年次 940 2年次以降 2,040			1年次 160 2年次以降 240	1,400	2,280 (3), (6)	30 センター15
北里大学	300	1年次<530> 2年次<630>	1,500	—	—	4	2,334	2,134 (2)、 (3)、(6)	33 センター17
日本獣医 生命科学 大 学	250	420	1,300	200	300	30	2,500	2,250 (2)～(5)	30 センター15
麻布大学	250	450	1,250	1年次 <250> 2年次以降 <300>	300	—	2,500	2,300 (2)～(5)	35 センター15
日本大学	260	350	1,500	300	—	—	2,410	2,150 (2)～(4)	35 センター 8

<大学院>

(単位：千円)

大学院	入学金 (1)	毎 年 納 入 金				初年度 納入金	2年目以降 納入額 適用費目 (番号)	入学 検定料
		施設設備費 (2)	授業料 (3)	実験実習費 (4)	その他 (5)			
酪農学園大学大学院 獣医学研究科 獣医学専攻	学外者 140 学内者 0	—	1・2年次 595 3・4年次 520	120	—	学外者 855 学内者 715	2年目 715 3・4年目 640 (3), (4)	30
北里大学大学院 獣医学系研究科 獣医学専攻	学外者 200 学内者 0	—	450	—	4	学外者 654 学内者 454	454 (3), (5)	20
日本獣医生命科学大学 大学院 獣医生命科学系研究科 獣医学専攻	学外者 200 学内者 0	—	680	150	20	学外者 1,050 学内者 850	830 (3) (4)	20
麻布大学大学院 獣医学研究科 獣医学専攻	250	学外者 150 学内者 免除	600	230	—	学外者 1,230 学内者 1,080	830 3, 4	30
日本大学大学院 獣医学研究科 獣医学専攻	学外者 200 学内者 0	200 0	850	—	—	学外者 1,250 学内者 850	1,050 (2), (3) 850 (3)	35

5) 平成30年度 入学試験科目 (学部・大学院)

<学部>

大学	区分	種 別	入 試 科 目 (配点)
酪農学園大学	推薦等	一般推薦	小論文 (120点)、面接 (80点)
		生産動物医療推薦	小論文 (100点)、面接 (100点)
		動物病院後継者育成推薦	小論文 (100点)、面接 (100点)
		農業高校および農業大学校推薦	小論文 (100点)、面接 (100点)
		学士・特別選抜推薦	小論文 (100点)、面接 (100点)
		地域枠特別選抜入学試験	面接
		指定校推薦	小論文、面接
		社会人特別選抜 外国人留学生特別選抜	小論文 (100点)、面接 (100点)
	試験	第1期学力入学試験	外国語 (100点)、数学 (100点)、理科 (100点) ※理科は「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1科目選択
		第2期学力入学試験	外国語 (100点)、数学 (100点)、理科 (100点) ※理科は「化学基礎・化学」、「生物基礎・生物」から1科目選択
北里大学	推薦	センター入試	外国語 (200点):「英語」(リスニング含む) 数学 (200点):「数学Ⅰ・A」「数学Ⅱ・B」 理科 (各100点):「生物」「化学」「物理」から2科目選択 ※個別学力試験は、課していません。
		指定校推薦	小論文、面接
		公募制 (A方式)	小論文 (200点)、面接 (100点)、推薦状及び調査書 (100点)
		公募制 (B方式)	小論文 (300点)、面接 (50点)、推薦状及び調査書 (50点)
		帰国生徒特別選抜入学試験	小論文 (200点)、面接、成績証明書
		地域枠特別選抜入学試験	面接、書類審査
	試験	学士入学	第1次: 小論文 (200点)、第2次: 面接 (グループ・個人)、書類審査
		一般入学試験 (前期)	数学 (100点)、理科 (100点)、外国語 (100点)、調査書 ※理科は物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1科目を選択
	大学入試センター試験 利用入学試験	一般入学試験 (後期)	数学 (100点)、理科 (100点)、外国語 (100点)、調査書 ※理科は物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から1科目を選択
			〔3教科方式〕 ①数学 (200点)、理科 (200点)、外国語 (200点) 【数 学】:「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理 科】:「物理基礎」、「科学基礎」、「生物基礎」から2科目選択 または、「物理」「化学」、「生物」から1科目選択 ※複数科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用。 基礎を付した科目は2科目で1科目として取り扱う。 【外国語】:「英語」(リスニングテストを含む) ②調査書 〔5教科方式〕 ①国語 (200点)、地理歴史または公民 (100点)、数学 (200点)、理科 (200点)、外国語 (200点) 【国 語】:「国語」 【地理歴史】または【公民】:「地理歴史」、「公民」から1科目選択 ※複数科目受験した場合は、高得点の1科目を合否判定に使用。 【数 学】:「数学Ⅰ・数学A」、「数学Ⅱ・数学B」 【理 科】:「物理」、「化学」、「生物」から2科目選択 【外国語】:「英語」(リスニングテストを含む) ②調査書
日本獣医生命科学大学	推薦等	一般公募推薦	面接・小論文・基礎学力検査 (英語・数学)
		特別選抜 (社会人)	
		特別選抜 (帰国子女及びIB取得者)	
	センター試験利用	特別選抜 (獣医師後継者及び地域獣医療支援)	面接・小論文・学力試験 (記述試験) (英語・生命科学関連科目) ※一次試験 (小論文・学力試験) 合格者に二次試験 (面接) を実施
		特別選抜 (学士)	英語 (筆記) 【100点】・数学ⅠA 【100点】・理科 (「生物」「化学」1科目選択) 【100点】・国語 (近代以降の文章) 【100点】
試験	試験	一般 (第1回)	センター試験「英語 (筆記)」【100点】・センター試験「数学ⅠA」「数学ⅡB」【100点】・本学試験 理科 (「生物」「化学」「物理」1科目選択) 【100点】
		一般 (第2回)	本学試験 英語 【100点】・本学試験 数学 【100点】・本学試験 理科 (「生物」「化学」「物理」1科目選択) 【100点】

<学部>

大学	区分	種 別	入 試 科 目 (配点)
麻布大学	推薦等	推薦入学試験 帰国子女特別入学試験 社会人特別入学試験 外国人特別入学試験 学士特別入学試験	・基礎学力を判定するペーパーテスト 「コミュニケーション英語Ⅰ、英語表現Ⅰ、 数学Ⅰ・数学A（『場合の数と確率』のみ）、 『生物基礎』又は『化学基礎』から1科目選択」 ・小論文 ・面接
		地域枠産業動物獣医師育成 特別入学試験	・基礎学力を判定するペーパーテスト 「コミュニケーション英語Ⅰ、英語表現Ⅰ、 数学Ⅰ・数学A（『場合の数と確率』のみ）、 『生物基礎』又は『化学基礎』から1科目選択」 ・面接
	試験	一般入学試験（第Ⅰ期）	理科100点：「生物基礎・生物」又は「化学基礎・化学」から1科目選択 数学100点：「数学Ⅰ・数学A・数学Ⅱ・ 数学B（『数列』と『ベクトル』のみ）」 外国語100点：「コミュニケーション英語Ⅰ・英語表現Ⅰ・ コミュニケーション英語Ⅱ・英語表現Ⅱ・ コミュニケーション英語Ⅲ」
		一般入学試験（第Ⅱ期）	
日本大学	推薦	大学入試センター試験 利用入学試験	理科200点：①「生物基礎」「化学基礎」「物理基礎」から2科目選択 ②「生物」「化学」「物理」から1科目選択 ※①②のいずれかを選択 数学200点：「数学Ⅰ・数学A」「数学Ⅱ・数学B」の2科目 外国語200点：「英語（筆記）」 ※個別学力試験は、課していません。
		公募制推薦 公募制生物資源科学部関連産業後継 者推薦 公募制校友子女推薦 公務員等地域獣医師後継者推薦	書類選考，基礎学力テスト(複合),面接 【配点:基礎学力テスト，面接ともに100点】
	試験	一般入試N方式	《外国語》 「コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ， 英語表現Ⅰ，英語表現Ⅱ」【配点:100点】 《数学》 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」 (確率分布と統計的な推測を除く)【配点:100点】 《理科》 「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」のうちから1科目選択 【配点:100点】
		一般入試C方式 (センター入試)	平成30年度入試より当該入試区分を廃止
		一般入試A方式 (本校試験)第1期 一般入試A方式 (本校試験)第2期	《外国語》 「コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ， 英語表現Ⅰ，英語表現Ⅱ」【配点:100点】 《数学》 「数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B」【配点:100点】 《理科》 「物理基礎・物理」，「化学基礎・化学」，「生物基礎・生物」のうちから1科目選択 【配点:100点】

<大学院>

研究科・専攻	試験科目（第1期・第2期とも）
酪農学園大学大学院 獣医学研究科 獣医学専攻	・ 外国語（英語または独語より1科目）、専門科目（2科目） ・ 面接
北里大学大学院 獣医学系研究科 獣医学専攻	1. 筆記試験 ①志望する専門分野の主科目1科目 ②英語 2. 卒業論文，修士論文又はこれに代わるものに関する試問 3. 面接試験
日本獣医生命科学大学大学院 獣医生命科学研究科 獣医学専攻	一般受験者は英語及び出題した研究指導分野の専門科目、口述試験 外国人留学生は書類選考 社会人特別選抜は口述試験
麻布大学大学院 獣医学研究科 獣医学専攻	・ 英語 ・ 口頭試問
日本大学大学院 獣医学研究科 獣医学専攻	【一般入試・社会人特別選抜入試】 筆記試験 英語，小論文，口述試験【配点:各100点】 ※平成26年度入試から外国人留学生入試は廃止し，一般入試で対応する。

6. 教育課程

この章では、開講科目数と総時間数、専門科目別授業時間数、実習時間数、実習用動物の使用頭数、実習用動物の代替応用の有無、実験動物・実習倫理委員会等の組織図。卒業論文（課題研究）、カリキュラムマップ（科目の年次配当）とシラバス、単位互換制度の有無、他大学および他施設との教育協力体制の有無、卒後教育および生涯教育制度の有無、学生の海外研修制度、共用試験の実施時期とその準備状況、国家試験への対応の14項目について、5大学の現状を一覧とした。

1) 開講科目数と総時間数

大学名	区分		開講科目数	単位数	時間数
酪農学園大学	教養科目	必須(a)	11	18	345
		選択(b)	47	86	1545
	専門科目	必須(c)	85	149	3105
		選択(d)	1	2	30
	合計 (a+b+c+d)		144	255	5025
	卒業要件			207	—
北里大学	教養科目	必須(a)	8	14	270
		選択(b)	57	113	1920
	専門科目	必須(c)	104	137	3405
		選択(d)	19	19	360
	合計 (a+b+c+d)		188	283	5955
	卒業要件			183	—
日本獣医生命科学大学	教養科目	必須(a)	0	0	0
		選択(b)	33	57	1005
	専門科目	必須(c)	132	173	3855
		選択(d)	10	10	300
	合計 (a+b+c+d)		175	240	5160
	卒業要件		146	196	4290
麻布大学	教養科目	必須(a)	4	7	120
		選択(b)	34	66	1080
	専門科目	必須(c)	77	144	3225
		選択(d)	9	10	240
	合計 (a+b+c+d)		124	227	4665
	卒業要件		基礎教育科目 (必修 7 単位、選択必修 6 単位、選択 23 単位) 専門科目 (必修 144 単位、選択 5 単位)		
日本大学	教養科目	必須(a)	7	13	210
		選択(b)	67	225	6750
	専門科目	必須(c)	99	156	4040
		選択(d)	9	12	360
	合計 (a+b+c+d)		182	406	11360
	卒業要件			188	—

2) 専門科目別授業時間数 (大学基準協会：獣医学教育の基準 H28 年度版準拠)

大学名	構成	開講科目数	単位数	時間数
酪農学園 大学	導入・基礎分野(a)	25	44	900
	病態分野(b)	16	27	555
	応用分野(c)	15	27	555
	臨床分野(d)	30	53	1125
	合計(a+b+c+d)	86	151	3135
北里大学	導入・基礎分野(a)	28	35	795
	病態分野(b)	22	27	645
	応用分野(c)	14	15	375
	臨床分野(d)	35	36	870
	合計(a+b+c+d)	99	113	2685
日本獣医生 命科学大学	導入・基礎分野(a)	31	44	930
	病態分野(b)	20	27	555
	応用分野(c)	17	20.5	442.5
	臨床分野(d)	49	55.5	1327.5
	合計(a+b+c+d)	117	147	3255
麻布大学	導入・基礎分野(a)	16	26	570
	病態分野(b)	15	28	600
	生産分野(c)	14	25	525
	臨床分野(d)	12	22	510
	環境分野(e)	12	21	435
	合計(a+b+c+d+e)	69	122	2640
日本大学	導入・基礎分野(a)	29	46	1005
	病態分野(b)	20	30	660
	応用分野(c)	15	26	960
	臨床分野(d)	43	50	1515
	合計(a+b+c+d)	107	152	4140

3) 実習時間数

大学名	構成	実習科目名	単位数	時間数 (a)	a のうち時間数		
					臨床実習	学外実習	その他
酪農学園大学	導入・基礎分野	獣医解剖学実習	1	45			
		獣医組織学実習	1	45			
		獣医生化学実習	1	45			
		獣医生理学実習 A	1	45			
		獣医生理学実習 B	1	45			
		獣医薬理学実習	1	45			
		獣医核医学基礎実習	1	45			
		実験動物学実習	1	45			
	病態分野	獣医ウイルス病学実習	1	45			
		獣医細菌病学実習	1	45			
		獣医寄生虫病学実習	1	45			
		獣医病理学実習	1	45	36		
		獣医免疫学実習	1	45			
	応用分野	食品衛生学実習	1	45			
		環境衛生・毒性学実習	1	45			
		人獣共通感染症学・獣医疫学実習	1	45			
		獣医衛生学実習	1	45			
		ハードヘルス学実習	1	45			
	臨床分野	産業動物臨床実習 A	1	45	45		
		産業動物臨床実習 B	1	45	45		
		臨床繁殖学実習	1	45	45		
		獣医臨床基礎演習	1	45	45		
		伴侶動物内科学実習	1	45	45		
		獣医麻酔疼痛管理学実習	1	45	45		
		伴侶動物外科学実習	1	45	45		
		画像診断学実習	1	45	45		
		クリニカルローテーション	3	135	135		
	計		29	1305	531		

大学名	構成	実習科目名	単位数	時間数(a)	aのうち時間数		
					臨床実習	学外実習	その他
北里大学	導入・基礎分野	獣医解剖学実習Ⅰ	1	45			45
		獣医解剖学実習Ⅱ	1	45			45
		獣医解剖学実習Ⅲ	1	45			45
		獣医生理学実習Ⅰ	1	45			45
		獣医生理学実習Ⅱ	1	45			45
		獣医生化学実習	1	45			45
		獣医薬理学実習Ⅰ	1	45			45
		獣医薬理学実習Ⅱ	1	45			45
		実験動物学実習	1	45			45
	病態分野	獣医病理学実習Ⅰ	2	90			90
		獣医病理学実習Ⅱ	1	45			45
		獣医臨床病理学実習	1	45	45		
		獣医細菌学実習	1	45			45
		獣医ウイルス学実習	1	45			45
		獣医感染症学実習	1	45			45
		獣医寄生虫病学実習	1	45			45
	応用分野	獣医衛生学実習	1	45			45
		獣医公衆衛生学実習Ⅰ	1	45			45
		獣医公衆衛生学実習Ⅱ	1	45			45
		鳥類疾病学実習	1	45			45
		毒性学実習	1	45			45
	臨床分野	獣医内科学実習	1	45	45		
		小動物総合臨床学実習Ⅰ	1	45	45		
		小動物総合臨床学実習Ⅱ	1	45	45		
		獣医外科学実習	1	45	45		
		小動物総合臨床学実習Ⅲ	1	45	45		
		麻酔学・救急医療学実習	0.5	23	23		
		画像診断学実習	0.5	23	23		
		獣医臨床放射線学実習	1	45	45		
		大動物総合臨床学実習Ⅰ	1	45	45		
		大動物総合臨床学実習Ⅱ	1	45	45		
		獣医臨床繁殖学実習	1	45	45		
		大動物総合臨床学実習Ⅲ	1	45	45		
	計		33	1486	541		945

大学名	構成	実習科目名	単位数	時間数(a)	aのうち時間数		
					臨床実習	学外実習	その他
日本獣医生命科学大学	導入・基礎分野	獣医解剖学実習	2	90	90		
		獣医組織発生学実習Ⅰ	1	45	45		
		獣医組織発生学実習Ⅱ	1	45	45		
		獣医生理学実習	2	90	90		
		獣医生化学実習	1	45	45		
		獣医薬理学実習	1	45	45		
		実験動物学実習	1	45	45		
	病態分野	獣医病理学実習Ⅰ	1	45	45		
		獣医病理学実習Ⅱ	1	45	45		
		獣医微生物学実習Ⅰ	1	45	45		
		獣医微生物学実習Ⅱ	1	45	45		
		獣医寄生虫病学実習	1	45	45		
	応用分野	動物衛生学実習Ⅰ（牧場実習含む）	0.5	22.5		22.5	
		動物衛生学実習Ⅱ（牧場実習含む）	0.5	22.5		22.5	
		動物衛生学実習Ⅲ（牧場実習含む）	0.5	22.5		22.5	
		公衆衛生学実習Ⅰ（人獣共通感染症・環境衛生）	1	45	45		
		公衆衛生学実習Ⅱ（食品衛生）	1	45	45		
		毒性学実習	1	45	45		
	臨床分野	獣医内科学実習Ⅰ（一般診断・治療）	1	45	45		
		獣医内科学実習Ⅱ（一般診断・治療）	1	45	45		
		獣医外科学実習Ⅰ-1（手術学）	1	45	45		
		獣医外科学実習Ⅰ-2（手術学）	1	45	45		
		獣医外科学実習Ⅱ（麻酔学）	1	45	45		
		獣医画像診断学実習	1	45	45		
		大動物臨床実習	1	45		45	
		獣医臨床繁殖学実習Ⅰ	0.5	22.5	22.5		
		獣医臨床繁殖学実習Ⅱ	1	45	45		
		獣医総合実習（臨床）Ⅰ（医療面接）	1	45	45		
		獣医総合実習（臨床）Ⅱ（小動物/学外）	1	45	45		
		獣医総合実習（臨床）Ⅲ（産業動物/共済）	1	45		45	
		獣医総合実習（臨床）Ⅳ（産業動物/共済）	1	45		45	
		獣医総合実習（臨床）Ⅴ（小動物/医療センター）	1	45	45		
		獣医総合実習（臨床）Ⅵ（小動物/医療センター）	1	45	45		
		獣医総合実習（臨床）Ⅶ（小動物/医療センター）	1	45	45		
		獣医総合実習（臨床）Ⅷ（小動物/医療センター）	1	45	45		
	計		35	1575	1372.5	202.5	

大学名	構成	実習科目名	単位数	時間数(a)	aのうち時間数		
					臨床実習	学外実習	その他
麻布大学	導入・基礎分野	獣医解剖学実習	2	90			
		獣医組織学実習	1	45			
		獣医生理学実習Ⅰ	1	45			
		獣医生理学実習Ⅱ	1	45			
		獣医生化学実習	1	45			
	病態分野	獣医寄生虫学実習	1	45			
		獣医薬理学実習	1	45			
		獣医微生物学実習	2	90			
		獣医病理学実習	2	90			
	生産分野	牧場実習	1	45			
		家畜伝染病学実習	1	45			
		家畜衛生学実習	1	45			
		獣医臨床繁殖学実習	1	45			
		産業動物獣医総合臨床	6	90			
		産業動物臨床実習	1	45			
	臨床分野	獣医内科学実習	1	45			
		獣医外科学実習	1	45			
		獣医放射線学実習	1	45			
		小動物臨床実習	3	135			
	環境分野	実験動物学実習	1	45			
		毒性学実習	1	45			
		獣医公衆衛生学実習	2	90			
	計		33	1305			

大学名	構成	実習科目名	単位数	時間数(a)	aのうち時間数		
					臨床実習	学外実習	その他
日本大学	導入・基礎分野	獣医解剖学実習	2	90			90
		獣医組織学実習	1	45			45
		獣医生理学実習	1	45			45
		獣医生化学実習	1	45			45
		獣医薬理学実習	1	45			45
		実験動物学実習	1	45			45
		牧場実習	1	45		45	
	病態分野	獣医微生物学実習	2	90			90
		獣医病理学実習	2	90			90
		獣医寄生虫病学実習	1	45			45
		魚病学実習	1	45			45
		動物感染症学実習	1	45			45
	応用分野	毒性学実習	1	45			45
		獣医公衆衛生学実習	1	45		12	33
		食品衛生学実習	1	45			45
		動物衛生学実習	1	45		6	39
	臨床分野	獣医画像診断学実習	1	45	45		
		獣医臨床繁殖学実習	1	45	45		
		小動物外科学実習	2	90	90		
		産業動物臨床実習	1	45	45		
		小動物内科学実習	2	90	90		
		獣医臨床病理学実習	1	45	45		
		総合参加型臨床実習	6	270	270	81	
	計		33	1485	630	144	792

4) 実習用動物の使用頭数

大学名	動物種	使 用 頭 数			学生 1 人当たり 年間使用頭数
		平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年	
酪農学園 大学 (獣医学群： 動物実験委 員会)	マウス	1509	1528	675	
	ラット	521	515	307	
	モルモット	26	21	13	
	ウサギ	2		1	
	クロウサギ			5	
	ネコ	25	27	25	
	イヌ	179	132	195	
	ニワトリ	121	17	2	
	ヤギ				
	ヒツジ	10	6	1	
	ブタ	9	12	38	
	ウシ	336	795	345	
	ウマ	145	152	238	
	カエル	150	769	75	
	コイ				
	ハムスター	7	6	54	
	ドブネズミ	118		16	
	スナネズミ	2			
	野ネズミ	200			
	ケナガネズミ			20	
	アライグマ	408	4	8	
	ミンク	9			
	キテン	1			
	鳥類	138	10	8	
	トカゲ	1			
	魚類	1000		20	
	海獣	6	3	4	
	野生動物	1			
	エゾシカ		3		
	クマ		3	70	
	トラ		1		
	アルパカ			7	
	タヌキ			4	
	コテングコウモリ			1	
	マダニ	500			
	計	5424	4004	2132	

大学名	動物種	使 用 頭 数			学生 1 人当たり 年間使用頭数
		平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年	
北里大学	マウス	-	2,773	6,433	3.57
	ラット	-	1,733	1,764	0.98
	モルモット	-	216	2	0.00 未満
	ウサギ	-	9	6	0.00 未満
	ネコ	-	278	96	0.05
	イヌ	-	342	194	0.10
	ニワトリ	-	356	483	0.27
	ヤギ	-	40	11	0.01
	ヒツジ	-	82	125	0.07
	ブタ	-	67	102	0.06
	ウシ	-	202	544	0.30
	ウマ	-	110	86	0.05
	カエル	-	-	-	
	コイ	-	-	-	
	ハムスター	-	0	0	
	計	-	6,208	9,846	5.47

大学名	動物種	使 用 頭 数 (*)			学生 1 人当たり 年間使用頭数 (**)
		平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年	
日本獣医 生命科学 大学	マウス			560	
	ラット			368	
	モルモット			14	
	ウサギ			49	
	ネコ			0	
	イヌ			51	
	ニワトリ			64	
	ヤギ			7	
	ヒツジ			0	
	ブタ			15	
	ウシ			63	
	ウマ			8	
	カエル			550	
	コイ			0	
	ハムスター			0	
	キンギョ			150	
	ニジマス			100	
	計			1,999	

(※ 注意) 獣医学科の全実習で使用した頭数の合計。安楽死させない個体数も含んでいる。

(**) 実習毎の受講人数が異なるため (選択・必修の違い、学年の違いなど) 算出不可であった。

大学名	動物種	使 用 頭 数			学生 1 人当たり 年間使用頭数
		平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年	
麻布大学	マウス	1040	968	1207	1. 17
	ラット	52	52	68	0. 063
	モルモット	4	4	4	0. 004
	ウサギ	26	26	26	0. 028
	ネコ	0	0	0	0
	イヌ	139	144	135	0. 152
	ニワトリ	84	84	84	0. 092
	ヤギ	0	0	0	0
	ヒツジ	0	0	0	0
	ブタ	63	63	77	0. 074
	ウシ	61	61	61	0. 067
	ウマ	3	2	7	0. 004
	カエル	14	44	44	0. 037
	コイ	0	0	0	0
	ハムスター	0	0	0	0
	合計	1486	1448	1713	
大学名	動物種	使 用 頭 数			学生 1 人当たり 年間使用頭数
		平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年	
日本大学	マウス	436	462	622	1
	ラット	198	198	190	0. 7
	モルモット	0	0	10	0. 07
	ウサギ	0	0	0	0
	ネコ	0	0	0	0
	イヌ	68	66	69	0. 1
	ニワトリ	120	128	108	0. 4
	ヤギ	0	0	0	0
	ヒツジ	0	0	0	0
	ブタ	48	52	48	0. 4
	ウシ	9	9	21	0. 04
	ウマ	2	2	12	0. 05
	カエル	0	0	0	
	コイ	65	65	65	0. 5
	ハムスター	0	0	0	
	ニジマス	0	0	130	1
	キンギョ	0	0	650	5
	ヒラメ	0	0	40	0. 3
	合計	946	982	1965	9. 56

5) 実習用動物の代替応用の有無

大学名	有・無	代替法
酪農学園大学	有	獣医解剖実習では臓器をプラスチックで加工して、立体的に観察できるようにしている。また、臨床繁殖学ではと畜場材料を使用して生殖器の触診実習を行っている。産業動物臨床学もと畜場材料での運動器の外科実習を行っている。予防衛生学では集団の健康管理について実際に農場の動物を使用することなく写真、ビデオ等で代替している部分もある。犬の心肺蘇生実習ではマネキンを使用している。
北里大学	有	下記の模型を使用 「皮膚縫合パット（日本ライトサービス）」 「腸管縫合練習チューブ（Life & Tail）」 「装着式採血静注練習キット（京都科学）」 「犬心肺蘇生練習マネキン（CPR DOG, NASCO）」
日本獣医生命科学大学	有	獣医学科4年次の獣医外科学実習（I, II）において、以下の非生体模型を使用している。 1) 自発呼吸と人工呼吸時に生じる胸腔内圧の変化実習で胸腔・肺の模型を使用。 2) 心肺停止状態の動物への対応として犬ぬいぐるみを使用。 3) 整形外科の基本手技の実習にプラスチック製代替模型を使用。 4) 手術の基本手技の実習に食用鶏肉（市販品）とスポンジを使用
麻布大学	有	- 採血前にレプリカモデルで練習後に生体の実習を行う。 - 搾乳の実習で牛の搾乳用レプリカを使用して代替している。 - タブレット端末(実習手技の動画・画像再生)、模擬動物(ぬいぐるみ)を、デモンストレーション動物の代替として用いる。 牛、馬、豚の等身大レプリカを用いて、骨格、筋肉、臓器の解剖学的位置の理解、病態との関連を学修している。また、それぞれの動物で模擬的な採血や投薬、直腸検査なども体験できるので、生体を利用する前にレプリカとファントム臓器によって手技の確認と習熟を行っている。 - 病理学実習における病理解剖実習は基本的に各種家畜について実施する事が理想であるが、斃死体の計画的入手が物理的に困難であるため、中動物である豚を代替として解剖している。 豚の術式は犬猫と同様であり、これを実施する事により犬猫の病理解剖にも対応できるように説明をしている。
日本大学	有	獣医解剖学実習について、学部附属博物館展示標本（全身骨格、剥製）を教材として利用している。 獣医内科学実習においては、犬型縫いぐるみを使用した保定法の練習、食用鶏肉を使用した皮下および筋肉内注射法の練習、採血モデル、静脈内投与モデルを使用した注射の練習、消化管モデルを使用した消化器内視鏡検査および胃瘻チューブ設置の練習、臓器モデルを使用した超音波および腹腔鏡下による生検法の練習を実施している。 獣医外科学実習においては、まず、スライドおよびビデオで学習する。滅菌や消毒を学ぶ実習では手製の動物腹部の代替モデルを用いる。生体を用いた軟部組織外科実習を行う前に、皮膚縫合パッドを用いて縫合、結紮の実習を行う。また、腸管吻合術については腹部縫合腸管吻合シミュレーションモデル（AAASim、株式会社アレクソン社）を用いて練習することを行っている。

6) 実験動物・実習倫理委員会等の活動状況と組織図

<活動状況>

酪農学園大学

1、動物実験委員会の構成

動物実験委員会規程第2条第2項第1号に掲げる委員：4名

動物実験委員会規程第2条第2項第2号に掲げる委員：3名

動物実験委員会規程第2条第2項第3号に掲げる委員：2名

2、動物実験委員会開催状況

第1回（4月18日）、第2回（5月26日）、第3回（6月30日）、
第4回（7月28日）、第5回（9月14日）、第6回（10月27日）、
第7回（11月24日）、第8回（12月19日）、第9回（1月25日）、
第10回（2月28日）、第11回（3月24日）

3、2016年度動物実験計画書等の審査・承認状況

動物実験計画書	: 94 件
動物実験計画（変更・更新）承認申請書	: 37 件
動物実験結果報告書	: 86 件
飼養保管施設設置（新規・変更・更新）承認申請書	: 0 件
施設等（飼養保管施設・実験室）廃止届	: 0 件

4、2016年度動物実験教育訓練実施状況

実施回数：2回

参加人数：合計 276 人

5、その他

2016年度より、3人の外部委員を委嘱し、年度内2回の委員会に出席していただいた。

公私立大学実験動物施設協議会へ加盟し、2018年度に外部検証を受審することを目指して準備を進めている。

基本指針への適合性に関する自己点検・評価の実施及び関連事項の情報公開を実施している。

6、参考

- ・ 動物の安楽死に関する指針（2009年4月制定、2015年2月改正）
- ・ 酪農学園大学動物実験委員会規程（2008年4月制定、2016年4月改正）
- ・ 酪農学園大学における動物実験について（2008年4月制定、2015年2月改正）
- ・ 酪農学園大学動物実験指針（2008年4月制定、2012年10月改正）
- ・ 酪農学園大学実験動物の飼養及び保管に関する基準（2012年4月1日制定）

北里大学

1. 動物実験に関する学部等の内部規則について

基本指針に適合する機関内規程が定められている。

- ・北里大学遺伝子組換え実験安全委員会規程（昭和 57 年 4 月 1 日制定）
- ・北里大学バイオセーフティ委員会規程（平成 6 年 12 月 16 日制定）
- ・北里大学獣医学部放射線障害予防規程（平成 22 年 9 月 13 日）
- ・北里大学における動物実験等に関する規程（平成 20 年 7 月 4 日制定）
- ・北里大学獣医学部における動物実験等に関する規程（平成 22 年 12 月 15 日制定）
- ・北里大学獣医学部動物実験委員会規程（平成 22 年 12 月 15 日制定）
- ・北里大学獣医学部動物実験倫理委員会規程（平成 22 年 12 月 15 日制定）
- ・北里大学獣医学部動物実験施設等管理委員会規程（平成 22 年 12 月 15 日制定）
- ・北里大学獣医学部動物実験施設 SOP（平成 27 年 4 月 1 日制定，平成 29 年度 1 月 25 日改訂）

2. 学部動物実験倫理委員会について

基本指針に適合する動物実験倫理委員会が置かれている。

平成 28 年度はメールによる委員会を含み 10 回開催。

委員構成：獣医学科教員 10 名、動物資源科学科教員 5 名、事務 1 名

【関連資料】

- ・北里大学獣医学部動物実験計画書作成マニュアル
- ・北里大学獣医学部麻酔・鎮痛・安楽殺マニュアル
- ・北里大学獣医学部苦痛カテゴリー検索表
- ・北里大学獣医学部胎児・新生児の鎮痛・麻酔及び安楽殺の基準
- ・北里大学獣医学部投与量・採血量の基準
- ・平成 28 年度動物実験・実習計画書（164 件）
- ・平成 28 年度動物実験・実習計画書審査議事録

日本獣医生命科学大学

本学では、生命科学共同研究施設管理運営委員会、動物実験委員会、生命倫理委員会の 3 委員会を組織して、学内で行われる動物実験（実習および研究活動）が、「動物の愛護及び管理に関する法律」や文部科学省告示の「動物実験に関する基本的考え方」、その他関係法令等に適合した内容で適正に実施されていることを評価している。

活動状況：

- 1) 上記 3 委員会共同開催による「動物実験および生命科学共同研究施設利用者講習会」を開催し（3 回）、動物実験に関わる教職員・学生への教育訓練を行っている
- 2) 動物実験委員会と生命倫理委員会によって、本学で行われる全ての動物実験の研究計画書を審査している。
- 3) 生命科学共同研究施設管理運営委員会と動物実験委員会によって、本学における全ての動物実験施設ならびに動物飼養管理施設の承認を行っている。

麻布大学

本学では動物実験指針（1989 年制定、最終改正 2010 年）に従い、動物実験委員会を設置（1989 年制定、最終改正 2007 年）し、実験動物福祉、倫理的動物実験の実施を進めている。動物実験については、実施に先立ち動物実験等計画申請書、動物実験等計画書及び当該動物実験等の倫理性に関する自己評価の提出を義務づけている。計画書等の審査は随時受け付けており、3Rs、5 Freedoms の観点から動物実験について審査している。特に苦痛の軽減処置、人道的エンドポイントの設定基準、安楽死の方法は審査の注目点としている。計画書等の審査は、「麻布大学動物実験委員会規則」に則り、実験動物学、毒性学、微生物学、臨床獣医師、分子生物学、生物学（組換え生物・遺伝子改変動物）、法学の各専門家に加え、本学役職者で構成し、「麻布大学動物実験指針」に基づき厳格な審査を実施している。また、審査の他に、年 3～4 回の動物実験委員会教育訓練、教育講演を実施し、欧米における動物実験環境が厳しさをましていることを教育するとともに、倫理的な動物実験の実施を啓発している。

動物実験委員会は学長の下、動物実験委員会委員長、獣医学部の各学科長 2 人及び獣医学研究科専攻主任 2 人、生命・環境科学部の各学科長 3 人及び環境保健学研究科専攻主任 2 人のほか、大動物臨床専門教員、小動物臨床専門教員、家畜並びに実験動物福祉専門の教員、法学教員、微生物学教員、薬理学毒性学教員、生物学教員、組換え DNA 実験教員の計 18 人で構成されている。

計画書等の審査は随時受付けており、委員長はその全てについて一次審査した後、委員を 3 班に分け、持ち回りによる各委員の二次審査を行っている。適切な動物実験の実施の意識も高くなっており、計画書等の申請件数は、年間 200 件前後となっている。

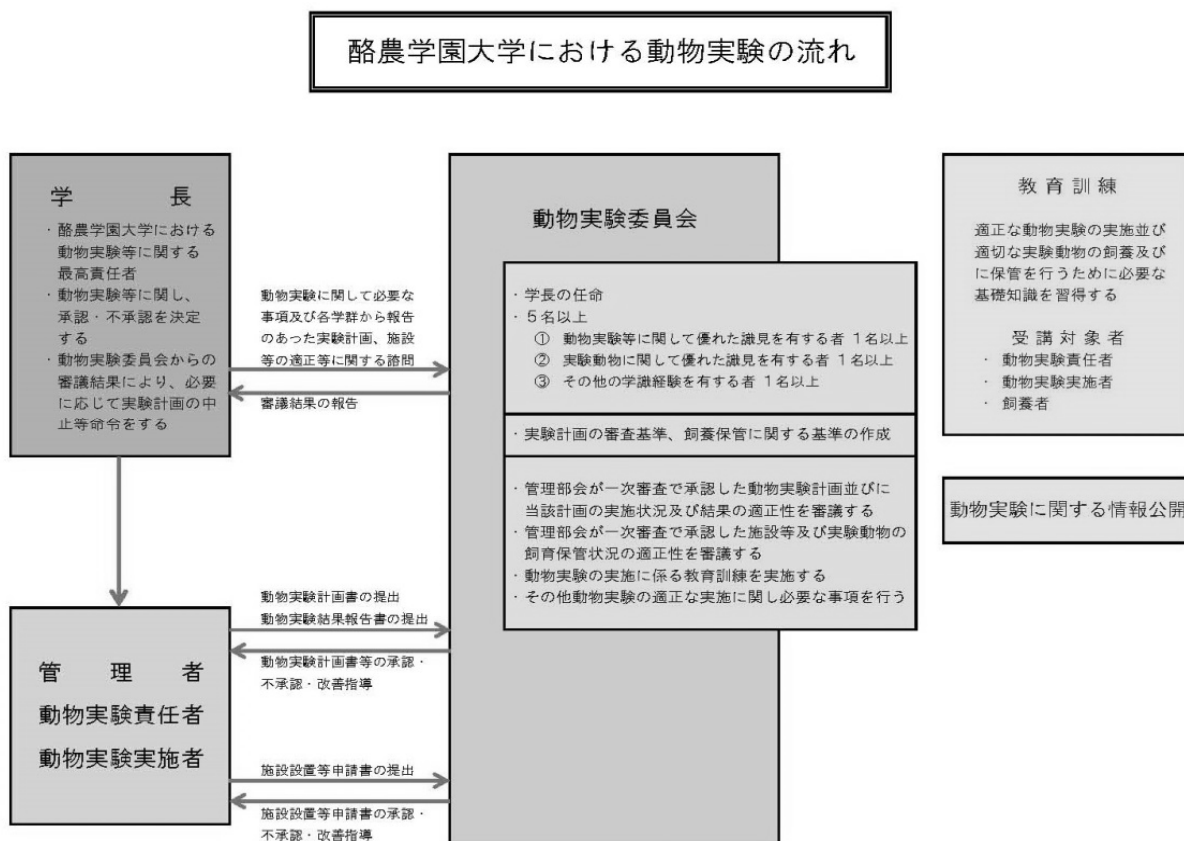
日本大学

動物を使用した実験および実習を行う場合には、事前に動物実験計画書を学部動物実験委員会に提出する必要がある。学部動物実験委員会は毎月 2 回審査委員会を開催し、提出された動物実験委員会を審査、承認作業を行う。学部で承認された動物実験計画書は、さらに日本大学本部動物実験委員会に上程され審査、承認を受けることとなっている。その他に学部動物実験委員会は、実験施設および動物飼養保管施設の審査、承認作業も担当している。

規定については、「日本大学動物実験運営内規」を平成 21 年 3 月に制定。

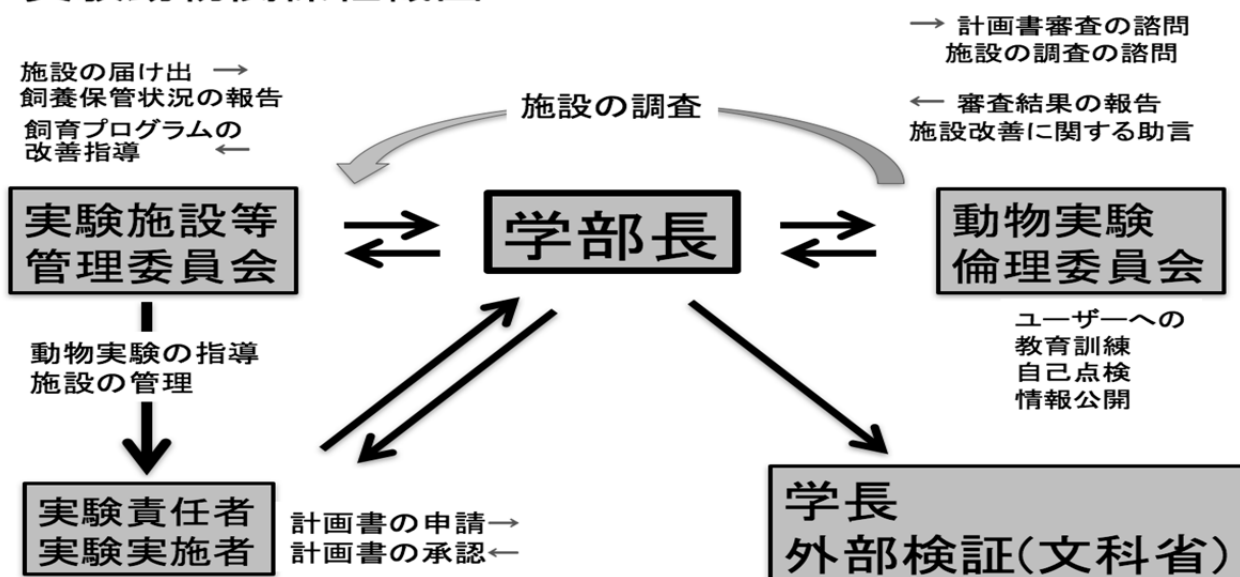
<組織図>

酪農学園大学



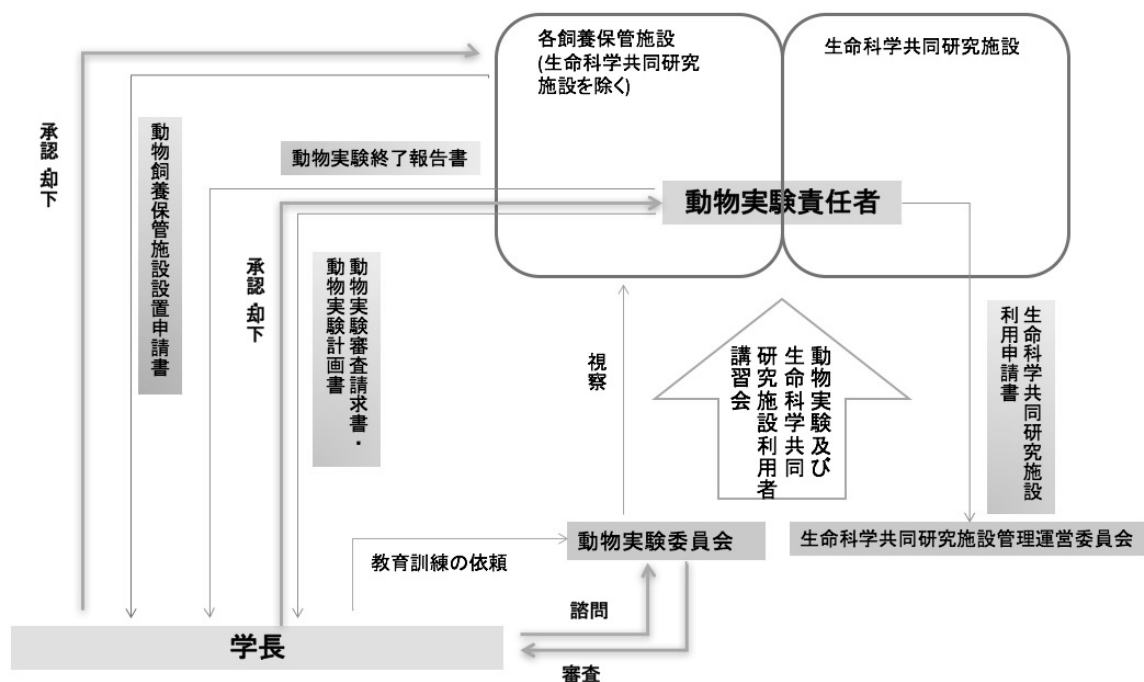
北里大学

実験動物関係組織図



日本獣医生命科学大学

本学における動物実験に関する委員会等の組織図

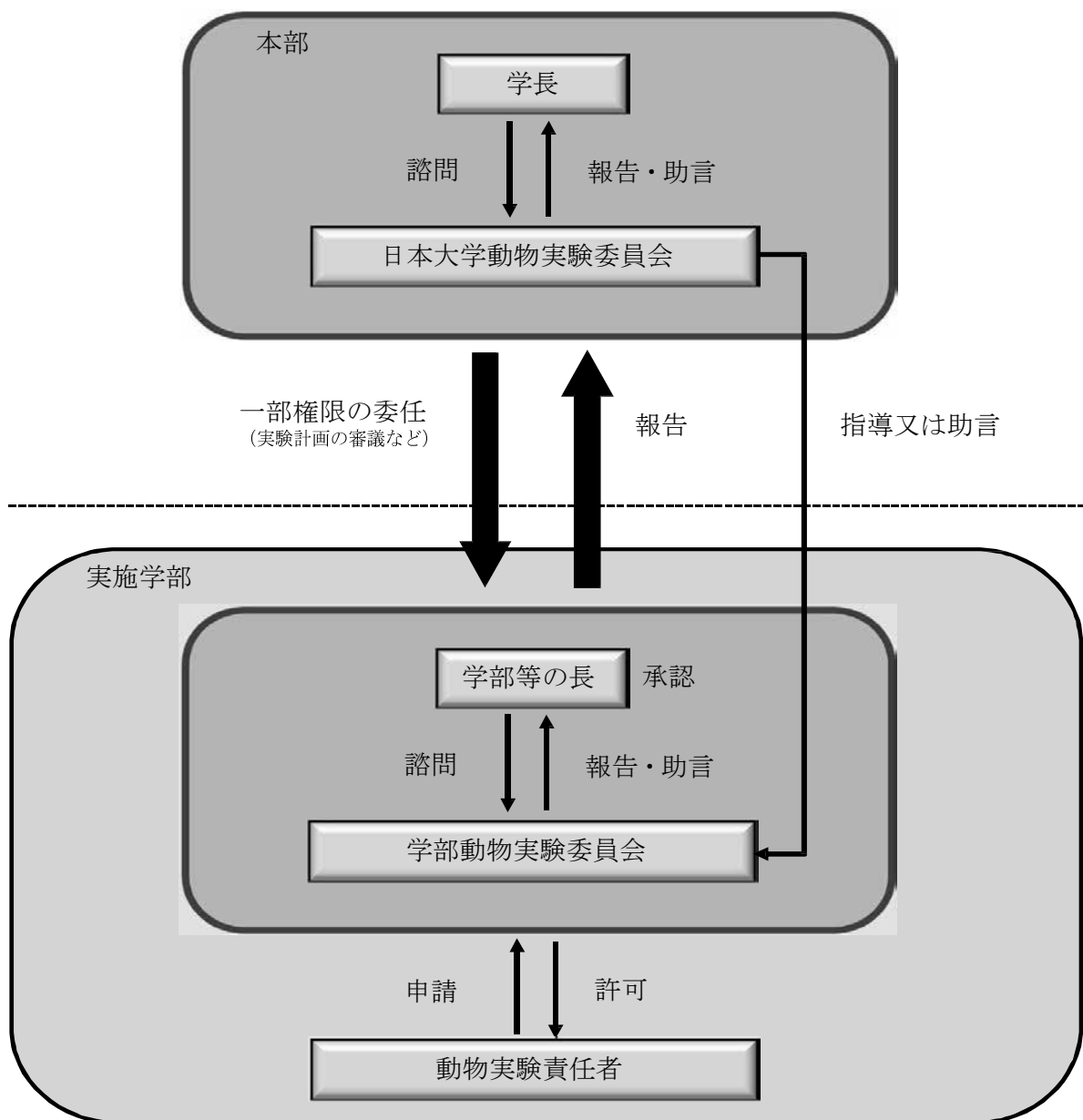


麻布大学

学 長

動物実験委員会委員長（実験動物関係）

- 動物実験委員会委員
委員の構成（17人）
- 【獣医学部, 生命・環境科学部の各学科長】
 - ・獣医学科長
 - ・動物応用科学科長
 - ・臨床検査技術学科長
 - ・食品生命科学科長
 - ・環境科学科長
 - 【大学院獣医学研究科, 環境保健学研究科の各専攻主任】
 - ・獣医学研究科獣医学専攻主任
 - ・獣医学研究科動物応用科学専攻主任
 - ・環境保健学研究科環境保健科学専攻主任
 - 【学長が特に必要と認めた者】
 - ・化学物質関係
 - ・微生物関係
 - ・臨床関係
 - ・生物関係
 - ・寄生虫関係
 - ・組換えDNA関係
 - ・動物福祉関係



名 称		所 在 地
本 部		東京都千代田区九段南4-8-24
実 施 学 部	文 理 学 部	東京都世田谷区桜上水3-25-40
	国 際 関 係 学 部 (短 期 大 学 部)	静岡県三島市文教町2-31-145
	生 産 工 学 部	千葉県習志野市泉町 1-2-1
	工 学 部	福島県郡山市田村町徳定字中河原1
	医 学 部	東京都板橋区大谷口上町30-1
	歯 学 部	東京都千代田区神田駿河台 1-8-13
	松 戸 歯 学 部	千葉県松戸市栄町西2-870-1
	生 物 資 源 科 学 部	神奈川県藤沢市亀井野1866
	薬 学 部	千葉県船橋市習志野台7-7-1

7) 卒業論文(課題研究)の有無

大学名	有・無	卒業論文
酪農学園 大学	有	生体機能学分野、感染病理学分野、衛生環境学分野の3分野では、専修教育として、これまでと同様の卒論が分野実習と基礎実験として実施されている。評価に関しては各分野毎に研究遂行能力が学会発表等も含めて総合的に判断される。
	無	伴侶動物医療学分野および生産動物医療学分野では、専修教育として、クリニカルローテーションとアドバンスコースで構成されており、いわゆる卒業論文に匹敵する科目とはなっていないが、アドバンスコースにおいて、基礎研究、臨床研究、および症例検討等に関する研究報告会は開催されている。また、伴侶動物医療学分野では、アドバンスコースでの研究内容について研究論文を作成する。 カリキュラムは2008年度入学者から変更された。
北里大学	有	卒業論文は4年次後期から6年次後期まで行い、卒業論文が終了する6年次に8単位を認定します。研究室内での共同作業等へ取り組む姿勢(10%)、卒業論文に取り組む姿勢(10%)、実験研究の進め方(10%)、論文作成(10%)、卒業論文のプレゼンテーション(30%)から評価します。 テーマの決定から実験・研究・調査の進め方、文献(成書・雑誌・資料)の探し方、そして抄読すること等を学び、学生同士の協力や情報交換などバラバラになりがちな知識を総合的に考え、まとめあげることが目標とし、今後も実施していく予定です。
日本獣医 生命科学 大学	有	卒業論文は(6単位)、6年間の講義と実習で身につけた知識と技術をもとに実証研究のアプローチの仕方を修得することを目的にしている。 学生は、3年次より研究室に所属し、卒業時まで継続的に、各研究室で行われている臨床診断や研究活動に参画して、実験法及び診断・治療法とその手技を身につける。さらに、教員の直接指導のもとで高度な専門知識を修得するとともに、個別のテーマが与えられ、卒業論文作成を行う。卒業論文については、学科内で要旨の縦覧をし、各研究室単位で、段階評価を行っている。
麻布大学	有	評価方法は卒論指導教員が評価する。評価の時点では課題探求能力に関する評価方法は行っていない。今後の取扱も同様である。
日本大学	有	学生は4年次から獣医学科の研究室に配属され、各研究室の教員による指導の下に課題と到達目標を決められて、卒業研究を行う。6年次に卒業論文を纏めると、卒業論文発表会にて発表を行うことで評価がなされる。課題研究能力の評価に関しては、指導教員に委ねられている。 今後も卒業研究は継続されるが、従来は主として実験を伴う研究が遂行されていたが、臨床系においては、臨床ケース報告でも評価を行うことが考えられている。

8) カリキュラムマップ（授業科目の年次配当）とシラバス

＜カリキュラムマップ等＞

酪農学園大学

授業科目履修年次配当表

酪農学園大学 獣医学類

科目区分		2015年度カリキュラム (新カリ)											
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	必修	選択	単位	履修	単位	履修
専門基礎科目 2単位以上	動物倫理・動物福祉学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	国際関係・メディア・コミュニケーションの科学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	循環農法とアンヘル・サイエンス	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	人と動物の関心の科学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	観光と地域振興の科学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	GIS・リモートセンシングによる環境情報の科学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	エンロピーから見たエネルギーの科学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	食の安全・安心の科学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	全学専門基礎特別演習	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	獣医解剖学A	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
専門基礎科目 2単位以上	獣医解剖学B	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医細胞学A	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医細胞学B	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	分子遺伝学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医生化学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医生化学実験	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	獣医生化学実験A	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医生化学実験B	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	栄養生理学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医生理学A	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
専門基礎科目 2単位以上	獣医生理学B	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医薬理学A	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医薬理学B	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医薬理学実験	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	獣医薬理学実験A	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医薬理学実験B	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	動物行動学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医ウイルス学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医ウイルス学実験	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	獣医細菌学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
専門基礎科目 2単位以上	獣医細菌学実験	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	獣医細菌学実験A	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医細菌学実験B	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	動物感染学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医寄生虫学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医寄生虫学実験	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	魚病学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	実験動物学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	実験動物学実験	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	獣医病理学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
専門基礎科目 2単位以上	獣医病理学実験	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	獣医病理学実験A	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医病理学実験B	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医免疫学	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医免疫学実験	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	獣医免疫学実験A	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医免疫学実験B	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医免疫学実験C	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医免疫学実験D	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	獣医免疫学実験E	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

授業科目履修年次配当表

酪農学園大学 獣医学類

科目区分		2015年度カリキュラム (新カリ)											
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	必修	選択	単位	履修	単位	履修
専門基礎科目 2単位以上	建築図論	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	建築図論II	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論III	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論IV	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論V	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論VI	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論VII	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論VIII	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論IX	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論X	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
専門基礎科目 2単位以上	建築図論XI	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XII	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XIII	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XIV	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XV	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XVI	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XVII	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XVIII	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XIX	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XX	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
専門基礎科目 2単位以上	建築図論XXI	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XXII	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XXIII	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XXIV	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XXV	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XXVI	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XXVII	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XXVIII	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XXIX	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	建築図論XXX	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

授業科目履修年次配当表

臨農学園大学 獣医学類

2015年度カリキュラム (新カリ)														
科目区分	授業科目	必修 数	開 講 年 次											
			1年		2年		3年		4年		5年		6年	
			前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後
衛生・環境医学分野 27単位	公衆衛生学総論	2	②											
	動物衛生学総論	2	②					2						
	食品衛生学	2	②					2						
	食品衛生学実習	1	①					3						
	環境衛生学	2	②						2					
	毒性学	2	②							2				
	環境衛生・毒性学実習	1	①							3				
	人獣共通感染症学	4	④							4				
	獣疫学	2	②							2				
	人獣共通感染症学・獣疫学実習	1	①								3			
	獣疫衛生学	2	②							2				
	獣疫衛生学実習	1	①								3			
	ハードヘルズ学	2	②									2		
	ハードヘルズ学実習	1	①										3	
生産動物医学分野 15単位	野生動物医学	2	②											
	産業動物臨床学A	2	②						2					
	産業動物臨床学B	2	②							2				
	馬・中小家畜臨床学	2	②									2		
	産業動物外科学	2	②										2	
	臨床繁殖学A	2	②							2				
	臨床繁殖学B	2	②								2			
	産業動物臨床実習A	1	①										3	
	産業動物臨床実習B	1	①											3
	臨床繁殖学実習	1	①								3			
	獣医臨床基礎演習	1	①									3		
	臨床学総論	2	②					2						
	臨床病理学A	2	②						2					
	臨床病理学B	2	②							2				
伴侶動物医学分野 38単位	伴侶獣理学	2	②											
	伴侶動物内科学各論A	2	②											
	伴侶動物内科学各論B	2	②						2					
	伴侶動物内科学各論C	2	②					2						
	手術学総論	2	②							2				
	伴侶動物外科学各論A	2	②								2			
	獣医麻酔管理理学	2	②						2					
	伴侶動物外科学各論B	2	②									2		
	伴侶動物外科学各論C	2	②										2	
	獣医臨床腫瘍学	2	②										2	
	画像診断学A	2	②										2	
	画像診断学B	2	②											2
	伴侶動物内科学実習	1	①								3			
	獣医麻酔管理理学実習	1	①									3		
	伴侶動物外科学実習	1	①										3	
	画像診断学実習	1	①											3
クリニカルローテーション	3	③												9

授業科目履修年次配当表

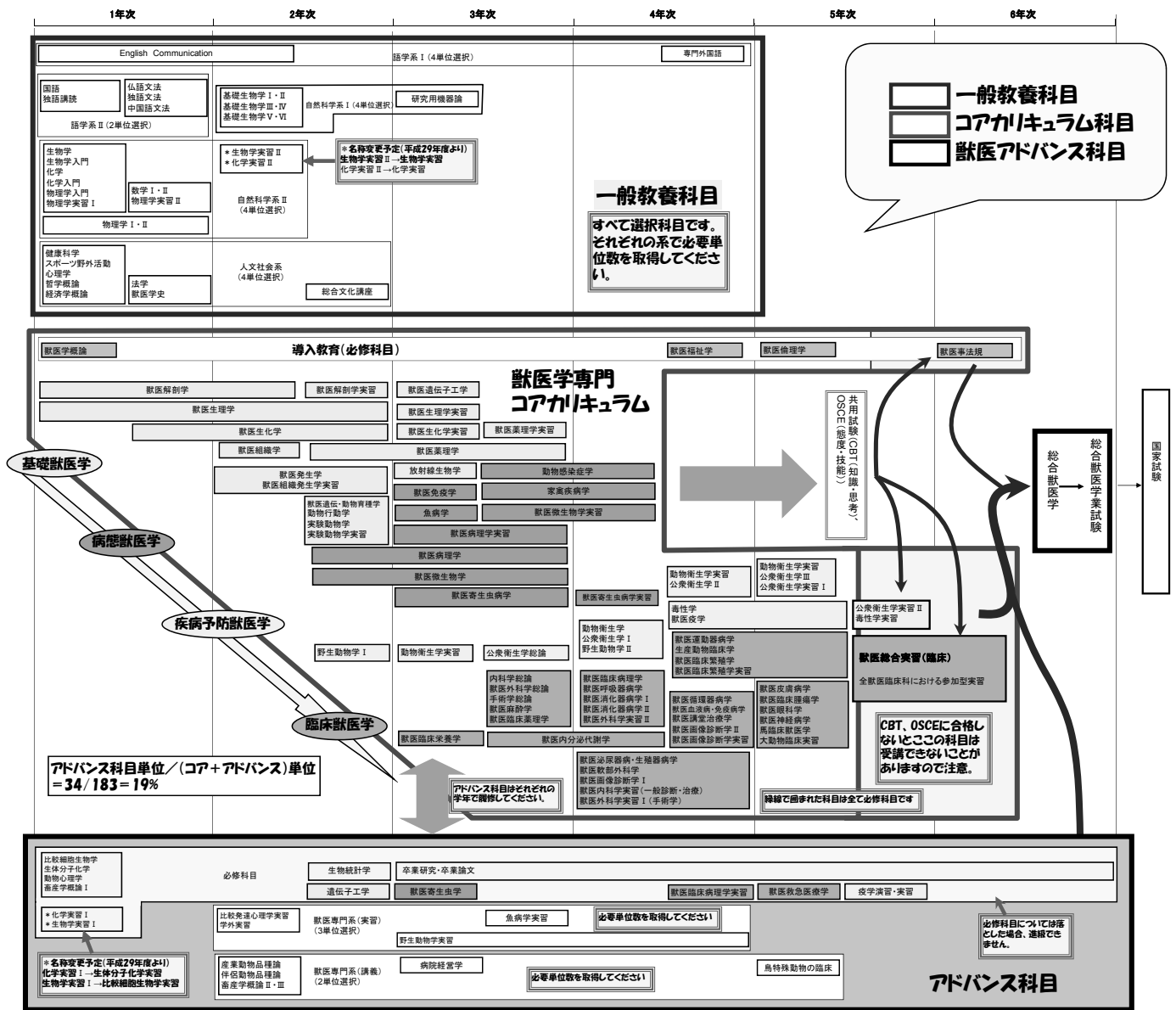
臨農学園大学 獣医学類

2015年度カリキュラム (新カリ)														
科目区分	授業科目	必修 単 位 数	開 講 年 次											
			1年 前	1年 後	2年 前	2年 後	3年 前	3年 後	4年 前	4年 後	5年 前	5年 後	6年 前	6年 後
獣医学分野 15単位	統合獣医学	8	⑧											8
	獣医臨床法規	2	②									2		
	中獣医学													
	学外実習	1	①								3			2
	研究発表	1	①								2			
	病歴実習必修コース	1	①											
	生体機能学演習	2	②									1	1	
	生体機能学特論	2	②									2		
	生体機能学実習	2	②									3	3	
	生体機能学基礎実験	4	④									6	6	
	感染病理学演習	2	②									1	1	
	感染病理学特論	2	②									2		
	感染病理学実習	2	②									3	3	
	感染病理学基礎実験	4	④									6	6	
生産動物医学分野 15単位	衛生環境学演習	2	②									1	1	
	衛生環境学特論	2	②									2		
	衛生環境学実習	2	②									3	3	
	衛生環境学基礎実験	4	④									6	6	
	衛生環境学演習	2	②									1	1	
	衛生環境学特論	2	②									2		
	衛生環境学実習	2	②									3	3	
	衛生環境学基礎実験	4	④									6	6	
	衛生環境学演習	2	②									15		
	生産動物医療クリニカルローテーション	5	⑤											15
	生産動物医療アドバンスコース	5	⑤											
	伴侶動物医療クリニカルローテーション	5	⑤											15
	伴侶動物医療アドバンスコース	5	⑤											
	他学部他学類科目													
自由科目	他学部他学類科目													

獣医師国家試験									
総合獣医学									
卒業論文発表会									
共用試験									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物総合臨床実習Ⅱ、小動物総合臨床実習Ⅲ、小動物総合臨床実習Ⅳ									
小動物参加加型臨床実習Ⅰ、小動物									

日本獣医生命科学大学

獣医学部獣医学科 カリキュラムマップ 2015.4

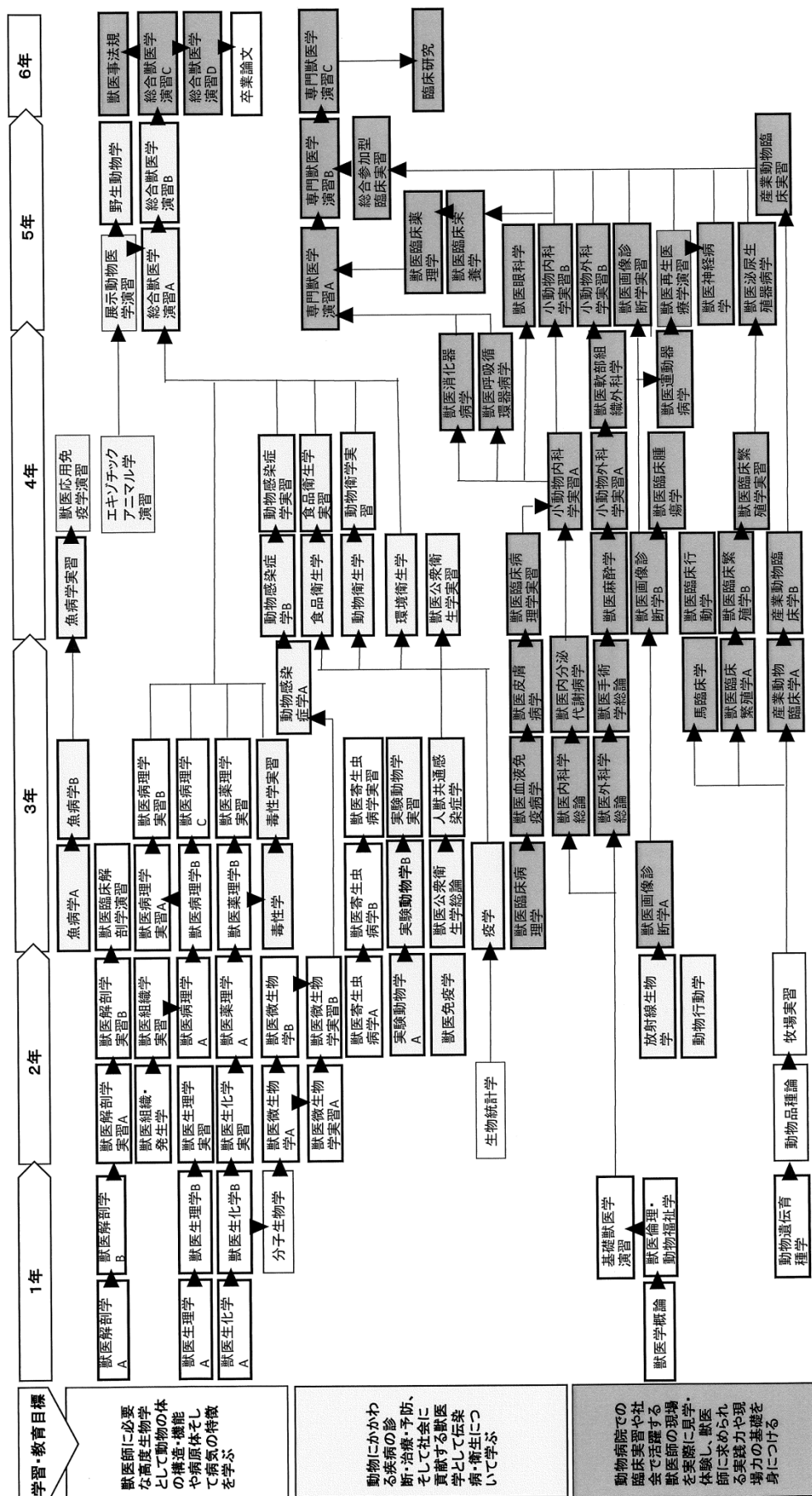


麻布大学

カリキュラムマップは、カリキュラム年度毎に作成の上、本学 HP 上で公開している。

参照) 【カリキュラムマップ HP アドレス】

<http://www.azabu-u.ac.jp/for/student/guide/index.html>



<シラバス>

酪農学園大学

HP で公開

<https://unipa-ap.rakuno.ac.jp/up/faces/up/co/Com02401A.jsp>

北里大学

毎年、冊子状のシラバスを本学部該当学科の学生全員に配布している。また、HP に掲出している。

<https://www.kitasato-u.ac.jp/vmas/class/undergraduate/curriculum/>

日本獣医生命科学大学

HP でのみ閲覧可能

<http://www.nvlu.ac.jp/faculty/016.html/>

麻布大学

本学では、シラバスを HP 上に掲載すると共に、新入生のオリエンテーション及び在学者のガイダンスで周知している。

参照) 【シラバス HP アドレス】

<http://syllabus.azabu-u.ac.jp/web/show.php>

日本大学

HP で閲覧可能

<http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~syllabus/DATA/nubs/03vmc.html>

9) 単位互換制度の有無

大学名	有・無	活動状況や単位認定方法
酪農学園大学	有	世界展開力強化事業における単位互換をタイのカセサート大学と実施している。 2016年度は本学から10名の学生を派遣し、カセサート大学で修得した単位を本学の単位として7単位認定している。
北里大学	有	①本学他学部での単位互換制度 本学では、他学部他学科専攻の授業科目を履修できる制度を実施しています。対象となる学部は、薬学部、獣医学部、海洋生命科学部、看護学部、理学部、医療衛生学部です。この制度は、同一キャンパス内に複数の学部が置かれているという好条件のもとで、学部間の交流、協力を通じて教育課程の充実を図るとともに、学生の幅広い視野の育成と学習意欲の向上を図ることを目的とするものです。履修できる学生は対象となる学部の全学科の1年（後期）～6年であり、履修できる科目数・単位数の制限はありません。また、授業や試験は開講する学部の教務暦や基準に定めるところにより実施し、評価されます。他学部で履修する科目は獣医学4群科目の自由科目として扱い、修得した単位は卒業要件単位に含めません。 ②他大学との単位互換制度 平成11年から発足した「首都圏西部大学単位互換」は、地域の大学・短期大学が相互に単位互換協定を締結し、これらの大学に所属する学生が、他の大学の授業科目を履修しそこで取得した単位を、その学生が所属する大学の単位として認定するものです。参加大学は単位互換科目として、それぞれ特色ある授業科目や、他の大学にはないユニークな授業科目が提供され、学生の興味・関心に応じた授業を行っています。また、参加大学の連携により各大学の講師がオムニバス形式で授業を実施する共同授業も平成13年から開設されています。 参加大学は18大学であり、履修できる学生は1年（後期）、科目数や単位数の制限はありません。
日本獣医生命科学大学	無	
麻布大学	無	
日本大学	無	

10) 他大学および他施設との教育協力体制の有無

大学名	有・無	活動状況
酪農学園大学	有	北海道のえんゆう地区（遠軽町、湧別町、佐呂間町）と地域総合交流に関する協定書に基づき、本学の参加型臨床実習を実施している。遠軽町に拠点となる宿泊施設があり、ここを拠点に、オホーツク農業共済組合の家畜診療所の診療に参加し、生産現場において臨床獣医師として要求される問題解決能力を養う。 また、北海道と当大学との包括協定の中で、生産動物医療学分野、感染病理学分野、衛生環境学分野の実学教育に関する教育協力体制を構築してきている。いくつかの講義、実習の協力を得ている。
北里大学	有	平成 28 年度に青森 Nosai と学術協定を締結し、Nosai 獣医師による学外実習支援並びに産業動物に関わる講義・講演会などを連携して実施することを計画しています。 共同研究については、多くの研究室が「経常費補助金特別補助「大学間連携等による共同研究」に、国内の大学などの研究教育施設と契約書を取り交わし、補助金を頂いて実施しています。
日本獣医生命科学大学	有	獣医学科としては山形県農業共済組合連合会・群馬県・麻布大学・公益社団法人日本動物病院協会の 4 機関と連携協力に関する協定を締結している。各機関の主な活動状況はつぎのようになっている。 山形県農業共済組合連合会：獣医学科と山形県農業共済組合連合会は、両機関が行う教育・研究・診療活動全般における連携及び交流を図り、相互の一層の進展と高度な専門技術を持つ獣医師の養成・確保に資することを目的とし、連携協力事業としては獣医臨床教育及び学生の実習受け入れに関することなどの事項が盛り込まれており、学外実習において施設等を利用し産業動物とのふれあいを通じ、NOSAI 獣医師の役割を理解してもらうよう体制を整えている。 群馬県：獣医学科と群馬県が包括的な連携のもと相互に協力し、群馬県の野生動物対策に係る専門的な人材の育成と大学の野生動物に係る教育研究活動の円滑な推進を図り、もって人と野生動物との共生の道を探り、地域の農林水産業の振興や自然環境の保全に資することを目的とし、連携協力事項としては県職員（市町村職員等を含む）の専門的研修に関することなどの事項が盛り込まれており、学外実習などを通して公務員獣医師としての役割を学ぶことが出来るよう環境を整備している。 麻布大学：教育研究に関する施設・設備の共同利用、共同研究の推進及び教職員の資質向上を図るための各種研修の共同実施を行う双方が、相互の連携協力の下で実施し、もって大学運営の効率化の一助に寄与することを目的とし、連携協力事項としては教育研究に関する施設・設備の共同利用に関することなどの事項が盛り込まれており、研修などを通してお互い切磋琢磨し知識の向上を図れるよう設定している。 公益社団法人日本動物病院協会：独自の活動を行う双方が、相互の連携の下で学術及び人的交流を通じ、学術の振興と人材育成を図り、もって社会に貢献することを目的とし、連携協力事項としては、学部学生並びに大学院生等（研修獣医師、研修動物看護師を含む）の研修や実習に関することなどの事項が盛り込まれており、教室の貸し出しや学生と教職員のセミナーへの参加料を免除するなどして、広く知識習得の場を設けている。
麻布大学	有	獣医学科 2 年次前期配当科目「牧場実習」の実習先として、日本獣医生命科学大学富士アニマルファームの施設を、教育連携を視野に入れた試みと位置づけ、学生の受入れを依頼している。
日本大学	有	獣医学科 1 年次配当科目「牧場実習」で東大牧場に受入を依頼している。

11) 卒後教育および生涯教育制度の有無

大学名	有・無	活動状況
酪農学園大学	有	本学の獣医学群が中心となり「大動物臨床教育セミナー」を、卒後臨床教育事業として開催。2008 年度から大動物臨床研究会とエクステンションセンターとの合同企画「大動物継続教育合同セミナー」として、同研究会が運営の中心となる「大動物臨床研究会特別セミナー」とエクステンションセンターが運営の中心となる「大動物臨床教育セミナー」を 2 日間のセミナーとして開催している。「大動物臨床教育セミナー」は 2017 年度で 21 回目となる。小動物臨床分野では、本学附属動物医療センター主催で近隣の小動物臨床獣医師を対象とした伴侶動物医療セミナーを隔月で開催している。また、伴侶動物医療学分野では、酪小獣（小動物臨床に従事する本学同窓生の職域交友会）の 7 地域（麦の会、近畿、地塩の会、東北、九州、四国、中国）で開催される講習会の講師として教員を派遣している。
北里大学	有	学内に卒後教育委員会を設置し、白金キャンパスを利用し、小動物臨床を中心とした講演会・技術講習会を実施しています。現在、白金キャンパスにおいて新棟建設中（平成 29 年 9 月竣工）であり、施設利用が出来ない状況となっておりますが、来年度から再開予定です。
日本獣医生命科学大学	有	臨床研修制度：研修期間 1 年間の前期研修プログラムと 2 年間の後期研修プログラムが用意されており合計 3 年間の臨床研修を受けることができるようになっている。前期および後期 1 年目の研修はローテーション方式で行われ、後期 2 年目はローテーション方式あるいは希望に応じて内科系あるいは外科系の診療科に特化して研修を受けることができる。 研究生・研修生制度：教員の指導をうけて特定の専門技術の研究に従事する（研究生）または研修を受ける（研修生）ことができる。 研究・研修内容は、希望に応じて各研究室での研究のほか動物医療センターでの診療研修を含め、担当教員と相談のうえ半年または 1 年間のプログラムを決定し、受けることができる。
麻布大学	有	自らの教育研究の理念としてし、「人と動物と環境の共生をめざして」の中で、人、動物、環境をテーマに教育と研究を実施し、さまざまな問題に取り組み、それらを通して本学に蓄積された豊かな人材と研究成果を広く社会に公表し、社会に貢献するという趣旨で、『麻布大学発の卒後教育セミナー』を開催した。 開催地：福岡国際会議場中会議室 開催日時：平成 28 年 2 月 21 日（日） 13 時～17 時 セミナー 1：『やさしい実践獣医眼科臨床：デジカメによる前眼部撮影と iPhone による眼底撮影と、そして。。。』 セミナー 2：『ヒトとイヌ、共生の歴史が生んだ心のつながり』 セミナー 3：『激動期の産業動物関係獣医師に求められること』
日本大学	有	近隣の獣医師との交流を図り卒後教育として利用して頂くため、また研修医に対し高度な知識や技量、経験を養うための研修プログラムの一つとして、毎月 1 回、学内外の臨床医を講師とした教育講演などのセミナーを、付属動物病院主催のセミナー（ANME C セミナー）として開催している。本セミナーは日本獣医師会の獣医師生涯研修プログラムとしての認定も受けており、開催回数も既に 240 回を超えている。

12) 学生の海外研修制度の有無

大学名	有・無	学生の海外研修制度
酪農学園大学	有	<活動状況> ・米国フィンドレー大学（春休み3週間、アニマルハンドリング） 6名 ・タイ・カセサート大学（3カ月、獣医臨床実習） 10名 <国際交流の協定校で、海外研修を受け入れている大学とその人数> ・米国・フィンドレー大学（3週間、アニマルハンドリング） 6名 ・タイ・カセサート大学（1.5カ月、獣医臨床実習） 20名 ・タイ・コンケン大学（3カ月、獣医学実習） 2名 ・台湾・中興大学（3週間、獣医学実習） 4名
北里大学	有	<活動状況> 本学では「海外獣医学研修」を実施しています。本学の協定校には米国3大学（パーデュー大学、テネシー大学、ジョージア大学）、中国の吉林大学、韓国の建国大学、タイのマハナコン工科大学があります。参加を希望する獣医学科の学生は協定校のいずれかにおいて、5年次に夏期海外研修として2週間の臨床実習を行います。この研修は学外実習の単位としても認定されます。また、協定校から教員を招聘し、特別講義やセミナーを担当します。協定校からの研修生も受け入れており学内で北里大学生との交流の機会があります。
日本獣医生命科学大学	有	<活動状況> 海外学術交流協定校の協力のもと、2週間から1ヶ月間の短期海外研修プログラムを複数実施しており、単位認定を行っている。 ・タイ実習（チェンマイ大学、コンケン大学、カセサート大学） ・オーストラリア実習（クイーンズランド大学） ・台湾実習（中興大学） <国際交流の協定校で、海外研修を受け入れている大学とその人数> 【平成28年度実績】 ・クイーンズランド大学（豪州）：5名 ・中興大学（台湾）：4名 ・全南大学（韓国）：4名 ・マッセイ大学（ニュージーランド）：2名

大学名	有・無	学生の海外研修制度
麻布大学	有	<活動状況> 本学では、夏期休暇を利用し約 2 週間、以下の学術交流協定校に学生を派遣しており、参加学生は、合計 10 日間に渡り各協定校の特色ある研修を受けている。 ペンシルヴァニア大学(アメリカ合衆国) 最大 14 人 ベルン大学(スイス連邦) 最大 3 人 国立台湾大学(台湾) 最大 4 人 国立中興大学(台湾) 最大 4 人 北京農学院(中華人民共和国) 最大 4 人 海外研修に参加する学生は、渡航前に 2 か月間に渡りインターネット英会話による語学の訓練を行うとともに、帰国後は、報告書を提出するほか、各自が協定校で学んできたことを取りまとめ、11 月～12 月に行われる「帰国報告会」において英語によるプレゼンテーションを行うこととしている。 <国際交流の協定校で、海外研修を受け入れている大学とその人数> ベルン大学(スイス連邦) 最大 3 人 国立台湾大学(台湾) 最大 4 人 国立中興大学(台湾) 最大 4 人 チェンマイ大学(タイ王国) 最大 1 人(先方から派遣される若手教員) 北京農学院(中華人民共和国) 最大 4 人
日本大学	有	<活動状況> 1) 日本大学では全学生を対象としたイギリス、アメリカ、オーストラリアでの短期海外研修制度を設けている。本学学務部国際交流課が学生への募集ならびに選抜(書類審査と面接による)を行い、サマースクールとし 8 月～9 月またはスプリングスクールとし 2 月～3 月に実施し、英語のスキルアップとともに、多民族社会・文化に直接接触れることにより、グローバル社会に必要なコミュニケーション力強化や異文化理解を身につける研修内容となっている。 2) また各学部各学科において独自の短期海外研修プログラムも実施している。獣医学科では学部 5 年生を対象として 7 月～9 月の夏休み期間を利用して、アメリカのワシントン州立大学獣医学部にて「夏期獣医臨床研修」を企画し、毎年 20 名から 40 名の参加希望者がある。現地の学生とともにシミュレーターやモデルを使った獣医療技術のハンズオントレーニングや動物病院における診療に参加する研修内容となっている。 <国際交流の協定校で、海外研修を受け入れている大学とその人数> 1) ケンブリッジ大学ペンブルックカレッジ(イギリス) 70 名 2) エリザベスタウン・カレッジ(アメリカ) 20 名 3) ボンド大学附属英語研修機関(オーストラリア) 20 名 4) ワシントン州立大学獣医学部 40 名

13) 共用試験の実施時期とその準備状況

酪農学園大学

実施時期は、A 日程 2 月下旬。

共用試験の準備には、学群内に共用試験対応委員会が組織され、共用試験統括責任者、vetCBT 担当責任者、vetOSCE 担当責任者、共用試験事務担当者を中心に、準備および運営指揮を担当する教職員がその任にあっている。

vetOSCE に関する実習、試験を中心に行う vetOSCE 室があり、本試験実施前に実技のトレーニングが行えるスキルラボを設置している。

vetCBT への対応は、自主勉強の出来る e-learning の構築を検討している。

北里大学

平成 29 年に本格実施される共用試験では、vetCBT を 5 月 13 日、vetOSCE を 8 月 8 日に予定しています。これに先立ち学科内に「獣医学教育推進委員会」を立ち上げ、vetCBT 受験環境の整備、vetOSCE 受験準備用のスキルラボを設置し、vetCBT、vetOSCE ともこれまでに各 2 回のトライアルを実施しました。

本年度の 5 年生が共用試験の第 1 回受験生となりますが、vetCBT 対策として各科目担当教員が勉強しておくべき項目のリストをコアカリに準拠して作成し、受験生に配付しました。また、vetCBT の概要についての説明も行いました。さらに受験用端末操作に慣れることを目的に、vetCBT 受験の 1 週間前に全受験生を集め、iPad を使用したトライアルを実施する予定です。

vetOSCE に関しては、5 年前期の臨床系実習で小動物、大動物それぞれで基礎的な内容を教育するとともに、7 月の最終週に vetOSCE 受験のための集中実習を実施する予定です。学生達は前期の期間にスキルラボを利用して、自主的に vetOSCE 受験の準備をしています。

日本獣医生命科学大学

本学の平成 29 年度の共用試験として、vetOSCE を平成 29 年 7 月 11 日（追再試験 8 月 11 日）、vetCBT を平成 29 年 8 月 22 日（追再試験 9 月 11 日）に行う予定にしております。

学内の委員会として、12 名の獣医学科の教員からなる獣医学共用試験対策委員会（委員長：堀 達也）を設置しております。この中には、vetOSCE の項目の中の外科手技、犬身体検査、牛身体検査に対する実習内容を検討するため、獣医外科学研究室、獣医内科学研究室、産業動物学研究室の教員を 1 名ずつ配置しております。また、医療面接実習に関しては、臨床系教員からなる獣医総合臨床実習運営委員会の中で医療面接実習担当者を決め、獣医学科の全教員の協力の下、実習を行っております。また、vetOSCE 試験前には、スキルラボを設置し、学生が自由に各種手技を練習できるようにしております。

また、vetCBT の対策として、学生を中心とした学生 vetCBT 対策委員会を設立し、獣医学共用試験対策委員会の委員長と学生の委員会と会議を行い、意見交換をすることで試験対策を考えて行っております。

麻布大学

本学における共用試験の実施時期と学内委員会は次のとおり。

共用試験：5 年次前期終了時

学内委員会：OSCE 委員会及び CBT 委員会

日本大学

日本大学は 5 年次前期に CBT 及び OSCE を予定開催時期としており、平成 29 年度はトライアルとして、5 月 20 日および 7 月 1 日にそれぞれ vetCBT 及び vetOSCE を行う予定である。また、vetOSCE トライアル前の 6 月 27～29 日の間、大動物臨床棟にスキルラボを設置する予定である。今年度のトライアルを踏まえ、来年度に共用試験を正式実施する予定である。

共用試験の正式実施に向け、学科内に共用試験委員会（CBT 委員会、OSCE 委員会）が常設されている。これらの委員会では具体的な実施方法や学外との連携・連絡を行っている。

14) 国家試験への対応

酪農学園大学

- ・6年生後学期に獣医学の総合的な復習を兼ねた必修科目を設けている。
- ・6年生後学期に国家試験の勉強用に教室を開放している（9:00-21:00）。
- ・国家試験前まで日曜日に利用できる教室を準備している。
- ・全学生共通利用スペースの開放時間の延長をしている（21:00 閉館を 23:00 まで延長）。
- ・年末年始の休暇期間中に国家試験勉強用に 1 室を準備、開放している（9:00-17:00）。
- ・6年生に対して国家試験過去問題を利用した e-learning を準備している。
- ・6年生が自主的に行っている国家試験対策の模擬試験の採点、集計をサポートしている。

北里大学

国家試験の合格率は、実務的高度専門教育である獣医学教育の外部評価の一つであると認識しています。国家試験の合否が5年次までの累積成績および6年次後期に実施される総合獣医学の成績と良く関連していることから、成績不良者に対しての指導方法を強化しています。具体的には、5年次までの累積成績下位 15% の学生に対して、6年次の4月中旬より開始される国家試験対策プログラムへの参加を義務づけています。また、クラス担任を中心とした獣医師国家試験対策委員会委員を中心に、低学年の学生を含め全ての学生に対して、勉学に対する意識改善に取り組んでいます。

日本獣医生命科学大学

獣医学科教員が組織する獣医師国家試験対策委員会が設置されており、6年次担任を中心に学生への国家試験対策の指導を行っている。また、6年後期に実施する総合獣医学の講義配分、試験問題数およびグループ学習への指導内容などを検討している。

6年前期には、前年度の国家試験問題を各研究室で分担し解説を作成するとともに、これまで引き継がれてきた日獣大国家試験問題集の見直しを行っている。そして、6年後期に総合獣医学（4単位）として、全国家試験科目に関する国家試験対策授業を行い、国家試験に準じた模擬試験（学生作成）1回と本試験（教員作成）2回を実施している。また、学生を1班 14～16名の6班に分け、学生相互によるグループ学習での国家試験対策を指導している。

この他、6年後期には学生の国家試験対策委員会を中心に、学生からの要望を集め土曜学校と称した対策授業を実施している。昨年度は、3時間授業を16コマ実施している。さらに、実地対策として若手教員、大学院生および研究生の協力の下、9回の講義を行った。

麻布大学

本学では、平成 27 年度から学生の継続的学修のサポートとして、6 年次に対し、6 月から 9 月末までの期間、国家試験対策として補講を行っている。さらに、卒業論文の提出締切を 10 月末とし、その後は、これまでに学んだ獣医学の専門科目の復習のために、6 年次後期「総合獣医学」を必修科目として開講している。「総合獣医学」は、各系の教員がオムニバスに講義を行い、計 3 回の試験を実施している。

また、国家試験にあたり、ゼミ室を一定期間 6 年次が優先的に使用できるよう配慮している。

日本大学

① 専門教育科目を総括する演習を開講

6 年次の前・後期を通して、獣医学専門教育科目の大部分をカバーするオムニバス形式の演習（必修）を開講している。この演習の目的は、各科目の重要事項について実際の獣医療と関連づけながら実践的な総括をおこなうことであるが、学生の総合的・有機的知識の定着にも効果をあげている。

② 学生主体の模擬試験を実施

6 年次に、獣医師国家試験の模擬試験を 3 回程度実施している。準備や運営は、係の学生を中心に学生主体でおこなわれている。試験問題については、卒業生への作問依頼や、他大学の模擬試験問題借用により用意している。教員は模試問題のチェックなどのサポートを提供するほか、試験結果を分析して学生への国家試験対策指導に利用している。

③ 実地補講の実施

実地問題対策として、パワーポイント画像や展示物（標本や検査器具）などの視覚的教材を用いて重要事項を解説する「実地補講」を実施している。例年、正規の授業とは別に 3 日間程度でおこなっている。学生の出席は任意だが出席率は良好で、「役に立った」とする学生の声も多く聞かれている。

④ 国家試験に関するアンケートの実施

獣医師国家試験終了後に、受験生を対象として国家試験に関するアンケートを実施している。具体的には、勉強時間や勉強方法、使用教材、出題された試験問題に関して問う内容となっている。アンケートの集計結果を分析し、次年度の国家試験対策指導などに活用している。

7. 学生数・奨学金・就職・国家試験

この章では、在籍者数・学生生活支援等、奨学金（学部・大学院）、就職（職種別・都道府県別）、獣医師国家試験合格率について、5大学の現状を一覧とした。

1) 学生数並びに学生生活支援など

(1) 在籍者数など

大学名	区 分		平成 18 年度			平成 23 年度			平成 28 年度		
			男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
酪農学園大学	入学者										
	定員数		－	－	120	－	－	120	－	－	120
	志願者数		1623	1123	2746	1030	714	1744	785	782	1567
	入学者数		82	54	136	82	71	153	77	72	149
	在学者数										
	6 年次		74	77	151	84	58	142	79	66	145
	5 年次		68	69	137	86	57	143	73	52	125
	4 年次		71	74	145	78	54	132	71	69	140
	3 年次		84	63	147	76	65	141	71	70	141
	2 年次		77	67	144	85	65	150	72	76	148
	1 年次		83	54	137	82	72	154	77	72	149
	合計(a)		457	404	861	491	371	862	443	405	848
	a のうち留年者数		22	15	35	36	14	50	33	18	51
	a のうち推薦入学者数		45	106	151	45	87	132	33	93	126
	a のうち編入学者数		14	21	35	11	10	21	14	8	22
	編入学年次		2			2			2		
	a のうち社会人入学者数		7	4	11	4	4	8	3	3	6
	退学者数		3	3	6	0	1	1	1	0	1
	卒業者数		72	75	147	84	57	141	79	66	145
	獣医師国家試験受験者数		68	75	143	84	57	141	74	64	138
	合格者数		61	75	143	84	57	141	74	64	138
	合格率 (%)		89.7	94.7	92.3	83.3	84.2	83.7	89.2	90.6	89.9
	就職希望者数		53	66	119	63	46	109	61	55	116
	就職者数		49	59	108	61	46	107	61	55	116
	大学院進学希望者数		5	3	8	5	0	5	2	2	4
	進学 者数	自校	2	1	3	2	0	2	2	0	2
		他校	3	2	5	3	0	3	0	2	2
		計	1	3	8	5	0	5	2	2	4

大学名	区 分		平成 18 年度			平成 23 年度			平成 28 年度		
			男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
北里大学	入学者										
	定員数				120			120			120
	受験者数		1889	1284	3173	1441	1008	2449	1617	1484	3101
	入学者数		79	58	137	74	47	121	70	62	132
	在学者数										
	6 年次		78	70	148	86	59	145	85	60	145
	5 年次		73	64	137	93	50	143	66	64	130
	4 年次		92	61	153	102	45	147	67	73	140
	3 年次		75	65	140	81	70	151	82	57	139
	2 年次		67	82	149	93	51	143	88	65	153
	1 年次		83	59	142	87	57	144	71	63	134
	合計(a)		468	401	869	455	273	728	459	382	841
	a のうち留年者数		8	1	9	5	2	7	28	4	32
	a のうち推薦入学者数		0	0	0	1	0	1	0	0	0
	a のうち編入学者数										
	編入学年次										
	a のうち社会人入学者数										
	退学者数		2	2	4	5	1	6	4	2	6
	卒業者数		78	70	148	86	59	145	84	60	144
	獣医師国家試験受験者数		78	70	148	86	59	145	75	57	132
	合格者数		73	64	137	80	56	136	68	49	117
	合格率 (%)		93.6	91.4	92.6	93.0	94.9	93.8	90.7	86.0	88.6
	就職希望者数		57	62	119	74	52	126	65	48	113
	就職者数		56	62	118	74	52	126	63	48	111
	大学院進学希望者数		7	1	8	3	2	5	3	3	6
	進学者数	自校	3	1	4	2	0	2	2	2	4
		他校	4	0	4	1	2	3	1	1	2
		計	7	1	8	3	2	5	3	3	6

大学名	区 分		平成 18 年度			平成 23 年度			平成 28 年度		
			男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
日本獣医生命科学大学	入学者										
	定員数		－	－	80	－	－	80	－	－	80
	受験者数		1535	1172	2707	992	889	1881	959	1149	2108
	入学者数		47	47	94	45	53	99	41	51	92
	在学者数										
	6 年次		48	53	101	46	49	95	45	45	90
	5 年次		61	46	107	44	46	90	37	56	93
	4 年次		53	38	91	45	41	86	34	56	90
	3 年次		50	53	103	48	52	100	45	65	110
	2 年次		52	43	95	45	56	101	29	65	94
	1 年次		47	47	94	45	53	98	41	51	92
	合計(a)		311	280	591	273	297	570	231	338	569
	a のうち留年者数		7	5	12	6	4	10	9	17	26
	a のうち推薦入学者数		63	86	149	40	124	164	37	141	178
	a のうち編入学者数		5	5	10	0	1	1	1	2	3
	編入学年次		2			2			2		
	a のうち社会人入学者数		8	6	14	1	4	5	1	1	2
	退学者数		1	2	3	0	5	5	1	0	1
	卒業者数		47	53	100	46	49	95	45	45	90
	獣医師国家試験受験者数		46	53	99	45	46	91	40	40	80
	合格者数		43	48	91	45	45	90	38	36	74
	合格率 (%)		93.4	90.5	91.9	100.0	97.8	98.9	95.0	90.0	92.5
	就職希望者数		38	48	86	38	42	80	37	35	72
	就職者数		29	37	66	36	34	70	37	34	71
	大学院進学希望者数		5	1	6	6	2	8	1	1	2
	進学 者数	自校	5	0	5	5	1	6	2	2	4
		他校	1	1	2	1	2	2	0	0	0
		計	6	1	7	6	3	9	2	2	4

大学名	区 分		平成 18 年度			平成 23 年度			平成 28 年度		
			男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
麻布大学	入学者										
	定員数				120			120			120
	受験者数		1620	1299	2919	1031	878	1909	892	1041	1933
	入学者数		89	54	143	73	76	149	62	83	145
	在学者数										
	6 年次		59	86	145	86	61	147	72	81	153
	5 年次		86	75	161	87	68	155	63	82	145
	4 年次		71	72	143	75	79	154	68	69	137
	3 年次		90	74	164	79	83	162	78	77	155
	2 年次		99	74	173	64	91	155	74	78	152
	1 年次		91	55	146	74	79	153	65	86	151
	合計(a)		495	436	932	465	461	926	420	471	893
	a のうち留年者数		47	24	71	29	15	44	34	36	70
	a のうち推薦入学者数		—	—	—	—	—	—	41	110	151
	a のうち編入学者数				58	15	28	43	13	13	26
	編入学年次		2			2			2		
	a のうち社会人入学者数		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	退学者数		6	3	9	4	0	4	2	2	4
	卒業者数		59	86	145	85	61	146	72	80	152
	獣医師国家試験受験者数		59	84	143	83	61	144	71	80	151
	合格者数		55	76	131	72	54	126	58	74	132
	合格率 (%)		93.2	90.5	91.6	86.7	88.5	87.5	81.7	92.5	87.4
	就職希望者数		46	69	115	65	52	117	53	73	126
	就職者数		42	65	107	64	51	115	51	73	124
	大学院進学希望者数		1	1	2	6	3	9	6	0	6
	進学 者数	自校	0	0	0	3	0	3	3	0	3
		他校	1	1	2	3	3	6	3	0	3
		計	1	1	2	6	3	9	6	0	6

大学名	区 分		平成 18 年度			平成 23 年度			平成 28 年度		
			男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
日本大学	入学者										
	定員数				120			120			120
	受験者数		1648	1240	2888	1394	1039	2433	1117	1087	2204
	入学者数		67	73	140	59	81	140	62	77	139
	在学者数										
	6 年次		54	83	137	68	69	137	29	84	143
	5 年次		60	91	151	83	66	149	58	71	129
	4 年次		62	74	136	69	73	142	63	73	136
	3 年次		73	67	140	71	71	142	51	86	137
	2 年次		77	69	146	65	77	142	54	88	142
	1 年次		70	73	143	61	81	142	64	81	148
	合計(a)		396	457	853	417	437	854	349	483	832
	a のうち留年者数		15	1	16	4	2	6	13	12	25
	a のうち推薦入学者数		31	33	64	9	20	29	33	49	82
	a のうち編入学者数		0	3	3	1	1	2	0	0	0
	編入学年次		2			2			-		
	a のうち社会人入学者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0
	退学者数		2	3	5	1	0	1	3	1	4
	卒業者数		54	83	137	69	68	137	58	80	138
	獣医師国家試験受験者数		54	82	136	69	68	137	58	80	138
	合格者数				129	58	59	117	47	65	112
	合格率 (%)		.	.	94.9	.	.	85.4	.	.	81.2
	就職希望者数		36	70	106	60	69	129	39	64	103
	就職者数		34	63	97	57	56	113	37	61	98
	大学院進学希望者数		10	1	11	3	0	3	6	1	7
	進学 者数	自校	7	1	8	0	0	0	4	0	4
		他校	3	0	3	3	0	3	2	1	3
		計	10	1	11	3	0	3	6	1	7

(2) 留学生の受け入れと日本人学生の外国留学の状況

大学名	区分	平成 18 年度			平成 23 年度			平成 28 年度		
		男子	女子	計	男子	女子	計	男子	女子	計
酪農学園大学	外国人留学生の受け入者数	2	1	3 名	0	0	0 名	0	0	0 名
	日本人学生の海外留学者数	0	0	0 名	1	0	1 名	1	0	1 名
北里大学	外国人留学生の受け入者数	0	0	0 名	0	0	0 名	0	0	0 名
	日本人学生の海外留学者数	0	0	0 名	0	0	0 名	0	0	0 名
日本獣医生命科学大学	外国人留学生の受け入者数	11	25	40 名	14	14	28 名	5	14	19 名
	日本人学生の海外留学者数	不明	不明	72 名	39	87	126 名	34	83	117 名
麻布大学	外国人留学生の受け入者数	—	—	名	0	0	0 名	4	12	16 名
	日本人学生の海外留学者数	—	—	名	10	16	26 名	5	9	14 名
日本大学	外国人留学生の受け入者数	0	1	1 名	0	0	0 名	1	2	3 名
	日本人学生の海外留学者数	0	0	0 名	0	0	0 名	0	0	0 名

(3) 授業料減免の状況（特に何名の学生がどのような条件で減免されているか）

酪農学園大学

学資を主として負担している者が、次のような理由で授業料の納付が困難であり、学業成績優秀な学生に授業料の半額を免除しています。

- 1) 死亡又は生別した場合。
- 2) 失職した場合。
- 3) 病気又は事故等で、著しく収入が減少した場合。
- 4) 火災、風水害等の災害を受けた場合。

平成 28 年度免除人数：2 人

北里大学

授業料の減免等は実施していないが、学生が死亡した場合には、不在期間の学費相当額分を弔慰金として支給した実績がある。

日本獣医生命科学大学

武蔵野賞

各学年次において、学業成績が優秀で、且つ、人物にも優れた者 3 名に対して与えられるものであり、受賞学生は、本年度の授業料等の一部が免除されます。

※学科長及び学年担任の議を経て、学年担任が推薦する。

【減免状況】

首席：学納金のうち、授業料と実習費の半額を免除

次席：学納金のうち、授業料の半額を免除

休学に係わる授業料等減免について

休学期間が半期以上にわたる場合に限り、その学期分の授業料等を減免します。

(a) 減免対象

授業料・実習費・教育充実費及び施設拡充費

(b) 減免率

半期（前期または後期のみ）：4 分の 1 全期（1 年間）：2 分の 1

麻布大学

平成 28 年度は、東日本大震災、台風 10 号、熊本地震による授業料等の免除を実施し、全学で 6 人（獣医学科の免除者はなし）の授業料等を一部免除した。

（対象者）次の各号のいずれかに該当するもの

(1) 東日本大震災又は平成 28 年台風第 10 号に係る災害救助法適用地域に居住し、当該災害により被災している学資負担者

(2) 東京電力福島第一原子力発電所の事故（以下「原発事故」という。）による避難指示区域（帰還困難区域、居住制限区域又は避難指示解除準備区域（旧警戒区域又は旧計画的避難区域））に被災当時に居住し、現在においても避難生活を継続している学資負担者

(3) 平成 28 年熊本地震に係る災害救助法適用地域に居住し、当該災害により被災している学資負担者

（免除の条件）次の各号のいずれかに該当するもの

(1) 申請者が給与所得者の場合は、前年度の収入金額が 841 万円以下であること。

(2) 申請者が給与所得者以外の場合は、前年度の収入金額が 355 万円以下であること。

(3) 申請者に給与所得と給与所得以外の所得の両方がある場合は、源泉徴収票の支払金額と、確定申告書等の所得金額のうち、給与所得以外の金額を合計して、841 万円以下であること。

日本大学

特記事項なし

(4) 進路相談の状況（特にどのような制度で対応しているか）

酪農学園大学

1 年、5 年、6 年次にガイダンスを実施し、就職に対する意識の醸成を図っている。全学類共通となるが、5 年次通年と 6 年次前期に就職課主催の講座を設定し、就職活動がスムーズに行えるよう、各種対策を施している。4～6 年生を対象に、公務員獣医師職および動物病院の合同説明会を実施している。また、今年度からは北海道内にある 5 つの農業共済組合と連携し、1～5 年生を対象としたインターンシップ説明会を実施している。

北里大学

全学就職センターと連携し、各種就職ガイダンスを実施するとともに、キャリアカウンセラーとの web による面談、模擬面接や履歴書（エントリーシート）添削などを行い、学生一人ひとりの就職活動を支援している。また、内定した学生による後輩学生のための就職支援団体「Kitasato Junior Adviser's team」を結成し、就職活動を終えた 4 年生・6 年生や修士課程 2 年生が、就職活動中の 3 年生・5 年生・修士課程 1 年生に指導や相談も行っている。

日本獣医生命科学大学

本学の進路相談を担当する部署として、キャリア支援センターを設置し 2 年生の全員個別面談などを設け早期から学生一人ひとりの状況を把握し、各自にマッチした進路をサポート出来るようきめ細かな対応が出来る体制を整えている。就職に関しては、就職ガイダンスを企画し、履歴書・エントリーシートの書き方、SPI 対策テスト、マナー・メイクファッション講座、模擬面接、学内合同企業説明会、動物病院合同採用説明会、動物病院就職セミナー、全国 N O S A I 説明会、合同地方自治体説明会・インターンシップ対策セミナーなどを実施し、現在の厳しい就職戦線を勝ち抜くためのバックアップ体制の環境を整備している。他に O B ・ O G 訪問も奨励し、学生が積極的に訪問し進路決定の一助として活用出来るよう指導を行っている。進学に関しては、本学大学院は勿論のこと他大学院の情報などを素早くキャッチし、常に最新の情報を的確に提供出来るよう体制を敷いている。

麻布大学

学生のキャリア形成、就職、進学などの個別相談対応を行うため、キャリア・就職支援課内に就職相談室を設置している。企業及び公務員出身の O B を配置して、個別対応を行っている。就職相談室は、学生の個別相談の場として設けられ、月曜日～金曜日の 11 時～17 時（12 時～13 時除く）に開室している。相談時間は、1 回につき 50 分で事前予約制としている。

日本大学

就職指導課において、常に担当職員を配置し、資料の閲覧、相談等できるスペースを確保しております。

(5) 障害のある学生の修学支援

酪農学園大学

法改正に合わせて「酪農学園大学障がい学生支援に関する規程」ならびに「酪農学園大学障がい学生支援委員会規程」を制定した（平成 28 年 4 月 1 日付）。これにより大学として障がい学生支援に関する基本姿勢を明確にし、それを具現化するための委員会組織を設置した。

障がい学生を支援する専門部署の設置には至っていないが、教学系部署（教育センター、学生部、就職部、入試部、医務室、学生相談室）と各学類とが連携して学生情報を共有・掌握し、学生対応を行っている。

また、法の趣旨にある合理的配慮の観点から「配慮願い申請制度」を実施している。学生からの配慮申請を受け、診断書等の証拠書類に基づき、身体面であれば医務室で、精神面であれば学生相談室で配慮事項を確認し、その内容を授業担当教員へ伝えて履行を促している。獣医学類の学生からの申請件数は少ないが、問題を有していてもあえて申し出ない学生もあり、潜在的には多くの要支援学生が在籍していると認識する。

北里大学

全学就職センターでは、身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がいを含む）、その他の心身の機能の障がい（難病に起因する障がいを含む）を持つ学生の方にカウンセリングを始めとする様々な支援をおこなっている。学部に対応としては、聴覚に障がいを持つ学生に対する修学支援として、当該学生が希望する授業・実習等において、ノートテイク（高学年の学生：アルバイト）を配置。また、音声を認識して、テキスト化した文字情報をリアルタイムでパソコン画面に写しだすシステムを活用することで、情報保証を行っている。

日本獣医生命科学大学

平成 28 年度より合理的配慮の不提供の禁止が努力義務となることを受け、本学では平成 27 年度の FD で全学の教員を対象に情報共有を行った。また、学生相談室を中心に対応の指針をまとめた。日本学生支援機構が作成している障害学生就学支援ガイド等を参考にしている。

診断書の提出を受け、必要に応じて講義（講義の録音なども含む）、個別指導、チューター制度の利用、試験、課題提出における配慮などが受けられる。

今後診断書を提出する学生が増えると思われる。事例を重ねてより良い支援方法を検討する必要がある。

対応例

診断書が提出された 1 名の学生に対しては、実習班のメンバー構成における配慮や、臨時試験のスケジュール調整等を行った。その結果、学生は無事進学、卒業した。

診断書の提出は無かったが、本人の困り具合が明らかに顕著であった場合は、実習、講義、研究室配属において、教員間での問題の共有が計られた。

麻布大学

教職員間で情報を共有し、学生が持つ障がいに応じて、修学支援を行うこととしている。

例えば、聴覚に障がいを持つ学生に対する修学支援としては、当該学生が受講する授業・実習等に、当該学生の希望に応じて、ノートテイク（口述筆記者）を配置し、講義の内容や講義中の教員の会話などをノートテイク（口述筆記）することで、情報保証を行っている。

また、視覚的情報により、講義の内容を理解しやすくするため、授業では、できるだけプロジェクターの使用や資料の配付を行っている。そのほか、定期試験などでは、教員の指示が読唇できるよう座席を前方に配置するなどの工夫をしている。

また、精神面に障害を持つ学生に対しては、学生相談室にて臨床心理士が、各学生の相談に応じ、場合によっては、非常勤の勤務医(精神科)が相談及び対応を行っている。

そしてバリアフリー対応として、各建物及び構内通路にはスロープを設けてある。

また、講義棟や研究室棟などの主要な建物の出入口は、自動ドアを整備し、トイレについては車イス対応の多目的トイレを整備してある。

日本大学

各建物へエレベーターの設置、バリアフリー化を進めています。

2) 奨学金等の受給学生人数

<学部>

大学	奨学金名		給付・貸与の別	受給学生人数		
				平成18年度	平成23年度	平成28年度
酪農学園大学	日本学生支援機構	第1種奨学金	貸与	109	116	111
		第2種奨学金	貸与	260	245	192
	学内	酪農学園大学奨学金	貸与	2	0	0
	その他	産業動物獣医師修学資金	※	0	2	2
		中央畜産会		0	0	0
		授業料の減免		5	4	2
		酪農育英会	貸与	9	14	18
		地方公共団体	※	不明	1	3
北里大学	日本学生支援機構	第1種奨学金	貸与	99	87	97
		第2種奨学金	貸与	186	216	207
	学内	北里大学奨学金	3種(学費相当)	3	2	
		北里大学奨学金	2種(学費1/2)	1	4	6
		北里大学奨学金	1種(5万円/月)	1	2	2
		北里大学給付奨学金	給付(60万円)		5	5
		北里大学PPA奨学金	貸与		0	
	その他	産業動物獣医師修学資金	貸与	1	11	31
		中央畜産会	貸与	1	9	
		電通奨学金	貸与	1	2	
		佐藤奨学会	貸与		2	
		津田記念育英会	貸与		1	
		地方公共団体	貸与	5	1	2
		朝鮮奨学会	給付	1		
		あしなが育英会	貸与	2	1	1
		交通遺児育英会	貸与			2
		中村積善会	給費		1	1
日本獣医生命科学大学	日本学生支援機構	第1種奨学金	貸与	-	117	58
		第2種奨学金	貸与	-	314	107
	学内	日本獣医生命科学大学奨学金	貸与	-	0	0
	その他	産業動物獣医師修学資金	貸与	-	2	0
		あしなが育英会	貸与	-	3	0
		(財)福太郎奨学財団	貸与	-	2	0
		富山県医学生等奨学資金	貸与	-	1	0
		(財)交通遺児育英会	貸与	-	1	1
		(財)コカ・コーラ教育・環境財団	給付	-	1	0
		(財)沖縄県国際交流・人材育成財団	貸与	-	-	1
		授業料の減免		-	-	-

大学	奨学金名		給付・貸与の別	受給学生人数		
				平成18年度	平成23年度	平成28年度
麻布大学	日本学生支援機構	第1種奨学金	貸与		121	132
		第2種奨学金	貸与		281	205
	学内	麻布大学奨学金	貸与		4	7
		麻布大学父母会奨学金	貸与		0	3
		麻布大学同窓会奨学金	貸与		0	3
	その他	産業動物獣医師修学資金	貸与		3	2
		あしなが育英会	貸与		0	1
		大田区奨学金	貸与		1	2
		授業料の減免			10	0
日本大学	日本学生支援機構	第1種奨学金	貸与	122	119	134
		第2種奨学金	貸与	281	227	164
	学内	大森奨学金	給付	1	1	1
		後援会奨学金	給付	15	5	4
		校友会奨学金	給付	3	4	3
		エスドット奨学金	給付	－	2	－
		桜樹奨学金	給付	－	2	－
		事業部奨学金	給付	－	－	2
	その他	産業動物獣医師修学資金	貸与	3	7	4
		中央畜産会	貸与	1	4	6
		授業料の減免	(留学生対象)	0	0	0
		あしなが育英会	貸与	2	0	
		清川秋夫育英奨学財団	貸与	1	0	
		北信奨学財団	給付		1	
		住本育英会	貸与	1	0	
		日揮・実吉奨学会	給付		0	
		玉野教育基金	給付		－	1
		守谷育英会	給付			1
		朝鮮奨学会	給付		－	
		地方公共団体奨学金	貸与	6	1	

<大学院>

大学	奨学金名		給付・貸与の別		受給学生人数		
					平成18年度	平成23年度	平成28年度
酪農学園大学	日本学生支援機構	第1種奨学金	貸与		6	8	11
			返還免除者数 (内数)	全額	0	0	0
				半額	0	1	1
	学内 その他	第2種奨学金	貸与		1	0	0
		酪農学園大学奨学金	貸与		0	0	0
		産業動物獣医師修学資金	※		0	0	0
		中央畜産会	貸与		0	0	0
		授業料の減免			0	0	0
		酪農育英会	貸与		0	0	0
北里大学	日本学生支援機構	第1種奨学金	貸与		3	3	4
			返還免除者数 (内数)	全額	0	0	0
				半額			0
	学内 その他	第2種奨学金	貸与		0	0	1
		産業動物獣医師修学資金	貸与				
		中央畜産会	貸与				
		授業料の減免					
日本獣医生命科学大学	日本学生支援機構	第1種奨学金	貸与		-	8	8
			返還免除者数 (内数)	全額	-	0	0
				半額	-	0	2
		第2種奨学金	貸与		-	5	7
麻布大学	日本学生支援機構	第1種奨学金	貸与			4	6
			返還免除者数 (内数)	全額		0	1
				半額		0	0
	学内 その他	第2種奨学金	貸与			1	0
		麻布大学奨学金	貸与			0	0
		産業動物獣医師修学資金	貸与				
		中部奨学会	給付				1
日本大学	日本学生支援機構	第1種奨学金	貸与		8	20	20
			返還免除者数 (内数)	全額	1	2	0
				半額	0	0	0
	学内	第2種奨学金	貸与		2	2	0
		古田奨学金	給付		1	1	1
		ロバート・F・ケネディ奨学金	給付		1	1	1
		後援会奨学金	給付		1	0	0
		校友会奨学金	給付		0	1	0
		産業動物獣医師修学資金	貸与		0	0	0
	その他	中央畜産会	貸与		0	0	0
		日揮・実吉奨学会	給付		0	0	0
		ロータリー米山	給付		0	0	0
		授業料の減免	(留学生対象)		0	1	0

3) 職種別就職状況 (人数・%)

大 学	調 査 年 度	公務員(独立行政法人を含む)						企業	農業関係団体		個人診療施設		研究機関		進学(含外国)		海外		その他	計		
		国家公務員	独立行政法人	都道府県職員	市町村職員																	
酪農学園大学	平成18年度	25				17.01%	8	5.44%	10	6.80%	63	42.86%	4	2.72%	8	5.44%	1	0.68%	28	19.05%	147	
	平成23年度	0	0.00%	0	0.00%	20	13.61%	5	3.40%													
		38						26.95%														
			1	0.71%	0	0.00%	28	19.86%	9	6.38%												
	平成28年度	26				17.93%	10	6.90%	20	13.79%	54	37.24%	5	3.45%	4	2.76%	1	0.69%	25	17.24%	145	
北里大学	平成18年度	18				12.16%	5	3.38%	6	4.05%	86	58.11%	2	1.35%	8	5.41%	0	0.00%	23	15.54%	148	
	平成23年度	1	0.68%	0	0.00%	16	10.81%	1	0.68%													
		23						15.86%														
			1	0.69%	0	0.00%	14	9.66%	8	5.52%												
	平成28年度	25				17.36%	6	4.17%	14	9.72%	63	43.75%	1	0.69%	6	4.17%	0	0.00%	29	20.14%	144	
日本生命科学 大学	平成18年度	0				#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!				#DIV/0!	0	
	平成23年度	10				#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!	51	53.68%	1	1.05%	9	9.47%	0	0.00%	16	16.84%	95	
		1	1.05%	1	1.05%	8	8.42%	0	0.00%													
		平成28年度	11				12.22%	8	8.89%	7	7.78%	41	45.56%	0	0.00%	4	4.44%	0	0.00%	19	21.11%	90
		1	1.11%	0	0.00%	9	10.00%	1	1.11%													
麻布大学	平成18年度	9				6.29%	9	6.29%	8	5.59%	81	56.64%	0	0.00%	3	2.10%	0	0.00%	33	23.08%	143	
	平成23年度	3	2.10%	0	0.00%	4	2.80%	2	1.40%													
		23						15.75%														
			1	0.68%	0	0.00%	17	11.64%	5	3.42%												
	平成28年度	19				12.50%	10	6.58%	3	1.97%	92	60.53%	0	0.00%	9	5.92%	0	0.00%	19	12.50%	152	
		1	0.66%	0	0.00%	13	8.55%	5	3.29%													
日本大学	平成18年度	0				#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!				#DIV/0!	0	
	平成23年度	23				#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!				#DIV/0!	137	
		2	1.46%	4	2.92%	15	10.95%	2	1.46%	6	4.38%	59	43.07%	0	0.00%	3	2.19%	0	0.00%	31	22.63%	
		平成28年度	18				13.04%	3	2.17%	6	4.35%	70	50.72%	1	0.72%	7	5.07%	0	0.00%	33	23.91%	138
		0	0.00%	0	0.00%	13	9.42%	5	3.62%													
合 計	平成18年度	52				11.87%	22	5.02%	24	5.48%	230	52.51%	6	1.37%	19	4.34%	1	0.23%	84	19.18%	438	
	平成23年度	4	0.91%	0	0.00%	40	9.13%	8	1.83%													
		117						17.62%														
			6	0.90%	5	0.75%	82	12.35%	24	3.61%	6	6.33%	314	47.29%	1	0.15%	34	5.12%	0	0.00%	114	17.17%
	平成28年度	99				14.80%	37	5.53%	50	7.47%	320	47.83%	7	1.05%	30	4.48%	1	0.15%	125	18.68%	669	
		3	0.45%	3	0.45%	79	11.81%	14	2.09%													

4) 都道府県別就職状況（公務員獣医師及び産業動物獣医師の確保）

【私立獣医科大学協会(5大学)】

都道府県	平成18年度(※3大学：酪農大、北里大、麻布大)					平成23年度					平成28年度				
	小動物(女子)	産業動物(女子)	公務員(女子)	計(女子)		小動物(女子)	産業動物(女子)	公務員(女子)	計(女子)		小動物(女子)	産業動物(女子)	公務員(女子)	計(女子)	
北海道	13(9)	13(4)	6(4)	32(18)		13(6)	28(16)	12(7)	53(29)		6(2)	28(13)	8(6)	42(21)	
青森県	2(2)	1(1)	1(1)	4(4)		2(1)	2()	2(1)	6(2)		2(2)	1(1)	1()	4(3)	
岩手県	2(2)	2(1)	2(1)	6(4)		()	1()	1(1)	2(1)		1()	()	()	1()	
宮城県	7(3)	1(1)	2(2)	10(6)		2(1)	()	4(1)	6(2)		4(2)	4(1)	5(1)	13(4)	
秋田県	()	()	1(1)	1(1)		()	1(1)	1(1)	2(2)		1()	()	1()	2()	
山形県	()	1()	()	1()		2()	1()	()	3()		()	3(1)	()	3(1)	
福島県	()	1(1)	2(2)	3(3)		()	()	1(1)	1(1)		()	()	5(1)	5(1)	
茨城県	4(2)	()	2(2)	6(4)		3()	2(1)	2(1)	7(2)		3()	()	1(1)	4(1)	
栃木県	4(1)	2(2)	1()	7(3)		2(2)	()	()	2(2)		5(2)	1(1)	3(1)	9(4)	
群馬県	3(1)	()	1()	4(1)		2()	()	4(2)	6(2)		1()	3(1)	2(1)	6(2)	
埼玉県	18(11)	1(1)	4(3)	23(16)		33(15)	2(1)	3(2)	38(18)		29(16)	1(1)	6(4)	36(21)	
千葉県	16(6)	2(1)	3(2)	21(9)		33(9)	()	8(4)	41(13)		20(9)	4(1)	4(4)	28(14)	
東京都	39(27)	2()	5(4)	46(31)		85(43)	3(1)	12(5)	100(49)		98(56)	1(1)	8(5)	107(62)	
神奈川県	42(22)	1()	1(1)	44(23)		50(23)	()	7(4)	57(27)		60(36)	1()	5(3)	66(39)	
新潟県	()	1()	1()	2(1)		()	()	3(2)	3(2)		3(1)	()	()	3(1)	
富山県	()	()	2(2)	2(2)		()	()	()	()		()	1(1)	1(1)	2(2)	
石川県	()	()	()	()		()	()	()	()		()	()	1(1)	1(1)	
福井県	()	()	()	()		()	()	1(1)	1(1)		()	()	()	()	
山梨県	1(1)	()	()	1(1)		()	1()	2(1)	3(1)		2(1)	()	3(2)	5(3)	
長野県	2(2)	()	()	2(2)		1()	()	3(2)	4(2)		2(2)	()	()	2(2)	
岐阜県	()	()	()	()		()	()	1()	1()		1(1)	()	1(1)	2(2)	
静岡県	6(3)	1()	1(1)	8(4)		11(6)	()	6(4)	17(10)		7(2)	()	2(2)	9(4)	
愛知県	20(8)	()	2(2)	22(10)		23(10)	()	4(2)	27(12)		25(11)	()	1(1)	26(12)	
三重県	2(1)	()	2(1)	4(2)		2()	()	3(2)	5(2)		1(1)	()	3(2)	4(3)	
滋賀県	1()	()	1()	2()		2(1)	()	()	2(1)		()	()	1()	1()	
京都府	3(1)	()	()	3(1)		6(1)	()	1(1)	7(2)		2(2)	1(1)	2(1)	5(4)	
大阪府	17(9)	()	2()	19(11)		22(6)	()	4(1)	26(7)		20(12)	1(1)	2(1)	23(14)	
兵庫県	8(6)	3(2)	3(2)	14(10)		7(2)	()	2(2)	9(4)		6(1)	1()	1(1)	8(2)	
奈良県	1(1)	()	()	1(1)		()	()	1(1)	1(1)		2(2)	1()	()	3(2)	
和歌山県	1(1)	()	()	1(1)		()	()	1(1)	1(1)		1(1)	()	()	1(1)	
鳥取県	()	()	()	()		1()	()	()	1()		2()	()	2(1)	4(1)	
島根県	()	()	()	()		1()	1()	2(1)	4(1)		()	()	()	()	
岡山県	2(2)	()	()	2(2)		4(1)	()	()	4(1)		3(2)	()	()	3(2)	
広島県	2()	()	()	2()		()	2(2)	1(1)	3(3)		2(1)	1()	3(2)	6(3)	
山口県	()	()	()	()		()	()	2()	2()		2()	1()	1()	4()	
徳島県	()	()	()	()		()	()	4(3)	4(3)		()	()	2(1)	2(1)	
香川県	1(1)	()	1()	2(2)		3()	()	()	3()		1(1)	()	3()	4(1)	
愛媛県	1()	()	()	1()		1()	()	1()	2()		1()	()	3(1)	4(1)	
高知県	()	1(1)	()	1(1)		1(1)	()	2(1)	3(2)		1(1)	()	1(1)	2(2)	
福岡県	3(2)	1(1)	2(1)	6(5)		4(1)	1()	2(1)	7(2)		3(1)	()	1()	4(1)	
佐賀県	()	()	1()	1(1)		()	()	()	()		()	()	()	()	
長崎県	()	()	1()	1(1)		()	()	3(1)	3(1)		()	1(1)	1()	2(1)	
熊本県	()	()	1()	1()		()	()	2(1)	2(1)		()	1()	2()	3()	
大分県	1()	()	()	1()		()	()	2(2)	2(2)		()	()	3(1)	3(1)	
宮崎県	1()	()	()	1()		()	1()	2(1)	3(1)		()	1()	5(3)	6(3)	
鹿児島県	1(1)	2(2)	()	3(3)		1()	1()	3(2)	5(2)		()	3(1)	2(1)	5(2)	
沖縄県	()	()	1(1)	1(1)		1()	()	()	1()		2()	1()	1()	4()	
その他	4(2)	()	()	4(2)		5()	()	()	5()		()	()	()	()	
計(女子)	228(127)	36(18)	52(33)	316(187)		323(129)	47(22)	115(64)	485(215)		319(168)	61(26)	97(51)	477(245)	
卒業者数					438(229)					664(295)					668(329)
大学院進学					18(5)					30(7)					25(7)
※平成28年度就職予定者					38(19)					70(30)					105(46)
未定者					9(4)					42(25)					17(6)

【酪農学園大学】

都道府県	平成18年度				平成23年度				平成28年度			
	小動物（女子）	産業動物（女子）	公務員（女子）	計（女子）	小動物（女子）	産業動物（女子）	公務員（女子）	計（女子）	小動物（女子）	産業動物（女子）	公務員（女子）	計（女子）
北海道	11（ 8 ）	7（ 2 ）	4（ 3 ）	22（ 14 ）	10（ 4 ）	17（ 9 ）	12（ 7 ）	39（ 20 ）	5（ 1 ）	14（ 7 ）	5（ 3 ）	24（ 11 ）
青森県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ ）
岩手県	1（ 1 ）	2（ 1 ）	1（ 1 ）	4（ 3 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
宮城県	2（ 1 ）	（ ）	2（ 2 ）	4（ 3 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	1（ 1 ）
秋田県	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
山形県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	（ ）	1（ ）	（ ）	2（ 1 ）	（ ）	2（ 1 ）
福島県	（ ）	1（ 1 ）	2（ 2 ）	3（ 3 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	1（ 1 ）
茨城県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ 1 ）	2（ 1 ）	4（ 2 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
栃木県	（ ）	1（ 1 ）	（ ）	1（ 1 ）	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
群馬県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ 1 ）	2（ 1 ）
埼玉県	2（ ）	1（ 1 ）	1（ ）	4（ 2 ）	4（ 2 ）	1（ ）	（ ）	5（ 2 ）	4（ 2 ）	1（ 1 ）	（ ）	5（ 3 ）
千葉県	1（ ）	（ ）	1（ 1 ）	2（ 1 ）	2（ ）	（ ）	1（ ）	3（ ）	1（ ）	1（ ）	（ ）	2（ ）
東京都	6（ 3 ）	1（ ）	（ ）	7（ 3 ）	5（ 2 ）	（ ）	1（ ）	6（ 2 ）	13（ 5 ）	（ ）	1（ ）	14（ 5 ）
神奈川県	5（ 3 ）	（ ）	（ ）	5（ 3 ）	3（ 1 ）	（ ）	1（ 1 ）	4（ 2 ）	2（ 2 ）	（ ）	（ ）	2（ 2 ）
新潟県	（ ）	1（ ）	1（ ）	2（ 1 ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
富山県	（ ）	（ ）	2（ 2 ）	2（ 2 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
石川県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
福井県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
山梨県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）
長野県	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
岐阜県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
静岡県	1（ ）	1（ ）	1（ 1 ）	3（ 1 ）	1（ 1 ）	（ ）	2（ 1 ）	3（ 2 ）	1（ 1 ）	（ ）	1（ 1 ）	2（ 2 ）
愛知県	8（ 3 ）	（ ）	1（ 1 ）	9（ 4 ）	7（ 3 ）	（ ）	2（ 1 ）	9（ 4 ）	8（ 4 ）	（ ）	（ ）	8（ 4 ）
三重県	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ ）
滋賀県	1（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ ）
京都府	2（ ）	（ ）	（ ）	2（ ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	1（ 1 ）	1（ 1 ）	1（ 1 ）	1（ ）	3（ 2 ）
大阪府	7（ 5 ）	（ ）	2（ ）	9（ 7 ）	5（ ）	（ ）	2（ 1 ）	7（ 1 ）	10（ 4 ）	（ ）	（ ）	10（ 4 ）
兵庫県	6（ 4 ）	1（ 1 ）	2（ 2 ）	9（ 7 ）	2（ ）	（ ）	1（ 1 ）	3（ 1 ）	3（ ）	（ ）	（ ）	3（ ）
奈良県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
和歌山県	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
鳥取県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	（ ）	1（ 1 ）	2（ 1 ）
島根県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	（ ）	1（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
岡山県	2（ 2 ）	（ ）	（ ）	2（ 2 ）	1（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	2（ 1 ）	（ ）	（ ）	2（ 1 ）
広島県	2（ ）	（ ）	（ ）	2（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	（ ）	2（ 1 ）	3（ 2 ）
山口県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ ）	（ ）	1（ ）	（ ）	1（ ）
徳島県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ ）
香川県	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
愛媛県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ ）	（ ）	（ ）	2（ 1 ）	2（ 1 ）
高知県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	1（ 1 ）
福岡県	2（ 1 ）	1（ 1 ）	1（ ）	4（ 3 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ ）
佐賀県	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
長崎県	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ 1 ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ 1 ）	（ ）	1（ 1 ）
熊本県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	2（ 1 ）	2（ 1 ）	（ ）	1（ ）	（ ）	1（ ）
大分県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ ）
宮崎県	1（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	2（ 1 ）	3（ 1 ）
鹿児島県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	2（ 1 ）	2（ 1 ）	（ ）	1（ 1 ）	1（ ）	2（ 1 ）
沖縄県	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	（ ）	（ ）	1（ ）	1（ ）	1（ ）	（ ）	2（ ）
その他	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
計（女子）	63（ 34 ）	17（ 8 ）	25（ 16 ）	105（ 67 ）	44（ 14 ）	21（ 10 ）	38（ 21 ）	103（ 45 ）	54（ 22 ）	26（ 12 ）	26（ 12 ）	106（ 46 ）
卒業者数				147（ 75 ）				141（ 57 ）				144（ 65 ）
大学院進学				8（ 3 ）				5（ ）				4（ 2 ）
※平成28年度試験予定者				14（ 4 ）				23（ 10 ）				19（ 6 ）
未定者				（ ）				6（ 1 ）				4（ 2 ）

都道府県	平成18年度				平成23年度				平成28年度			
	小動物（女子）	産業動物（女子）	公務員（女子）	計（女子）	小動物（女子）	産業動物（女子）	公務員（女子）	計（女子）	小動物（女子）	産業動物（女子）	公務員（女子）	計（女子）
北海道	1（ 1）	3（ 1）	2（ 1）	6（ 3）	1（ 1）	3（ 1）		4（ 2）		3（ 2）		3（ 2）
青森県	2（ 2）	1（ 1）	1（ 1）	4（ 4）	2（ 1）	2（ ）	1（ 1）	5（ 2）	2（ 2）	1（ 1）		3（ 3）
岩手県	1（ 1）		1（ ）	2（ 1）		1（ ）		1（ ）	1（ ）			1（ ）
宮城県	4（ 2）	1（ 1）		5（ 3）			2（ ）	2（ ）	2（ 1）	2（ ）	4（ ）	8（ 1）
秋田県									1（ ）		1（ ）	2（ ）
山形県		1（ ）		1（ ）						1（ ）		1（ ）
福島県											2（ ）	2（ ）
茨城県	2（ 1）		2（ 2）	4（ 3）	1（ ）			1（ ）				
栃木県	1（ 1）		1（ ）	2（ 1）	1（ 1）			1（ 1）	1（ ）		2（ ）	3（ ）
群馬県	1（ ）			1（ ）	1（ ）			1（ ）	1（ ）	1（ 1）		2（ 1）
埼玉県	11（ 8）		1（ 1）	12（ 9）	12（ 5）			12（ 5）	6（ 3）			6（ 3）
千葉県	7（ 2）	1（ ）	2（ 1）	10（ 3）	14（ 5）		2（ 1）	16（ 6）	6（ 1）		1（ 1）	7（ 2）
東京都	14（ 9）	1（ ）	1（ ）	16（ 9）	15（ 10）	1（ ）	2（ 2）	18（ 12）	13（ 6）	1（ 1）		14（ 7）
神奈川県	11（ 4）		1（ 1）	12（ 5）	10（ 4）		3（ 2）	13（ 6）	10（ 4）			10（ 4）
新潟県							1（ 1）	1（ 1）				
富山県											1（ 1）	1（ 1）
石川県											1（ 1）	1（ 1）
福井県												
山梨県							1（ 1）	1（ 1）				
長野県	1（ 1）			1（ 1）					1（ 1）			1（ 1）
岐阜県							1（ ）	1（ ）			1（ 1）	1（ 1）
静岡県	4（ 2）			4（ 2）	3（ 3）		1（ ）	4（ 3）	2（ ）			2（ ）
愛知県	10（ 4）		1（ 1）	11（ 5）	8（ 3）		1（ ）	9（ 3）	6（ 1）		1（ 1）	7（ 2）
三重県			2（ 1）	2（ 1）								
滋賀県												
京都府	1（ 1）			1（ 1）	1（ ）			1（ ）				
大阪府	8（ 3）			8（ 3）	8（ 3）		2（ ）	10（ 3）	4（ 3）			4（ 3）
兵庫県	1（ 1）	1（ ）	1（ ）	3（ 1）	1（ ）			1（ ）	1（ 1）	1（ ）		2（ 1）
奈良県									1（ 1）	1（ ）		2（ 1）
和歌山県									1（ 1）			1（ 1）
鳥取県												
島根県							1（ 1）	1（ 1）				
岡山県					2（ 1）			2（ 1）				
広島県							1（ 1）	1（ 1）		1（ ）	1（ 1）	2（ 1）
山口県							1（ ）	1（ ）	2（ ）			2（ ）
徳島県											1（ 1）	1（ 1）
香川県	1（ 1）			1（ 1）	3（ ）			3（ ）			2（ ）	2（ ）
愛媛県	1（ ）			1（ ）							1（ ）	1（ ）
高知県					1（ 1）		1（ 1）	2（ 2）	1（ 1）			1（ 1）
福岡県	1（ 1）			1（ 1）	1（ ）		1（ 1）	2（ 1）				
佐賀県												
長崎県							1（ ）	1（ ）				
熊本県			1（ ）	1（ ）								
大分県	1（ ）			1（ ）							1（ 1）	1（ 1）
宮崎県						1（ ）	2（ 1）	3（ 1）			2（ 1）	2（ 1）
鹿児島県	1（ 1）	1（ 1）		2（ 2）		1（ ）		1（ ）		2（ ）	1（ 1）	3（ 1）
沖縄県			1（ 1）	1（ 1）					1（ ）			1（ ）
その他												
計（女子）	85（ 46）	10（ 4）	18（ 10）	113（ 60）	85（ 38）	9（ 1）	25（ 13）	119（ 52）	63（ 26）	14（ 5）	23（ 10）	100（ 41）
卒業者数				148（ 70）				145（ 59）				144（ 60）
大学院進学				8（ 1）				5（ 2）				6（ 3）
※平成28年度受験予定者				10（ 5）				9（ 3）				27（ 11）
未定者				1（ ）				5（ 2）				2（ ）

【日本獣医生命科学大学】

都道府県	平成18年度							平成23年度							平成28年度						
	小動物（女子）	産業動物（女子）	公務員（女子）	計（女子）	小動物（女子）	産業動物（女子）	公務員（女子）	計（女子）	小動物（女子）	産業動物（女子）	公務員（女子）	計（女子）	小動物（女子）	産業動物（女子）	公務員（女子）	計（女子）					
北海道									1（ 1 ）			1（ 1 ）		4（ ）	1（ 1 ）	5（ 1 ）					
青森県																					
岩手県																					
宮城県													1（ ）	2（ 1 ）		3（ 1 ）					
秋田県																					
山形県								1（ ）				1（ ）									
福島県															1（ ）	1（ ）					
茨城県													2（ ）		1（ 1 ）	3（ ）					
栃木県													2（ 1 ）	1（ 1 ）		3（ 2 ）					
群馬県																					
埼玉県								7（ 3 ）	1（ 1 ）	1（ 1 ）	9（ 5 ）	7（ 3 ）			2（ 2 ）	9（ 5 ）					
千葉県								9（ 2 ）		2（ 2 ）	11（ 4 ）	3（ 2 ）	3（ 1 ）			6（ 3 ）					
東京都								16（ 7 ）	2（ 1 ）	1（ 1 ）	19（ 9 ）	9（ 5 ）			2（ 2 ）	11（ 7 ）					
神奈川県								10（ 5 ）			10（ 5 ）	3（ 3 ）				3（ 3 ）					
新潟県												1（ 1 ）				1（ 1 ）					
富山県														1（ 1 ）		1（ 1 ）					
石川県																					
福井県																					
山梨県											1（ ）	1（ ）									
長野県											1（ ）	1（ ）	1（ 1 ）			1（ 1 ）					
岐阜県																					
静岡県								2（ ）		1（ 1 ）	3（ 1 ）	1（ ）				1（ ）					
愛知県												1（ 1 ）				1（ 1 ）					
三重県								1（ ）		1（ 1 ）	2（ 1 ）	1（ 1 ）				1（ 1 ）					
滋賀県																					
京都府								1（ ）			1（ ）										
大阪府								2（ 1 ）			2（ 1 ）	2（ 1 ）			1（ ）	3（ 1 ）					
兵庫県								2（ 2 ）			2（ 2 ）	1（ ）			1（ 1 ）	2（ 1 ）					
奈良県																					
和歌山県																					
鳥取県																					
島根県										1（ ）	1（ ）										
岡山県																					
広島県																					
山口県															1（ ）	1（ ）					
徳島県																					
香川県													1（ 1 ）			1（ 1 ）					
愛媛県													1（ ）			1（ ）					
高知県																					
福岡県													1（ ）			1（ ）					
佐賀県																					
長崎県																					
熊本県															1（ ）	1（ ）					
大分県																					
宮崎県																					
鹿児島県																					
沖縄県																					
その他																					
計(女子)								51（ 20 ）	4（ 3 ）	9（ 6 ）	64（ 29 ）	38（ 20 ）	11（ 4 ）	11（ 7 ）		60（ 31 ）					
卒業者数											95（ 49 ）					90（ 44 ）					
大学院進学											8（ 2 ）					2（ 1 ）					
※平成28年度受験予定者																14（ 8 ）					
未定者											16（ 12 ）					1（ 1 ）					

都道府県	平成18年度				平成23年度				平成28年度			
	小動物 (女子)	産業動物 (女子)	公務員 (女子)	計 (女子)	小動物 (女子)	産業動物 (女子)	公務員 (女子)	計 (女子)	小動物 (女子)	産業動物 (女子)	公務員 (女子)	計 (女子)
北海道	1 ()	3 (1)	()	4 (1)	1 (1)	6 (4)	()	7 (5)	1 (1)	3 (2)	2 (2)	6 (5)
青森県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
岩手県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
宮城県	1 ()	()	()	1 ()	2 (1)	()	1 (1)	3 (2)	1 (1)	()	()	1 (1)
秋田県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
山形県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
福島県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	1 ()	1 ()
茨城県	2 (1)	()	()	2 (1)	()	()	()	()	1 ()	()	()	1 ()
栃木県	3 ()	1 (1)	()	4 (1)	()	()	()	()	2 (1)	()	1 (1)	3 (2)
群馬県	2 (1)	()	1 ()	3 (1)	()	()	2 ()	2 ()	()	()	1 ()	1 ()
埼玉県	5 (3)	()	2 (2)	7 (5)	8 (4)	()	1 (1)	9 (5)	9 (7)	()	2 (2)	11 (9)
千葉県	8 (4)	1 (1)	()	9 (5)	3 (1)	()	1 (1)	4 (2)	4 (2)	()	1 (1)	5 (3)
東京都	19 (15)	()	4 (4)	23 (19)	23 (7)	()	4 (1)	27 (8)	34 (19)	()	3 (2)	37 (21)
神奈川県	26 (15)	1 ()	()	27 (15)	12 (7)	()	2 (1)	14 (8)	19 (12)	()	2 ()	21 (12)
新潟県	()	()	()	()	()	()	1 ()	1 ()	1 ()	()	()	1 ()
富山県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
石川県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
福井県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
山梨県	1 (1)	()	()	1 (1)	()	()	()	()	1 (1)	()	2 (1)	3 (2)
長野県	()	()	()	()	1 ()	()	1 (1)	2 (1)	()	()	()	()
岐阜県	()	()	()	()	()	()	()	()	1 (1)	()	()	1 (1)
静岡県	1 (1)	()	()	1 (1)	2 (1)	()	2 (2)	4 (3)	2 ()	()	1 (1)	3 (1)
愛知県	2 (1)	()	()	2 (1)	5 (2)	()	1 (1)	6 (3)	8 (4)	()	()	8 (4)
三重県	1 ()	()	()	1 ()	1 ()	()	1 (1)	2 (1)	()	()	()	()
滋賀県	()	()	1 ()	1 ()	1 (1)	()	()	1 (1)	()	()	()	()
京都府	()	()	()	()	2 ()	()	()	2 ()	1 (1)	()	()	1 (1)
大阪府	2 (1)	()	()	2 (1)	5 (1)	()	()	5 (1)	2 (2)	()	1 (1)	3 (3)
兵庫県	1 (1)	1 (1)	()	2 (2)	1 ()	()	1 (1)	2 (1)	()	()	()	()
奈良県	1 (1)	()	()	1 (1)	()	()	()	()	1 (1)	()	()	1 (1)
和歌山県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
鳥取県	()	()	()	()	1 ()	()	()	1 ()	1 ()	()	1 ()	2 ()
島根県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
岡山県	()	()	()	()	1 ()	()	()	1 ()	1 (1)	()	()	1 (1)
広島県	()	()	()	()	()	1 (1)	()	1 (1)	1 ()	()	()	1 ()
山口県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
徳島県	()	()	()	()	()	()	2 (2)	2 (2)	()	()	()	()
香川県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
愛媛県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
高知県	()	1 (1)	()	1 (1)	()	()	1 ()	1 ()	()	()	()	()
福岡県	()	()	1 (1)	1 (1)	()	()	1 ()	1 ()	1 ()	()	()	1 ()
佐賀県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
長崎県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
熊本県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
大分県	()	()	()	()	()	()	1 (1)	1 (1)	()	()	1 ()	1 ()
宮崎県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
鹿児島県	()	1 (1)	()	1 (1)	1 ()	()	()	1 ()	()	()	()	()
沖縄県	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
その他	4 (2)	()	()	4 (2)	5 ()	()	()	5 ()	()	()	()	()
計(女子)	80 (47)	9 (6)	9 (7)	98 (60)	75 (26)	7 (5)	23 (14)	105 (45)	92 (54)	3 (2)	19 (11)	114 (67)
卒業者数				143 (84)				146 (61)				152 (80)
大学院進学				2 (1)				9 (3)				6 ()
※平成28年度既卒者定数				14 (10)				20 (7)				19 (6)
未定者				8 (4)				2 (1)				2 ()

都道府県	平成18年度							平成23年度							平成28年度						
	小動物（女子）	産業動物（女子）	公務員（女子）	計（女子）	小動物（女子）	産業動物（女子）	公務員（女子）	計（女子）	小動物（女子）	産業動物（女子）	公務員（女子）	計（女子）	小動物（女子）	産業動物（女子）	公務員（女子）	計（女子）					
北海道					1		1		2		4					4					
青森県																					
岩手県								1	1												
宮城県								1	1												
秋田県							1		1												
山形県					1				1												
福島県								1	1												
茨城県					1		1		2												
栃木県																					
群馬県					1			2	3		1					1					
埼玉県					2			1	3		3				2	5					
千葉県					5			2	7		6				2	8					
東京都					26			4	30		29				2	31					
神奈川県					15			1	16		26		1		3	30					
新潟県											1					1					
富山県																					
石川県																					
福井県								1	1												
山梨県							1		1						1	1					
長野県																					
岐阜県																					
静岡県					3				3		1					1					
愛知県					3				3		2					2					
三重県															2	2					
滋賀県																					
京都府					2				2						1	1					
大阪府					2				2		2		1			3					
兵庫県					1				1		1					1					
奈良県																					
和歌山県																					
鳥取県																					
島根県					1				1												
岡山県																					
広島県							1		1												
山口県																					
徳島県								2	2												
香川県															1	1					
愛媛県					1				1												
高知県																					
福岡県					3		1		4		1					1					
佐賀県																					
長崎県								2	2						1	1					
熊本県															1						
大分県								1	1												
宮崎県															1	1					
鹿児島県								1	1												
沖縄県															1	1					
その他																					
計(女子)					68		31	6	20		94		72		3	18	97				
卒業者数											137					138					
大学院進学											3					7					
※平成28年度受験予定者											18					26					
未定者											13					8					

5) 獣医師国家試験の合格率 (H18～H28年度)

区分	大学名	第68回 (H28年度)		第67回 (H27年度)		第66回 (H26年度)		第65回 (H25年度)		第64回 (H24年度)		第63回 (H23年度)	
		受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
新卒者	酪農学園大学	138	124	89.9%	146	125	85.6%	128	117	91.4%	125	121	96.8%
	北里大学	132	117	88.6%	130	115	88.5%	135	107	79.3%	139	124	86.1%
	日本獣医生命科学大学	80	74	92.5%	93	82	88.2%	85	79	92.9%	77	67	87.0%
	麻布大学	151	132	87.4%	142	118	83.1%	157	121	77.1%	151	131	86.8%
	日本大学	138	112	81.2%	129	117	90.7%	131	116	88.5%	140	127	90.7%
	私大5大学 計	639	559	87.5%	640	557	87.0%	636	540	84.9%	632	565	89.4%
	国・公立11大学 計	389	340	87.4%	369	331	89.7%	373	316	84.7%	390	357	91.5%
	全国新卒者数 計	1,028	899	87.5%	1,009	888	88.0%	1,009	856	84.8%	1,022	922	90.2%

区分	大学名	第62回 (H22年度)		第61回 (H21年度)		第60回 (H20年度)		第59回 (H19年度)		第58回 (H18年度)		11年間の合計	
		受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	合格率	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数	受験者数	合格者数
新卒者	酪農学園大学	131	126	96.2%	139	126	90.6%	137	121	88.3%	131	109	83.2%
	北里大学	148	135	91.2%	137	130	94.9%	149	131	87.9%	134	124	92.5%
	日本獣医生命科学大学	95	86	90.5%	87	86	98.9%	89	67	75.3%	103	88	85.4%
	麻布大学	164	143	87.2%	153	131	85.6%	141	120	85.1%	158	135	84.2%
	日本大学	141	124	87.9%	134	123	91.8%	130	107	82.3%	146	131	89.7%
	私大5大学 計	679	614	90.4%	650	596	91.7%	646	546	84.5%	672	585	87.1%
	国・公立11大学 計	393	359	91.3%	390	364	93.3%	383	342	89.3%	394	346	87.8%
	全国新卒者数 計	1,072	973	90.8%	1,040	960	92.3%	1,029	888	86.3%	1,066	931	87.3%

8. 施設・設備（2016）

この章では、講義室、実験実習室、研究室、自習室、付属動物病院、図書館、コンピュータ室等の区分で、5大学の施設・設備の現状を一覧とした。

1) 各大学が共通に設置している施設・設備－1

大学名	区 分	学部共通 (㎡)	学科専用 (㎡)
酪農学園 大学	講義室	6,910.80	—
	実験・実習室	1,734.30	—
	演習室	2,125.60	—
	更衣室	—	—
	学生控え室	—	—
	教員研究室		2,184.70
	学生ホール（学園ホール）	2,315.46	—
	学生会館（部室）	5,174.65	—
	病理解剖室（動物処理棟）	—	486.04
	健体解剖室	—	243.34
	R I 実験棟	414.53	—
	実験実習家畜棟	—	1,417.01
	犬または猫舎	—	352.00
	中小動物繁殖施設（鳥類・げっ歯類 などを含む）	—	121.50
北里大学	講義室	962.25	2,032.46
	実験・実習室	418.75	3,052.35
	演習室	—	—
	更衣室	45.40	—
	教員研究室	102.06	4,654.67
	学生ホール	1,382.19	—
	学生会館（部室）	1,057.50	—
	病理解剖棟	—	286.59
	解剖実習棟	—	253.35
	R I 実験棟	340.20	—
	実験実習家畜棟	1,081.20	—
	第1感染動物実験棟	330.00	—
	第2感染動物実験棟	—	120.00
	豚舎	397.00	—
	犬または猫舎	157.44	—
	芝山羊舎	81.50	—
	中小動物繁養施設	252.00	—
日本獣医 生命科学 大学	講義室	2,984.35	—
	実験・実習室	3,404.91	—
	演習室	114.34	—
麻布大学	講義室	3,796.60	196.10
	実験・実習室	270.20	4,239.20
	演習室	320.20	395.40
日本大学	講義室	12,386.00	104.92
	実験・実習室	6,234.00	360.72
	演習室	316.66	—

2) 各大学が共通に設置している施設・設備－2

大学名	区 分	獣医教育病院（家畜病院を含む）について
酪農学園大学	総面積（m ² ）	10,216.46
	診療施設（m ² ）	4,256.51
	臨床実習室（m ² ）	1,909.87
	臨床講義室（m ² ）	330.80
	研究室（m ² ）	3,719.28
	専任教員数	22（助手4名含む）
	年間延利用学生数	13,655（病院での授業の履修者×回数）
	年間延診療（利用）頭数	
	 イヌ	9,105
	 ネコ	1,271
	 ウシ	19,232
	 ウマ	122
	 その他	152
北里大学	主な機器	CT、MRI、超音波診断装置、放射線照射装置、外科用X線、イメージ装置、白内障手術装置、手術用顕微鏡システム、生体情報モニタ画像集約配信、ホルタ解析システム、他
	備考	
	総面積（m ² ）	2,614.73
	診療施設（m ² ）	906.65
	臨床実習室（m ² ）	590.55
	臨床講義室（m ² ）	—
	研究室（m ² ）	120.00
	専任教員数	2
	年間延利用学生数	4,500
	年間延診療（利用）頭数	
	 イヌ	7,543
	 ネコ	1,454
	 ウシ	1,844
北里大学	 ウマ	185
	 その他	97
	主な機器	・核医学検査装置（SPECT/CT） ・MRI ・高精度放射線治療装置（ライナック） ・X線診断装置 ・CT ・生化学検査機器 ・透析機器
	備考	

大学名	区 分	獣医教育病院（家畜病院を含む）について
日本獣医生命科学大学	総面積（m ² ）	2262.9
	診療施設（m ² ）	-
	臨床実習室（m ² ）	-
	臨床講義室（m ² ）	-
	研究室（m ² ）	-
	専任教員数	7名（臨床系教員 兼務24名）
	年間延利用学生数	実習 獣医学科5年、6年 獣医保健看護学科3年 診療補助 獣医学科3年、4年、5年、6年 獣医保健看護学科3年
	年間延診療（利用）頭数	
	イヌ	7,465（平成29年2月末現在）
	ネコ	1,686（平成29年2月末現在）
	ウシ	なし
	ウマ	なし
	その他	ウサギ1（平成29年2月末現在）
	主な機器	リニアック（放射線治療器）、MRI（3.0T）、CT、超音波画像診断装置（心エコー1台、腹部エコー2台）、内視鏡（消化管・泌尿器）、カプセル内視鏡、関節鏡・腹腔鏡、外科系手術用顕微鏡、胃透視X線装置、動物用小X線装置、インバータ回転式X線装置、FPD等
	備考	
麻布大学	総面積（m ² ）	5,583.43
	診療施設（m ² ）	2,206.3
	臨床実習室（m ² ）	334.8
	臨床講義室（m ² ）	336.9
	研究室（m ² ）	0
	専任教員数	16
	年間延利用学生数	
	年間延診療（利用）頭数	
	イヌ	11,034
	ネコ	2,208
	ウシ	2,152
	ウマ	50
	その他	23
	主な機器	・超伝導磁石式MR装置一式 ・リアクセラータ PRIMUS Mid-Energy ・デジタルX線システム AeroDR ・デジタルイメージングシステム ARCADIS Avantic ・小動物X線装置
	備考	

大学名	区 分	獣医教育病院（家畜病院を含む）について
日本大学	総面積（m ² ） 家畜病院	3, 783. 26
	診療施設（m ² ）	3, 307. 01
	臨床実習室（m ² ）	148. 91
	臨床講義室（m ² ）	189. 65
	研究室（m ² ） 家畜病院内	137. 69
	専任教員数	21
	年間延利用学生数	271
	年間延診療（利用）頭数	
	 イヌ	6, 046
	 ネコ	1, 103
	 ウシ	207
	 ウマ	2
	 その他	37
	主な機器	C T 1 台, M R 1 1 台, L I N A C 1 台, X線撮影装置 3 台, 超音波診断装置 5 台, 人工心肺装置 1 台, 内視鏡 1 台, 腹腔鏡 1 台
	備考	

3) 各大学が選択して設置した施設・設備

大学名	名称	整備状況	使用実績
酪農学園大学	本学では獣医学共用試験・参加型臨床実習に対応するため 2015 年度から附属動物医療センターの増改築を行った。		
	臨床獣医学教育研究棟	vetOSCE、スキルスラボに対応している。	2017 年 2 月より稼働し、実際の OSCE も実施した。
	動物薬教育研究センター	附属動物医療センターの一部門として位置付け、動物薬に関する教育・研究、動物薬開発のための基礎・応用試験、臨床試験の受託、相談、調査・検査業務などを行う。 2017 年 4 月より、動物薬教育研究部、動物薬管理部、動物薬資料管理部として各部 1 名、計 3 名を配置している。	2016 年度は準備期間。 2017 年 4 月より運用開始。
北里大学	ハイテクリサーチセンター	哺乳動物遺伝子解析システム	※使用実績は正確に把握していない
		微量生理活性物質の精製及び解析システム	※使用実績は正確に把握していない
		飛行時間型質量分析装置	※使用実績は正確に把握していない
		哺乳動物発生工学研究システム	※使用実績は正確に把握していない
		クリーンルームユニット	※使用実績は正確に把握していない
		遺伝子組換え動物施設ユニット	※使用実績は正確に把握していない
		ユニット式低温庫	※使用実績は正確に把握していない
日本獣医生命科学大学	—	-	時間
		-	
麻布大学	ハイテクリサーチセンター	・高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計	
		・電子スピノ共鳴装置	
		・ディスプレイ方式臨床化学自動分析装置	
		・リアルタイム PCR システム Applid Biosystems 7500	
		・自動蛍光式 DNA 電気泳動装置	
日本大学	—	-	時間
		-	

4) 学生の自習を補助する施設・設備

大学名	名称	学部共通			学科専用		
		面積 (m2)	席数	使用実績	面積 (m2)	席数	使用実績
酪農学園大学	図書館 (室)	4695.98	520	154,035 名 (2016 年度)		123	
	コンピュータ室	688.13	210	授業時間外に 使用可			
	端 末 室						
	自 習 室						
北里大学	図書館 (室)	1370.91	95	常時座席の 6～ 8 割利用されて いる。			
	コンピュータ室	165.00	100	授業時間外に 許可制で使用 されている。			
	端 末 室	65.00	15	日・祝日を除き 開放しており、 常に高い頻度 で使用されて いる。			
	自 習 室				435.75	150	日・祝日を除き 開放しており、 試験が近くな ると高い頻度 で使用されて いる。
日本獣医 生命科学 大学	図書館 (室)	1518.79	383	-	-	-	-
	コンピュータ室	66.02	34	-	-	-	-
麻布大学	図書館 (室)	2302.21	322		0	0	
	コンピュータ室	575.5	236		0	0	
	端 末 室						
	自 習 室	163.2	96		0	0	
日本大学	図書館 (室)	6,074.43			-		
	コンピュータ室	945.11			-		
	端 末 室	-			-		
	自 習 室	-			-		

9. 自己点検・評価体制と機関別認証評価の受審状況

この章では、自己点検評価委員会、機関別認証評価、学生による授業評価システム、授業方法の改善の状況の4項目について、5大学の現状を一覧とした。

1) 自己点検評価委員会の活動

大学名	有・無	構成員	年間開催回数	評価結果の取扱い及び還元方法
酪農学園大学	有	28名	0回	獣医学類では大学基準協会による分野別認証評価の受審に向けて対応を進めている。
北里大学	有	12名	随時	自己点検・評価委員会を設置し、学部では教員の教育・研究の活性化のために「北里大学獣医学部及び大学院獣医畜産学研究科専任教員の評価に関する規程」を制定し、それに沿って教員の多元的業績評価を実施している。
日本獣医生命科学大学	有	14名	3回	自己点検評価結果はPDCAサイクルの仕組みの中で、改善に向けた取り組みを関係する組織・委員会に依頼し、その結果を定期的に点検・評価している。更なる改善が必要な場合は、このサイクルを続けていく。
麻布大学※	有	11名	4回	評価結果の取扱い：特になし。 還元方法：特になし。
日本大学	有	25名		3年ごとに自己点検・評価を実施し、その結果を全学委員会並びに学部長や教授会で報告している。自己点検・評価の結果に基づき、学部等に関わる改善事項の改善実施時期及び改善担当部署を明らかにし、改善意見書を作成している。作成した改善意見書を全学委員会及び教授会に報告して改善への取り組みについて承認を得て実施している。

※自己点検・評価組織として「自己点検・評価本部」を学長の下に設置している。

2) 過去 10 年間の外部評価システムの受審状況

大学名	外部評価システム 受審機関			最新の受審 (回数)	評価結果の取扱い及び還元方法など
	公益財団法人 大学基準協会	独立行政法人 大学評価・学位授与機構	公益財団法人 日本高等教育評価機構		
酪農学園大学			○	平成 26 年 10 月 (2 回目)	学内に評価結果の周知を行った。また、本学ホームページにも掲載している。
北里大学	○			平成 28 年 10 月 (2 回目)	平成 28 年 10 月に公益財団法人大学基準協会による認証評価を受審し、平成 29 年 3 月に「適合」の判定を受けた。認証評価に係るデータは大学のホームページに掲載されている。認証評価の結果、努力課題に該当する項目については改善報告書を作成中である。
日本獣医生命科学大学	○		○	平成 28 年度 (3 回目)	評価機構より提示された評価結果において改善が必要な内容は、自己評価委員会にて PDCA サイクルの中で、改善に向けた取り組みを行っている。
麻布大学	○			平成 29 年 3 月 (2 回目)	評価結果の取扱い：外部評価機関による「改善勧告」及び「努力課題」として公表された結果に基づいて、当該事項に係る改善に向けた取り組みを推進する。 還元方法：評価結果を全教職員に周知する。
日本大学	○			平成 22 年 4 月 (2 回目)	7 年ごとに自己点検・評価を実施し、その結果を全学委員会並びに学部長や教授会で報告している。自己点検・評価の結果に基づき、学部等に関わる改善事項の改善実施時期及び改善担当部署を明らかにし、改善意見書を作成している。作成した改善意見書を全学委員会及び教授会に報告して改善への取り組みについて承認を得て実施している。

3) 学生による授業評価システム導入の有無

大学名	有・無	教育への反映状況
酪農学園大学	有	酪農学園大学FD委員会を中心に全学統一の授業評価アンケートを実施している。 原則すべての科目を対象に実施。（履修者20名以下、専門ゼミナールなど除外科目はある） 学生の授業に対する意識や取り組み方を調べ、その結果を教員へフィードバックし、改善点について担当者より報告させ、授業改善を目的とする。また、学生が授業選択の参考になるように実施結果を開示している。
北里大学	有	北里大学では、全ての講義・実習に対し授業評価アンケートを実施している。 アンケート結果は前期と後期に分けて集計したものを、各教員に対し通知し、特に評価が高い教員に対しては学部として表彰をすると共にFD講習会を講師として講演するようにしている。
日本獣医生命科学大学	有	授業（講義・実習・実験）の最後または、途中で、授業アンケートを実施した。 授業アンケートの内容は、授業内容や教授法に関して、学生の意見、改善要望、満足度を示すものである。アンケート結果は集計後、FD委員会による確認を経て、各教員に返却及び学生に公開しており、より質の高い教育を行うため、教員が学生のアンケートを基にして、授業を改善するために使用される。
麻布大学	有	本学では、全教員が各自の教育方法を検証する目的で、学生による授業評価アンケートを行い、その評価を報告書にまとめた冊子を全教員に配付している。また、各科目担当者にあつては、前年度の授業評価の結果を受け、改善報告書の提出を求めている。さらに、授業評価アンケートを元にグッドティーチング賞を選考している。グッドティーチング賞受賞者にあつては、全教員に向けてFD講演会「グッドティーチング賞から学ぶ“授業の工夫”」を行っている。
日本大学	無	学生による授業評価の結果については、授業終了後、業者によりデータ集計を行っている。集計した結果については、回答済みのアンケート用紙とともに当該科目担当者へ戻している。「授業別の各回答分布表」にて集計した結果を折れ線グラフ等で表記して視覚的にも分かり易くしており、教員の今後の授業改善及び教員の教育の質の向上を促すものの資料として位置付けている。 この結果は、担当教員はもとより、学科にも返却しており、一部学科では学生に開示し履修登録の際の参考資料として活用している。

4) 授業方法の改善の状況

組織と教員個人の努力の実状等について

酪農学園大学

教員には「検討事項調査票」の提出を依頼している。FD委員会にて集計し、授業改善のポイントをFD委員より教授会で報告を行った。

北里大学

授業評価アンケートの活用方法は、個々の教員の工夫に委ねているのが現状であり、その有用性や有効活用の方途については必ずしも検証されていない。

授業評価アンケートを授業改善に効果的に結び付けていくためには、利用者の声を聞き、より使いやすいアンケートへの改良を目指すことも重要であるが、一方では、大量に蓄積された授業評価アンケートデータを客観的に分析すること、個々の教員の工夫と成果について事例を収集し、互いに情報共有していくことが必要である。

本学では法人組織に高等教育開発センターを設置し、上記分析を行っている。

日本獣医生命科学大学

本学ではFD委員会において、授業方法の改善について検討しており、2016年度においては、以下の活動を実施した。

1. 授業アンケート実施

(1) 授業アンケートの実施（結果返却・公表含む）

授業アンケートの実施内容については、前ページに記載。

(2) 学生との意見交換会の実施

授業アンケートや教授法・教育システム等に関する改善を目的として、学生とFD委員との意見交換会を以下の2回開催した。当日寄せられた意見・要望等については、本委員会で回答を取りまとめ、教員及び学生に周知した。

①平成28年4月29日（金） 12:00～13:00 ②平成28年12月2日（金） 12:00～13:00

(3) 中間アンケートの推進

期中に実施する中間アンケートでは、受講している学生の意見・要望を即時反映することが目的であり、従来はマークシートで実施していたが、より簡単に集計結果が確認できるようシステムでの実施を開始し、中間アンケート実施を呼びかけた。

(4) 授業アンケート項目の見直し

各学科からの意見や学生との意見交換会での要望を集約し、平成29年度に実施するアンケート項目の見直しを行った。

2. FD講演会の実施

近年話題となっているテーマ等を取り上げ、専任教員を対象として、以下の3回FD講演会を実施した。

(1) 平成28年6月2日（木）

「獣医学教育国際認証推進室の設置」

（平成26年度 教育・学修方法等改善プログラム成果報告）

獣医学部獣医学科 教授 新井敏郎

(2) 平成 28 年 10 月 28 日 (金)

「大学のブランド力を向上するためには一大学病院の経営と男女共同参画―」

鳥取大学 副学長 (医学部・耳鼻咽喉頭頸部外科教授) 北野博也 氏

(3) 平成 28 年 12 月 14 日 (水)

「学習成果の達成に繋がる「履修単位上限」と「単位の実質化」」

大阪大学未来戦略機構戦略企画室 教授 川嶋太津夫 氏

3. FD ワークショップの開催

講演会と教員によるグループ作業を組み合わせ、以下のテーマで実施した。

(1) 日 時：平成 28 年 9 月 14 日 (水)

場 所：本学 E 棟 111 講義室

講 師：谷 和樹 氏 (玉川大学教職大学院 教授)

演 題：「わかりやすく、魅力的な講義をするには！」

4. FD 活動レポート「教員の学び No. 5」の作成

2016 年度の FD 活動や教授方法に参考となる著書紹介等を掲載した冊子を作成し、各研究室に配付、また全専任教員に PDF データを送付した。

麻布大学

学生による授業評価で改善要望があった事項を科目担当者が、授業改善に関する考えをまとめ、学生に周知する。また、授業評価結果を元に、上述 3) と同様の記載となるが、選考の上、グッドティーチング賞を選考している。

日本大学

10. 外部資金

この章では、平成19年度、24年度、29年度の科研費申請状況・交付状況について、5大学の現状を一覧とした。

1) 平成19・24・29年度 文部科学省科学研究費補助金 申請・交付状況

事 項	酪農学園大学			北里大学			日本獣医生命科学大学			麻布大学			日本大学		
	H19	H24	H29	H19	H24	H29	H19	H24	H29	H19	H24	H29	H19	H24	H29
獣医学科教員数 (a)	49	51	50	49	55	52	52	58	63	59	58	54	44	47	47
獣医学科申請教員数 (b)	25	28	32	26	41	39	29	47	39	40	38	46	27	27	25
申請率% (b/a)	51.0%	54.9%	64.0%	53.0%	74.5%	75.0%	56.0%	81.0%	61.9%	68.0%	65.5%	85.2%	61.0%	57.4%	53.2%
獣医学科申請件数 (c)	33	31	34	32	45	40	32	47	41	40	39	47	30	27	26
獣医学科交付件数 (d)	8	16	15	8	16	16	10	20	21	8	13	¹⁶ ※現時点	9	14	15
交付率 (d/c)	24.0%	51.6%	44.1%	25.0%	35.6%	40.0%	31.0%	42.6%	51.2%	20.0%	33.3%	34.0%	30.0%	51.9%	57.7%
分野別交付件数/分野別申請件数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
1. 基盤研究 (S)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2. 基盤研究 (A) 一般	-	-	1/1	-	1/2	0/1	0/1	0/1	1/1	-	-	-	-	0/1	-
3. 基盤研究 (A) 海外学術調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4. 基盤研究 (B) 一般	1/4	1/2	1/3	0/4	2/10	4/9	0/1	2/6	1/5	0/2	1/2	0/3	2/5	0/1	1/2
5. 基盤研究 (B) 海外学術調査	1/1	0/1	-	1/2	-	-	-	-	-	-	-	-	1/1	-	-
6. 基盤研究 (C) 一般	1/17	12/17	11/17	3/11	6/16	7/17	5/17	9/21	15/24	6/29	7/21	10/28	4/13	12/16	9/12
7. 基盤研究 (C) 企画調査	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	^{0/1} ※現時点	-	-	-
8. 挑戦的萌芽研究	1/4	2/4	1/4	0/6	4/9	0/2	1/6	1/2	-/6	1/5	1/7	^{2/6} ※現時点	1/3	-	0/3
9. 若手研究 (A)	-	-	0/1	-	0/2	0/1	-	1/1	-	-	0/1	-	-	-	0/1
10. 若手研究 (B)	1/3	1/5	2/8	4/8	3/6	5/11	3/5	7/15	8/12	1/4	4/7	4/9	1/8	2/9	4/7
11. 特別推進研究 (1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12. 特別推進研究 (2)	-	-	-	-	-	-	0/1	-	-	-	-	-	-	-	-
13. 特定領域研究 (2)	0/3	-	-	0/1	-	-	1/1	-	-	-	-	-	-	-	-
14. 若手研究 (S)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15. 研究活動スタート支援	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16. 新学術領域研究	-	0/2	-	-	-	0/1	-	0/1	-	-	0/1	-	-	-	1/1
1. 応用動物学	-	-	-	0/2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2. 基礎獣医学・基礎畜産学	12	4	-	1/10	15	-	3/10	3	-	-	3	-	0/3	-	-
3. 応用獣医学	8	13	-	3/9	11	-	0/5	3	-	-	1	-	1/6	5	2
4. 臨床獣医学	6	7	-	2/9	14	-	6/9	8	-	-	6	-	4/15	4	-
5. 応用分子細胞生物学	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
6. 総合・新領域	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7. 動物生産科学	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	1
8. 獣医学	-	-	1	-	-	26	-	-	13	-	-	9	-	-	8
9. 統合動物科学 (平成25年度より)	-	-	9	-	-	7	-	-	2	-	-	3	-	-	-
10. その他	1	7	5	2/2	5	6	0/8	5	6	-	3	2	4/6	5	2

(注) 継続を含む